2021年度
Aセメスター(A1・A2)
科目紹介［シラバス抜粋］

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2021 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－4 に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 ⑦ 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられる。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列Ｓ</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列Ｓ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列①（教養英語）≫

目標・概要　「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法　各担当教員のシラバスを参照すること。

成績評価方法　現時点では定期試験（統一試験）を予定。今学期においては平常点 5 割、定期試験 5 割となる。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	教養英語読本II
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会

関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

《英語特修クラス（第 3 学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が 40 点以上 50 点未満》対象)》

※2014 年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照のこと。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。旧カリキュラム科目であり、現カリキュラム生は履修不可。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）
英語特修	担当教員	シラバス参照	A	集中	2014 年度以前入学の 2 年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）				
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.			
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50319	A 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50326	A 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50328	A 1	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50329	A 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50330	A 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50331	A 1	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50332	A 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50333	A 1	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50380	A 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	A 1	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	A 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50382	A 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50393	A 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50394	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50484	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50485	A 1	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50487	A 1	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50488	A 1	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50489	A 1	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50490	A 1	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50491	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50492	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50493	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50494	A 1	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50495	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50496	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50579	A 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50580	A 1	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50581	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50582	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50583	A 1	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50584	A 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50585	A 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50586	A 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50587	A 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50588	A 1	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60103	A 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60108	A 2	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60116	A 2	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60118	A 2	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60123	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60128	A 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60132	A 2	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60133	A 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60150	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60151	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60155	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60156	A 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60157	A 2	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60158	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60159	A 2	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60160	A 2	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60161	A 2	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60162	A 2	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60164	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60165	A 2	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60167	A 2	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60168	A 2	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60171	A 2	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	A 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60178	A 2	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	A 2	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	A 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要
This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法
Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法
Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ
http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50032	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50033	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50034	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50035	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50036	月 2	Kartika Diana	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50037	月 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50039	月 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50040	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50042	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50050	月 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50719	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50720	木 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50721	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50723	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50725	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50726	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50727	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50728	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50746	木 2	船田 なつの	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50152	木 3	船田 なつの	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50775	木 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50776	木 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50777	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50778	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50779	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50782	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50783	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50892	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50893	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)

外国語（英語二列 W）ALESA

50895	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50896	金 1	Kartika Diana	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50900	金 1	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50901	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50902	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50985	金 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50986	金 3	Kartika Diana	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50988	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50989	金 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50990	金 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50991	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50992	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50993	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50994	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.
授業の方法	Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.
成績評価方法	Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.
関連ホームページ	http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50048	月 2	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	マニナン ジョン	1 年 理一(4,35-36)
50052	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(4,35-36)
50053	月 2	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(4,35-36)
50153	月 2	神島 智子	1 年 理一(4,35-36)
50083	月 3	船田 なつの	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50084	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50085	月 3	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50086	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50087	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50088	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	神島 智子	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	ナオミ バーマン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50093	月 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50094	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50095	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50096	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50097	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50054	月 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50146	月 4	AKINDELE Tito	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50147	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50148	月 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50149	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50150	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50151	月 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50218	火 1	神島 智子	1 年 理二三(21,23)
50219	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(21,23)

外国語（英語二列 W）ALESS

50220	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(21,23)
50221	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(21,23)
50455	水 1	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(1-3,18,27)
50456	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(1-3,18,27)
50457	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(1-3,18,27)
50458	水 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(1-3,18,27)
50459	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(1-3,18,27)
50460	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(1-3,18,27)
50461	水 1	船田 なつの	1 年 理一(1-3,18,27)
50747	木 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50748	木 2	神島 智子	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50749	木 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50750	木 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50751	木 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50752	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50911	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(8,14)
50912	金 1	SENNA IV MANUEL	1 年 理二三(8,14)
50913	金 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(8,14)
50914	金 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理二三(8,14)
50915	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(8,14)
51010	金 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51011	金 3	AKINDELE Tito	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51012	金 3	マニナン ジョン	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51013	金 3	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51014	金 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51015	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51016	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51050	金 4	AKINDELE Tito	1 年 理二三(4,11,17)
51051	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理二三(4,11,17)
51052	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(4,11,17)
51053	金 4	マニナン ジョン	1 年 理二三(4,11,17)
51054	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(4,11,17)
51055	金 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目　ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、L 系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験によって行う。なお、1 年生 S セメスターの一列・二列には同一の成績がつく。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50060	月 2	ドイツ語一列②	三宅 晶子	1 年 理一(29)
50061	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
50144	月 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文三(15)
50335	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文一二(21)
50346	火 3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 文三(16)
50351	火 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 理一(31)
50404	火 4	ドイツ語一列②	久保 哲司	1 年 文一二(20)
50413	火 4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(28)
50418	火 4	ドイツ語一列②	石田 勇治	1 年 理二三(20)
50440	火 5	ドイツ語一列②	金 志成	1 年 理二三(18)
50625	水 4	ドイツ語一列②	長木 誠司	1 年 文一二(22)
50635	水 4	ドイツ語一列②	田中 純	1 年 理一(30)
50759	木 2	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 理二三(19)
50825	木 4	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51022	金 3	ドイツ語一列②	瀬尾 文子	1 年 理二三(17)
51049	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理一(33)
50643	水 4	ドイツ語特修	有信 真美菜	2 年 文科 理科
50658	水 5	ドイツ語特修	高橋 宗五	2 年 文科 理科

基礎科目　フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
　文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　理科生には、文科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。
成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50045	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
50062	月 2	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(37)
50108	月 3	フランス語一列②	今橋 映子	1 年 理一(38)
50109	月 3	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 理一(39)
50139	月 4	フランス語一列②	佐々木 悠介	1 年 文一二(23)
50406	火 4	フランス語一列②	松村 剛	1 年 文一二(26)
50626	水 4	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 文三(17)
50734	木 2	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文三(19)
50735	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文三(20)
50755	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 理一(35)
50756	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(36)
50760	木 2	フランス語一列②	黒木 秀房	1 年 理二三(22)
50792	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(25)
50793	木 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(27)
50794	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
50795	木 3	フランス語一列②	井口 俊	1 年 文三(18)
50826	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50848	木 4	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 理二三(23)
51017	金 3	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 理一(34)
51023	金 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理二三(21)
51024	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
50612	水 3	フランス語特修	森元 庸介	2 年 文科 理科

基礎科目　中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火１　に開講)
●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。

成績評価方法　現時点では学期末試験を行う予定だが、詳細は未定である。状況に応じては別の方法をとることもあるので担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著
出版社　白帝社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50107	月 3	中国語一列②	大橋 義武	1 年 理一(20)
50143	月 4	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 文三(14)
50216	火 1	中国語一列②	山影 統	1 年 理一(22)
50412	火 4	中国語一列②	石村 広	1 年 理一(27)
50417	火 4	中国語一列②	楊 凱栄	1 年 理二三(13)
50467	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 理一(24)
50468	水 1	中国語一列②	小方 伴子	1 年 理一(26)
50515	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文一二(17)(TLP)
50516	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 文一二(18)
50526	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文三(12)(TLP)
50533	水 2	中国語一列②	中村 元哉	1 年 理一(19)
50538	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理二三(16)
50600	水 3	中国語一列②	王 楽	1 年 文三(11)
50729	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(14)
50754	木 2	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理一(25)
50790	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(16)
50791	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(19)
50811	木 3	中国語一列②	松本 秀士	1 年 理二三(15)
50827	木 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50830	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
50836	木 4	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(3)理二三(3)
50908	金 1	中国語一列②	王 英輝	1 年 文三(13)
51008	金 3	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理一(23)
51021	金 3	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 理二三(14)
51032	金 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文一二(13)
51048	金 4	中国語一列②	石井 剛	1 年 理一(21)
50613	水 4	中国語特修	谷垣 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目　ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要　初修ロシア語の 1 年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

成績評価方法　定期試験と平常点。
適宜小テストを行うことがある。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50209	火 1	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)【TLP】
50414	火 4	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 理二三(4)
50737	木 2	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 理一(4)
50738	木 2	ロシア語一列②	細川 瑠璃	1 年 理一(5)
50973	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)
50995	金 3	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 文三(4)
50644	水 4	ロシア語特修	渡邊 日日	2 年 文科 理科

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目　スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要　スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。S セメスターでは、内容を 1 列（文法）と 2 列（講読）に分け（今年度は COVID-19 禍により、1 列／2 列をリレー方式で展開した。)、A セメスターでは 1 列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週２回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

成績評価方法　各担当教員に任されている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Brújula−スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50043	月 2	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 文一二(9)
50064	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	1 年 理二三(10)
50105	月 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	1 年 理一(16)
50112	月 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 理二三(7)
50113	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1 年 理二三(8)
50137	月 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	1 年 文一二(10)
50165	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1 年 理二三(12)
50345	火 3	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1 年 文三(10)
50356	火 3	スペイン語一列②	齊藤 文子	1 年 理二三(11)
50416	火 4	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1 年 理二三(9)
50532	水 2	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 理一(18)
50598	水 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 文三(7)
50599	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1 年 文三(9)
50630	水 4	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 理一(9)
50632	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1 年 理一(11)
50633	水 4	スペイン語一列②	和田 佳浦	1 年 理一(17)
50743	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1 年 理一(10)
50745	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(15)
50784	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 文一二(11)
50800	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(12)
50801	木 3	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 理一(13)
50829	木 4	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 文一二(8)
50837	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(14)
50982	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1 年 文一二(7)
50996	金 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1 年 文三(8)
51031	金 4	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 文一二(12)
50614	水 3	スペイン語特修	上 英明	2 年 文科 理科

基礎科目　韓国朝鮮語

韓国朝鮮語一列②	開講区分	A

授業の目標・概要
●1 年生初修クラス
S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版)』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。
●特修クラス
これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

成績評価方法
定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　『ことばの架け橋（精選版)』
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル

関連ホームページ
http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50056	月 2	韓国朝鮮語一列②	新井 保裕	1 年 理一(6)
50312	火 3	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 文一二(5)文三(5)
50415	火 4	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1 年 理二三(5)
50645	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2 年 文科 理科

基礎科目　イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
I列II列では、A セメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。A セメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テクスト分析 I も開講されているので、積極的に受講してください。

●既修クラス
総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。

●授業計画
1 年生初修 ―A セメスター前半 初級文法まとめ
A セメスター後半 講読中心

●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

成績評価方法
平常点とセメスター末の筆記試験

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50313	火 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1 年 文一二(6) 偶
50314	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1 年 文一二(6) 奇
50530	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1 年 理一(8)
50731	木 2	イタリア語一列②	村松 真理子	1 年 文三(6)
50797	木 3	イタリア語一列②	山﨑 彩	1 年 理一(7)
50810	木 3	イタリア語一列②	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
50646	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目　日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]
● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。
● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。
● 総合科目 L 系列科目(A1,
A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。

● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語）
『テーマで考え議論する日本語』- Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences - 後半
教養・学術日本語
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。
総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。
総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」（基礎科目日本語一列②と連動）
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（１）ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」
「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1 （準備編）」
「アカデミックライティング（５）–表現学習のためのツール–」
「読解を通じ，日本の歴史を考える (1)」
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」（基礎科目日本語一列②と連動）
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（２）ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」
「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング 2 （実践編）
「アカデミックライティング（６）–ツールを用いた構成と形式の実践–」
「近代日本の童話を読む 」
「読解を通じ，日本の歴史を考える (2)」

成績評価方法

「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照すること。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50924	金 2	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科
51067	金 5	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 II

身体運動・健康科学実習II	開講区分	A

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

成績評価方法
出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
体力テスト：例年は 4 月と 12 月に行い、評価に含めるが、今年度は実施しない。
レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　　東大出版会

履修上の注意
種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス
盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを学外 IP アドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。
ユーザー名：komaba
パスワード：shintai2017

関連ホームページ
https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50046	月 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(10-11,15,19,25-26)理二三(4,8)
50311	火 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50364	火 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17) 理二三(1-3,7,12,17,19)
50557	水 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)
50624	水 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16) 理二三(16,20-22)
50736	木 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50774	木 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4-5,18) 理二三(13-14,23)
50983	金 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10) 理一(21,36)理二三(18)
51033	金 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　　東大出版会
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを学外 IP アドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。 ユーザー名：komaba パスワード：shintai2017
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50177	月 5	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50475	水 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科
50001	月 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50222	火 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目　社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50121	A	法II	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目		法学のディシプリン・法律家の思考方法				
授業の目標概要		具体的な設例を通じて、法学のディシプリン、法律家の思考方法を紹介・検討する。 学問が科学（自然科学、社会科学、人文科学・・・）でなければならないとすると、法学は、学問の仲間に入るのかどうかが怪しいということになる。こういう観点からすれば、法学は、学問というよりもむしろ技術というべきかもしれない。ところが技術だけが法学の要素であるというのも、法学の特性を掴み損ねているように思われる。 授業では、具体的な設例に即して、法学のディシプリンや法律家の思考方法を紹介・検討することにより、法学を専攻しない学生に対して、法学がどのような学問であるのか、あるいは、法学を修得した法律家（法曹、研究者など）の思考方法がどのようなものであるのかを体感してもらう材料を提供することに努めたい。 教養学部前期課程において提供される法学の入門的授業の内容やアプローチには多様なものがありうると考えており、この授業は、その１つの試みです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	法II	沖野 眞已	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(1-11) 2 年 文一
講義題目		判例および法律文献を読む				
授業の目標概要		「法I」で法律・法学について基礎的な知識を習得したことを前提に、私法特に民法の分野を中心に、判例および法学・法律文献を読むことで、土台となる基礎的な法律関係を学びつつ、それぞれの問題について考察するとともに、法的な思考・議論について学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	法II	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(12-19) 2 年 文一
講義題目		公法学のテクストを読む				
授業の目標概要		【文一のみ履修可】 「法 I」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	法II	原田 央	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(20-28) 2 年 文一
講義題目		・この法 II 授業は、日本語での授業の部分（11 回）と、英語での授業の部分（2 回）から成り立っています。 ・英語授業の部分についての内容、および全体の授業予定カレンダーは、後日お知らせします。 （以下、日本語授業の部分についての説明となります）				
授業の目標概要		＊授業の詳細については ITC-LMS 上で案内します。(９月上旬予定）随時チェックしてください。 ・この授業では、法は何のためにあるのか、そのために法はどのような基本的特徴・構造をもっているのか、を基礎から考えてみたいと思います。 ・皆さんは、法 I では、法に関する基礎知識を学んだと思いますが、 ・この法 II では、（法 I で学んだ知識を前提にしつつも）知識・情報を詰め込むことよりも、まずは、法がかかわる・解決しようとしている問題がどういうものかを、皆さんが感じ取ることを重視します。 ・その上で、そうした問題を、どのように解決するのか、この点を理論的に一歩一歩基本から検討していきます。これにより、法が本来備えているはずの基本的特徴・構造の最も基礎的な部分を理解することができるでしょう。 ・法の問題を感覚的に理解しておくこと、法の基礎的部分をしっかり理解しておくこと、これらのことは、皆さんがこれから法学の専門科目で各法分野の具体的内容を学ぶ際に、非常に重要です。 ・法学の勉強は、その分野の条文、裁判例、学説の内容をできるだけ細かく理解することが中心となりやすく、その全体像が見失われがちです。 ・また、なぜそうなのか、そのように考えることにどのような意味があるのか、といった点を深く省察せずに、内容が知識・情報として蓄積していきがちです。 ・この授業では、①できるかぎり自分が学ぶことの全体像を理解すること、自分の今勉強していることが全体の中でどの位置にあるのかを理解すること、②一つずつ自分の頭で考えて批判的に検討して自分の考えを組み立てていくこと、③それを自分の実感的な問題意識と連動させて、主体的に勉強していくようになること、を目標にします。 ・授業では以下の主題を順番に取り上げます。 ・①法がかかわる・解決しようとする中心的問題は何か ・②それを解決するために法はどのようにかかわるのか（法以外、政治やデモクラシー、のアプローチの仕方と何が違うのか） ・③法の基本的特徴・構造はどのようなものか				

＊この授業で「法」として取り上げるのは、主として「私法」（私人間の関係を規律する法）です。
・その理由は、この「私法」に、どの社会にでもある社会規範一般や倫理道徳とは大きく異なる、法の固有の特徴がみられるからです。
・授業では、皆さんの素朴な疑問、直感的に感じる違和感・疑問を尊重し、重要な手がかりとしたいと思います。
・そこから、一つずつ疑問を解消し、上述の３つの主題について明晰な理解を得られるように、授業ではできるかぎり分かりやすく説明していきます。
・しかし、それは素人万人がただ受講しさえすればわかるような内容ではありません。
・皆さんが、以下で示す作業をして、自分の頭で考えて、感じて、主体的に授業内容を消化吸収するように取り組むことが前提になっています。
・それをせずに授業内容を理解できるということは一切保証されません。
・授業の準備作業を欠かさずに自分で行い、授業に主体的に参加して質問・意見を述べることを強く求めます。
・授業の進め方
・この授業では、皆さんに授業前の事前準備作業をお願いします。
・毎回事前に示される Question Sheet を読み、指示された文献資料を読み、その内容についての質問・意見をあらかじめ用意してください。
・毎回授業（Zoom オンラインで行います）は、その Question Sheet に対する皆さんの質問に答える形で進めます。
・この授業は、皆さんの積極的な授業参加を強く求めます。
・毎回授業のトピックについての説明は、基本的にはすでに Question Sheet の中に示されています。
・毎回オンライン上の対面授業は、その内容について不明な点、疑問点を解消するためものもとして位置づけられます。皆さんの授業トピック内容理解を一層深めるための議論の場となります。
＊事前準備作業をせずに授業だけ出席しても、何を話しているのかわからないことになるでしょう。
＊毎回授業のトピックは、全体として、一つ一つ理解が積みあがっていくプログラムになっています。授業トピックのどこかを飛ばすと、そのあとの理解がとてもしづらくなりますのでご注意ください。
・授業のほかに、毎週オフィスアワー（オンライン）を設けます。
・ぜひ機会を活用して、授業では聞けなかったこと、授業の後に復習して疑問が生じた点などを質問して、理解を深めてください。
・授業準備作業について
・授業準備作業の中心は、Question Sheet を読み、その指示に従いながら、文献資料を自分で読んで検討することにあります。
・この授業では、皆さんに、特に古典（後述のリストをご参照ください）をとりあげて、それらに触れてもらいます。
・法や政治・デモクラシーがどのような問題にかかわって、どのように解決しようとしてきたか、それのどこに問題・限界があるのか、を理解するには、古典を読むのが良策の一つです。
・授業（Question Sheet）は、そうした古典を読むための読書案内・ガイドの役割を担います。
・取り上げる古典著作の質は保障されていますので、ぜひこの機会に、皆さんもその読解にチャレンジしてみてください。
・授業についての詳しい紹介・説明
・ITC-LMS 上にできるだけ早く公開しますので、9 月以降随時チェックしてください。
・9 月 22 日 13：15 からオンラインで、授業ガイダンスを実施する予定です。こちらの詳細についても、後日 ITC-LMS でご案内します。
・皆さんへのお願い（夏休みの宿題）
・A セメスターで法 II 授業を受講するに際し、夏休み中に以下の本をぜひ読んでおいてください。
・木庭顕『誰のために法は生まれた』朝日出版(2018 年)
・著者が、中高生を対象として行った授業をもとにしたものです。
・法（や政治・デモクラシー）は、どのような問題にかかわって、何を解決しようとしてきたのか、それを皆さんが感覚的に理解してもらうために、有益な本でしょう。
・この本の中で取り上げられている文学作品もぜひあわせて読んでください。
＊特にこの本の 1-70 頁および、そこで取り上げられている映画『近松物語』（溝口健二監督）は、この法 II 授業全体の準備作業として必ず読んでください。
・9 月上旬には、法 II 授業の資料のための Google Drive フォルダを用意する予定です。
・そのフォルダに、この本の一部分のコピーPDF をアップロードする予定です。
・もしこの本の調達が何らかの事情で難しいという方は、それまで今しばらくお待ちください。
・ジェイクスピア『ロミオとジュリエット』
・版はいずれでもかまいません。（授業で参照する際には、白水社 U ブックスの頁を指示しますが、この版でなければいけないというわけではありません。むしろできれば、原文を読んでください。インターネット上、Amazon Kindle などで簡単に入手できます。）
・この授業全体の主題①について考えてもらうために、この本を挙げました。
・ロミオとジュリエットの恋愛はなぜ成就しなかったのでしょうか？どのような条件が備わらなければ、それは成就しないのでしょうか？ この点を考えてみてください。
・マルセル・モース『贈与論』
・この授業では、マルセル・モース（森山工訳）『贈与論 他二篇』岩波文庫（2014 年）を参照します。
・この「贈与論」は、この授業全体の主題①②③いずれを考える際にも大変重要な手がかりを提供してくれるものです。
・この著作を取り上げる理由は、第一に、私たちの社会に存在する個人の自由を抑圧するメカニズム（の一端）はどのようなものか、この著作に述べられている具体例から皆さんが感覚的にイメージしてもらうこと、そして第二に、そのメカニズムの特徴の理解を深めること、にあります。
・この授業中では何度もこの著作に言及します。特に、第 2 回授業では、この著作を取り上げて、詳しく検討します。
＊この著作も 9 月上旬に Google Drive フォルダにアップロードする予定です。（分量が多いので、重要箇所についてマーカー・コメントを付して、皆さんの読書のサポートになるようにします）
・このほかに授業で取り上げる著作
・第 3 回以降の授業で取り上げます。余裕のある方は、更に以下の古典も読んでみてください。
エウリピデス「トロイアの女」、ソフォクレス「アンティゴネー」、ソフォクレス「ピロクテテス」、シェイクスピア『ヴェニスの商人』、バルザック「ゴプセック」
ホッブス『市民論』、ホッブス『リヴァイアサン』、ロック『市民政府論』、スピノザ『神学・政治論』
カント「世界市民という視点からみた普遍史の理念」、カント「永遠平和のために」、カント「理論と実践」、カント「人

	倫の形而上学」、カール・マルクス『資本論』 このほかに、以下の文献について、授業では詳しく取り上げる余裕はありませんが、言及する機会を設けたいと思います。 モンテスキュー『法の精神』、トクヴィル『アメリカのデモクラシー』、エミール・デュルケーム『社会分業論』、マルクス＝エンゲルス「共産党宣言」、ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 ＊授業ではこのほかに、法学関連文献・裁判例を取り上げます。それらについては、授業前に事前に読んでもらうために、適宜指示・案内します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	政治II	伊藤 武	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		比較政治入門～先進国デモクラシーの政治 この授業では、先進国を中心としたデモクラシーを素材に、比較政治学の基礎から発展の入り口までを学びます。 比較政治学は、特定の国や事例を見るだけでは分からない論理や特徴を、比較の手法や理論を用いて明らかにする学問です。授業では、選挙や政党政治のように従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや専門家の役割など最近特に注目される新分野も扱います。欧米を含む先進国のデモクラシーがこれまで経験し、今抱えている問題は何か、それを解くにはどうしたらよいか、比較と理論の力を借りて考えていきましょう。 授業方法は、受講生のみなさんの多様な事情を考慮して、主要な内容はオンディマンド動画の配信によって解説し、前後にオンライン（ライブ）の解説、質問（チャット・Slido）と回答、課題実施などを組み合わせる予定です。下記の履修上の注意を必ず読み、初回ガイダンスに参加してください。 授業の理解と定着のためには、それなりに頭を捻って聴き、必要に応じて予習・復習してください。本科目の都合上、ある程度広く、比較政治学の共通の基盤となるような内容を扱いながら、専門的内容にも踏み込みます。最初は難しく思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、積極的に質問や復習してくだされば、十分理解と単位取得が可能な水準に設定されています。 それぞれの事情に応じた形で学びながら、みなさんと積極的に質問や課題を通じて交流できるのを楽しみにしています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50476	A	政治II	木寺 元	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		政治学入門 この講義では，現代日本政治を主な題材として、現実の政治を構成している諸制度と実際の政治のプロセスを理解するための、基礎的な知識の習得とそれに基づく思考の機会を提供します。扱う内容は、政治思想や政治史というより、政治制度により近いです。制度は大事。ゲームのルールだから。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	経済II	中西 徹	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		国際経済の諸問題 グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際金融，国際貿易，国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて，経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	経済II	中西 徹	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		国際経済の諸問題 グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際金融，国際貿易，国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて，経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50123	A	経済II	竹野 太三	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		経済学 II 経済学で最も基礎的な理論である価格理論について学びます. 新聞やニュースで見聞きする経済の話題（為替と株の値動き，GDP 成長率，失業率の変化など）を一般教養として知っておくことと，これらを学問的に学ぶことには隔たりがあります．この隔たりは，経済用語の意味を知ることと，経済用語が表す経済現象の仕組みを理解することの違いによります．本講義では価格理論の概要を学ぶにあたって，後者に注力します. 具体的には，価格理論の概要を学ぶことに加えて，経済学的な考え方，つまり数学による考察の枠組みの妥当性，導出された数式の経済学的な意味と解釈について理解することを主目的とします．このため，本講義では経済学の言語である数学の概念を紹介し，また数式を展開することがあります．しかし，本講義の主たる目的は価格理論を概観し，市場という社会システムの意味と意義を理解することであって，数式の展開の技術を学ぶことではありませんので，式の展開は極力省くことなく，配布資料に記載しています.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50124	A	社会II	網谷 壮介	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		政治思想史入門：「公的なもの」の思想史 この授業では、「公的なもの（the public）」が西欧の歴史においてどのように理解されてきたのかを学ぶことを通じて、政治思想史という学問への導入を行う。政治思想史とは、過去の人々が政治という営みをどのように捉え、思考し、それをどのような言説として伝達してきたのかを、歴史的文脈に照らして理解する学問である。ここで「政治」とは通常よりも広い意味で捉えられ、複数の人々がともに生きることにかかわる営み全てを指す。そのため政治思想史では、国家や権力、民主主義などのおなじみの政治学的テーマだけでなく、人間や道徳、社会、自然の理解といったより抽象的・根源的な問題をも視野にいれることになる。 「公的なもの」の理解（と同時に「私的なもの」の理解）は、歴史を通じて変化してきた。例えば、現代のリベラルな社会では私的領域で自由に生きるということに価値が置かれているが、こうした価値観は歴史的に見れば普遍的なものではない。むしろ公的な場に現れて活動するという生き方（活動的生）こそが重要だと考えられた時代もあった。 公的領域は人間の生にどのような意味を持つのか、誰が公的領域に参加するのか、公的領域はどのような空間であるのか。授業ではこうした問いに導かれながら、古代ギリシアから現代へと「公的なもの」の思想史をたどり、政治と私的な生、メディア、民主主義と全体主義、ジェンダー、プライバシー、新自由主義といったテーマを取り上げる。これを通じて、現在私たちが自明視している公と私のあり方がどのように生成されてきたのかを歴史的に理解し、現代社会を批判的に捉えるための一つの視座を獲得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50477	A	数学I	寺田 至	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50478	A	数学II	志甫 淳	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50479	A	数学II	山本 昌宏	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる.				

基礎科目　人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50125	A	哲学II	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目
授業の目標概要

想像力について考える──自閉スペクトラム症、他者、現代社会
想像力とは、ある対象が存在していないにもかかわらずそれを直観する心的能力のことを言う。
この能力は近代の哲学において極めて大きな役割を果たしてきた。少なからぬ数の哲学者がこれを論じてきたし、特に 20 世紀には大きな注目を集めた概念であったと言える。ところが、一九八〇年代頃からであろうか、この概念は急激にその魅力を失っていった。いまでは論じられることの少ない概念になってしまった。
だが、現代はむしろ想像力の理論をこれまで以上に求めているように思われる。理由は少なくとも二つある。
１）現代社会において、人間は、その平均的な想像力のキャパシティーを優に超える行為を為しうるようになっている。行為が想像力を追い越していると言ってもよい。自宅近くの店でチョコレートを買うという行為は、児童労働を許す遠くの国に手を貸す行為となりうるが、そのようなことを想像することは困難である。ボタンを一つ押しただけで、インターネットを経由して情報を世界中に同時に送り出すことができるが、そのことを知っていることと、その事態を想像できることは別である。絶え間なく、自らの想像力を超え出る仕方で行為し続ける我々の想像力の可能性と限界をどう考えたらよいだろうか。
２）現在、自閉スペクトラム症（ASD）の研究が進む中で、その経験の内実が明らかにされつつある。そこから分かってきたのは、これまで人間の標準的な知覚構造として当然視されていたものが、実は脆弱であること、そしてそれは他者を通じて社会的に発生し、また維持されているということである。そして知覚構造は想像力と強い関係を持っている。知覚構造は見えていないものを想定すること（たとえば奥行きを想定すること）を求めるが、それを助けるのは想像力だと考えられるからである。現在の ASD 研究は人間主体に関するこれまでの哲学理論を塗り替える可能性がある。
本講義は現在の ASD 研究を出発点とし、その哲学的含意を現代社会との関連において捉えるべく、近代の哲学史を参照する、そのようなものである。講義の内容は目下進行中の担当者の研究プロジェクトであるから、仮説の部分も多く、また十分な結論にも辿り着いていない。出来上がったものを披露するタイプの講義ではなくて、研究している途中のものを共有するタイプの講義と考えていただきたい。
講義では何人かの哲学者の理論を参照するが、前提知識は必要ない。そのたびごとに各理論について説明を加える。したがって、講義は一つの問題を巡って展開するものであるが、参加者は最終的に哲学史についてのある程度の知識を獲得することができる。取り上げる予定である哲学者は次の通りである。
イマニュエル・カント／G・W・F・ヘーゲル／エトムント・フッサール／マルティン・ハイデガー／ジークムント・フロイト／ハンナ・アレント／ジャック・ラカン／ジル・ドゥルーズ／ジャック・デリダ／ジョルジオ・アガンベン／木村敏

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	哲学II	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目
授業の目標概要

哲学の原典を読む
西洋哲学の基礎を、その原典に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテクストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテクストも読解する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50126	A	倫理II	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目
授業の目標概要

死をめぐる生命倫理
本シラバスを入力している 2021 年 7 月 31 日現在、日本は新型コロナウイルス感染症の猛威の渦中にある。既に 1 年半に及び行方も不明なコロナ禍にあって、最も軽視されているのは人々の「死」であるように思われる。日本でも既に 1 万 5 千人以上の者が死亡しており、そこには 1 万 5 千以上の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。
そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーや G.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。
脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	歴史I	大塚 修	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		イランの歴史と文化 この授業では、中東イスラーム地域の中でも、イランを中心とする地域の歴史と文化を扱います。イランは 1979 年のイスラーム革命以降、イスラーム的価値観に基づく国家づくりを掲げ、国際社会から孤立してきました。特に 2018 年にアメリカが核合意を離脱して以降、アメリカとの対立はいっそう深まっている状況にあります。しかし、中東イスラーム地域におけるイランの重要性については、いまだに十分な知識が提供されているとは言えない状況にはあります。イスラーム文化は非アラブ圏においても、各地域で独自の発展を遂げてきました。特に、イラン文化の影響は中央アジア、インド、トルコなど広範囲に及び、イスラーム教という宗教やその文化を考える上で看過できない重要な位置をしめています。そこで、この授業では、前イスラーム時代の在来文化と融合しながら発展してきたイランを中心とする地域のイスラーム教の在り方を歴史学的手法から再考し、一般的なイスラーム認識を相対化することを目指します。それと同時に、現代のイランや国民国家に関する諸問題について考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	歴史II	渡辺 美季	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		異文化交流から見た琉球・沖縄の歴史 琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジアの一王国として存続し、独自の文化的特徴を発展させた。本講義では、周辺諸国との交流の中で、琉球王国がいかにしてその文化的固有性を育んだのか、また沖縄県となった後、日本やアメリカとの関わりの中で、その文化がどのように継承され変容したのかを、時間軸に沿って講義する。近代とは異なる国家や国際関係のあり方への理解を深めることで、現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、変容しながらも近代以降に継承される文化を扱うことで、長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	ことばと文学II	田村 隆	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		『源氏物語』宇治十帖の世界 『源氏物語』の宇治十帖（橋姫～夢浮橋）は、光源氏死後の次世代の物語である。その舞台には宇治の地が選ばれた。源氏の死の場面は書かれず、続篇の物語は、匂兵部卿巻冒頭の「光隠れ給ひにし後」という一節、いわゆる「ナレ死」から始まるが、橋姫巻から始まる宇治十帖では正篇および匂兵部卿・紅梅・竹河の三帖をどう受けて展開しているかを橋姫・椎本の二帖を中心に読み解いてゆく。 本講義では、2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まり本年 9 月に完結予定（全 9 冊）の岩波文庫をテキストに用い、正篇・続篇の分類では続篇に属する巻々の世界を味読する。物語の一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。 オンライン授業ということで、東大本『源氏物語』他の画像が検索できる「デジタル源氏物語」など、『源氏物語』の新しい研究ツールについても随時紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	ことばと文学III	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		国民歌人と国民歌集――『万葉集』に取り憑かれた斎藤茂吉―― 近代短歌史上の巨人とも評される斎藤茂吉の生涯を、近代史における『万葉集』国民歌集化との関わりで捉え直す。茂吉の作歌信条が「写生／実相観入」と「万葉調」とに集約されることは周知のとおりだが、実のところ、彼が『万葉集』を熱烈に尊信するまでの過程には幾多の紆余曲折があった。茂吉にとって『万葉集』とは何であったのか――この問題を考えることを通して、古典とは何か、国民とは何かといった問題にも説き及びたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50127	A	ことばと文学IV	山田 広昭	仏語・伊語	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	小説（物語）のことばとは何か					
授業の目標概要	古今と洋の東西を問わず、小説を読むとき、人はまず物語の筋に関心をもち、それによって面白いとか面白くないとか言うのが普通です。しかし、その物語がどのようなやり方で、そしてどのような「ことば」で語られているのかという点に注目すると、小説の見え方がずいぶんと違ったものになってきます。 その「話」は誰によって語られているのか、作中人物なのか、作品内にはあらわれない誰かなのか、それとも語り手など存在していないのか。一人称小説、三人称小説という言い方が意味しているのは何か。二人称小説（えっと思うかも知れませんが、存在しています。主人公が「あなた」とか「きみ」とかで指示されている小説です）はどんな効果を狙って書かれているのか。 上であげた問いはほんの一例ですが、こうした問いを、理論的なアプローチ（二十世紀後半に発達した分野でナラトロジーと呼ばれています）と実例（具体的な作品）の分析とを両輪にして、考察していきたいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50128	A	心理II	浅野 倫子	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	物事を見聞きし、認識し、記憶する、思考する、行動する、言葉を操る。私たちが普段何気なく行うこれらのような認知的活動は、どのような仕組みの上に成り立ち、また、社会や文化、遺伝とどのように関係するのか。心理学とは、これらの問題について実証的に探究する学問である。人間の認知の仕組みを調べると、人間はどのようなことが得意、あるいは不得意かも見えてくる。これは工業デザインや社会制度といった私たちの日常生活の物事と密接に関わるものである。この授業では、以上のような問題意識を念頭に置いて心理学の成り立ちを概観し、人の心の基本的な仕組み及び働き、そして、それらを研究するための手法について学ぶ。「心（mind）の働き」についての学術的知識を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50480	A	心理II	樫原 潤	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	心理学は「人の心の基本的な仕組み及び働き」を理解するための科学であり，「心」という目に見えないあやふやな対象について，科学的見地からなんとかソリッドな議論を積み重ねようと四苦八苦するところに学問としての魅力があります。19 世紀後半に科学としての心理学が成立して以降，沢山の心理学者たちがあらゆる手段を駆使して検討を重ねてきましたが，「人の心の全容」はいまだに明らかになっていません。それどころか，時代とともに研究領域の細分化・先鋭化が進み，心理学という学問領域の全容が年々捉えづらくなってきています。心理学者の間でさえ，「となりの研究領域については教養の授業で学んだきりで，現在どのような状況になっているのかよくわからない」という事態がしばしば生じています。 こうした状況を踏まえ，この授業では，「心理学という学問について自分なりの見取り図を作ること」を目標に学びを進めていきます。1 セメスターでカバーできる範囲には限りがあり，扱うトピックは「認知 (学習) 心理学」「発達心理学」「社会心理学」という 3 領域のものに限られますが，心理学のその他の領域とオーバーラップする部分は多々あるので，その部分を重点的に理解していきます。また，上記 3 領域について入門テキストに根差した解説を受けるだけではなく，授業内容と関連した近年の研究知見にも触れていきます。近年の研究には，心理学の複数領域のエッセンスを組み合わせたものが多いので，心理学の成り立ち (構成) についての理解を深める上できっと役立つことでしょう。 授業の到達目標は，以下の 3 点になります。 1. 「認知 (学習) 心理学」「発達心理学」「社会心理学」という 3 領域についての基礎知識を，正確かつわかりやすい言葉で説明できる。 2. 近年の心理学研究が，複数領域のエッセンスをどのように組み合わせているか，自分の言葉で説明できる。 3. 上記 1, 2 を踏まえ，心理学という学問について自分なりの見取り図を作ることができる (つまり，領域同士がどのように関連し合い，心理学が総体としてどこに進んでいるのか，自分の言葉で説明できる)。					

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2

授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する. 1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする. 2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週１回受講する．実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと.
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者）　　基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社　　学術図書出版社、 東京化学同人
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止.
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50080	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50604	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50798	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51006	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
51451	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(物理学)α	1 年 理一
60238	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(物理学)α	1 年 理一
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60032	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60091	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50081	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50350	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50605	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50799	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51007	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60033	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60086	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60092	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50110	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 奇
50354	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
50610	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇
50808	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇
51019	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇
60006	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 偶

基礎実験

60034	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
60080	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶
60087	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶
60093	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
50111	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 偶
50355	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
50611	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶
50809	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶
51020	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
60007	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 奇
60035	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
60081	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇
60088	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇
60094	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)
2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)
3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)
4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理)
5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)
6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分)

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

成績評価方法　主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．

教科書　その他。／Other

関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50065	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
50066	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
50067	月 2	緒方 芳子	1 年 理二三(21-24)
50159	月 4	山本 昌宏	1 年 理一(20-23)
50160	月 4	金井 雅彦	1 年 理一(24-27)
50161	月 4	桐木 紳	1 年 理一(28-31)
50162	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50163	月 4	WILLOX RALPH	1 年 理一(36-39)
50407	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(1,17-19)
50408	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
50409	火 4	岩木 耕平	1 年 理一(3,11-13)
50410	火 4	長井 秀友	1 年 理一(6-7,9-10)
50411	火 4	大場 清	1 年 理一(14-16)
50607	水 3	辻 雄	1 年 理二三(1-7)
50608	水 3	関口 英子	1 年 理二三(8-10)
50609	水 3	田中 公	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要	線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった． 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする． S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	その他。／Other
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50469	水 1	植野 義明	1 年 理二三(1-7)
50470	水 1	ケリー シェーン	1 年 理二三(8-10)
50471	水 1	小林 正典	1 年 理二三(11-13)
50472	水 1	北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
50473	水 1	伊山 修	1 年 理二三(18-20)
50474	水 1	村上 順	1 年 理二三(21-24)
50802	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(20-23)
50803	木 3	下川 航也	1 年 理一(24-27)
50804	木 3	寺田 至	1 年 理一(28-31)
50805	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50806	木 3	山﨑 満	1 年 理一(36-39)
51000	金 3	河澄 響矢	1 年 理一(1,17-19)
51001	金 3	白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
51002	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
51003	金 3	木田 良才	1 年 理一(6-7,9-10)
51004	金 3	関口 英子	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく,自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある.この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり,練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け,応用力を養う.講義内容に即した応用問題の他に,講義の理解を深めるための証明問題や,講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある.
成績評価方法	通常は定期試験を行なわず,平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ,授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする.出席点が重視されるため,欠席を重ねると単位を出せなくなることがある.
教科書	その他。／Other
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50115	A	月 3	微分積分学演習	畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
50116	A	月 3	線型代数学演習	北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
50117	A	月 3	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
50118	A	月 3	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
50119	A	月 3	微分積分学演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
50120	A	月 3	線型代数学演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
50426	A	火 5	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(1,17-19)
50427	A	火 5	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(1,17-19)
50428	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
50429	A	火 5	線型代数学演習	白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
50430	A	火 5	微分積分学演習	岩木 耕平	1 年 理一(3,11-13)
50431	A	火 5	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(3,11-13)
50432	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(6-7,9-10)
50433	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(6-7,9-10)
50434	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
50435	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
50637	A	水 4	微分積分学演習	辻 雄	1 年 理二三(1-7)
50638	A	水 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理二三(1-7)
50639	A	水 4	微分積分学演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
50640	A	水 4	線型代数学演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
50641	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50642	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50838	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(20-23)
50839	A	木 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50840	A	木 4	微分積分学演習	金井 雅彦	1 年 理一(24-27)
50841	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(24-27)
50842	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)
50843	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)
50844	A	木 4	微分積分学演習	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50845	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50846	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	1 年 理一(36-39)
50847	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	定期試験による．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50178	A	月 5	数理科学基礎（補修）	逆井 卓也	1 年 理科 2 年 理科
50659	A	水 5	数理科学基礎（補修）	柏原 崇人	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A	開講区分	A

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存

2.静電場
- ・クーロンの法則とガウスの法則
- ・電位とその性質
- ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
- ・導体系
- ・静電場のエネルギーとストレス

3.定常電流
- ・オームの法則、連続の方程式
- ・回路への応用（キルヒホフの法則）
- ・ジュール熱

4.定常電流による磁場
- ・アンペールの法則
- ・静磁場の微分方程式
- ・ベクトルポテンシャル
- ・ビオー・サヴァールの法則
- ・円電流と等価磁石
- ・単位系

5.電磁誘導とマクスウェル方程式
- ・ファラデイ・レンツの法則
- ・変位電流と連続の方程式
- ・マクスウェル方程式
- ・電磁場のエネルギーと仕事
- ・平面電磁波
- ・準定常電磁場と交流回路

＊6.物質中の電磁場
- ＊考え方：分極電荷、磁化電流
- ＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
- ＊異なった物質の間の境界条件
- ＊物質中の電磁場エネルギー

成績評価方法　主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50527	水 2	下村 裕	1 年 理一(1-5)
50529	水 2	水野 英如	1 年 理一(6,34-35)
50534	水 2	大井 万紀人	1 年 理一(30-33)
50535	水 2	森松 治	1 年 理一(37-39)
50536	水 2	久我 隆弘	1 年 理二三(1-2,19-20,22,24)
50537	水 2	多田 司	1 年 理二三(3,7-8,11)
50740	木 2	深津 晋	1 年 理一(7-8,26-29)
50742	木 2	小林 研介	1 年 理一(9,19,21)
50753	木 2	竹内 誠	1 年 理一(22-24)
50757	木 2	下村 裕	1 年 理二三(4,13,16,18)
50758	木 2	守田 佳史	1 年 理二三(12,14,17,23)
51042	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(10-12)
51044	金 4	金澤 直也	1 年 理一(13-15)
51045	金 4	年吉 洋	1 年 理一(16-18)
51047	金 4	藤山 茂樹	1 年 理一(20,25,36)
51056	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(5,9,15)
51057	金 4	石原 秀至	1 年 理二三(6,10,21)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。
1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系
5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路
6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

成績評価方法　主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50528	水 2	上野 和紀	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)
50741	木 2	菊川 芳夫	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,12-14,16-18,23)
51043	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎
   ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

成績評価方法　※各授業の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50055	月 2	山口 和也	1 年 理一(5,31,33-34)
50059	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50063	月 2	十代 健	1 年 理二三(5-6,9,11)
50106	月 3	横川 大輔	1 年 理一(17,29-30,35)
50114	月 3	安池 智一	1 年 理二三(10,12-13)
50210	火 1	岩崎 純史	1 年 理一(7,12,27)
50217	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(7,15,20)
50347	火 3	奥野 将成	1 年 理一(8,11,13)
50352	火 3	青木 優	1 年 理二三(4,18,22-23)
50353	火 3	小島 達央	1 年 理二三(8,14,19)
50602	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50606	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36,38)
50631	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(10,14-15)
50634	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(23,25-26)
50636	水 4	齊藤 圭亮	1 年 理一(32,37,39)
50796	木 3	横川 大輔	1 年 理一(1-3,6,9)
50807	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-3,16-17,21,24)
50891	木 6	羽馬 哲也（構造化学 α）	1 年 理科
51091	金 6	羽馬 哲也（構造化学 α）	1 年 理科

生命科学 II

生命科学II	開講区分	A

授業の目標・概要	細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 １．細胞内輸送 ２．細胞骨格と細胞運動 ３．細胞間・細胞内情報伝達 ４．神経伝達と機能 ５．細胞周期 ６．動物・植物の発生 ７．遺伝子の発現制御 ８．ゲノムと進化 ９．生物多様性
成績評価方法	UTAS 参照
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第５版 著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社　（株）羊土社 ISBN　978-4-7581-2102-6

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50164	月 4	渡邊 雄一郎、豊島 陽子	1 年 理二三(10,14,16-17)
50166	月 4	加納 純子、池内 昌彦	1 年 理二三(18,20-22)
50910	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,9,11-12)
50916	金 1	佐藤 健	1 年 理二三(13,15,23-24)
51018	金 3	山田 貴富	1 年 理二三(1-6,8,19)

展開科目　社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50660	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	内山 融	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「デモクラシーを取り戻す」					
授業の目標概要	近年、ポピュリズムの跋扈や権威主義国家の拡大など、デモクラシーを脅かしているとみられる現象が目立っている。はたしてデモクラシーは危機に瀕しているのか。そうだとすればどのような処方箋があるのか。私たちにできることは何か。こうした問題について、文献を読みつつ、皆さんと議論して考えていきたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50925	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	田中 雅子	法・政治	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	エビデンスに基づく政策立案					
授業の目標概要	私たちの身の回りの公共政策は、本来何らかの望ましい目的を実現するためにあります。しかし、政策の目的、手段、効果が客観的に理解可能なかたちで提示されているとはいいがたく、従来の延長や、利害関係者が要望する中間点を政策帰結とすることが多いのが現状です。 現在、国・地方の行政機関は、エビデンスに基づく政策立案（Evidence-based Policy Making 以下、EBPM）を推進しています。エビデンスとは、主張を行ううえで根拠となる論理的な思考を指し、利用可能な量的・質的データを用いて構成します。 授業では、まず EBPM が必要とされる背景をたどり、エビデンスとなる官民データの現状を、実際にデータにアクセスして把握します。次に基本的な統計処理の方法を紹介し、社会調査データを用いたデータ分析と政策的含意の導出を、各自のテーマに基づいて行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51395	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	溜箭 将之	法学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	イギリス契約法					
授業の目標概要	イギリス契約法に関する英文入門書を通読する。 契約法は、イギリスで法学の入門科目として扱われる。またイギリス契約法は、国際的な商取引で広く用いられている。さらに、イギリス法はアメリカ法とともにコモン・ローと呼ばれる法的伝統の源であり、ドイツやフランスなど日本が大きく影響を受けてきた大陸法と呼ばれる法的伝統と異なる特徴をもつ。 本ゼミナールでは、イギリス契約法を、法学入門、イギリス法の理解、日本や大陸法との比較、国際商事取引の理解など、様々な観点から検討してゆく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51396	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	戸籍の社会史					
授業の目標概要	明治期の或る戸籍を起点として、資料からいかに問題を析出するか、いかにして調べを進めてゆくかを、さまざまな留意点とともに例示的に学ぶ。戸籍の表面には或る具体的な人間関係が、背景をなす社会制度・法制度に条件づけられて投射されている。表面と背景、それぞれの細部に徹底的にこだわり、戸籍において交錯する「個人」と「制度」を多面的かつ立体的に把握することをめざす。 受講希望者が 5 名を超えた場合は、小テストによって選考することがあるので、初回授業に必ず参加すること。受講許可は第 2 回目までに ITC-LMS において告知する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51397	A	社会科学ゼミナール （法・政治）	苅部 直	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		政治思想とは何か 政治をめぐるさまざまな問題について、表面的な事実についての知識を蓄えるのではなく、権力とは何か、なぜ選挙に行かないといけないのか、自由とは、民主主義とは何か、そもそも「政治」とは何か……といった根本の問いについて、ともに考え、討論する。「わかりやすい」情報によって答を得て満足するのではなく、そうした問題がますます「わからなくなる」ことをめざしたい。 （予備知識は必要としないし、政治がテーマと言っても文科一類の学生だけを対象とするわけでもない。ただし対面で受講可能な学生のみ履修可とする。）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51398	A	社会科学ゼミナール （法・政治）	伊藤 洋一	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スウィフト『ガリヴァー旅行記』を読む 現代に氾濫する大量の情報を主体的に選択した上で、それに基づく厳密な思考を積重ねつつ、歴史的・理論的な視点に立ち、自身の見解を形成すること、それを公共の空間での批判に耐えるような形で、言葉で表現する能力を持つことは、法と政治を学ぶ際には欠かせません。 しかし、そのような能力を培う場は、高校にも大学教養課程にも乏しいのが現状です。そこで、その欠を少しでも埋めようと、法学部の複数のスタッフが、この枠で演習形式の授業を行ってきました。 古典的な著作の精密な読解、主張を着実に伝える論述の方法、お互いの見解を深める議論の応酬、こうした訓練を積まないかぎり、十分に法を理解し、政治を考えることは困難です。このような能力は、司法・行政・政治を職業に選ぶ者にはもちろん、それ以外の場合でも、社会の一員として好むと好まざるとにかかわらず法と政治に関与する場面(わかりやすい例は選挙と裁判)で必要となる、貴重な素養です。 第 1 回授業日のガイダンス(オンライン実施を予定; 下記「履修上の注意」参照)で、演習の趣旨・内容・進め方を説明するので、必ず出席した上で参加を決めること。 参加資格は、法学部進学希望者・文科 1 類学生には限りません。文系・理系の別も不問です。知的興味を持つ学生諸君を歓迎します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	社会科学ゼミナール （経済・統計）	清水 剛	経済・統計	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戦前の企業経営から「コロナ後」を考える 本ゼミナールでは、戦前の企業経営に関する文献について、大体１－２章程度を読みながら（一部戦後の文献も含まれる)、戦前の企業に関わる人々が何を考え、どのように経営に関わっていたのか、それは戦後とはいかに異なるのか、そのような相違は「コロナ後」の経営や社会にどのような示唆をもたらすのかを考えていく。 受講希望者が多数（２０名以上）になった場合には選考を行う可能性がある。この場合には小論文による選考を行うため、第１回目の授業に必ず出席すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50242	A	社会科学ゼミナール （社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		質的調査の方法 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【Ｆ】科目。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50241	A	社会科学ゼミナール （国際関係）	石田 淳	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「国際政治学の思考様式」					
授業の目標概要	現代国際政治学の古典たるE・H・カーの『危機の二十年』およびH・モーゲンソーの『国際政治』を精読する。それを通じて、戦間期欧州、冷戦期世界の時空間的な文脈の中で、国際政治を「現実的に／現実主義的に（realistically）」理解するとはどういうことなのかを多面的に考察する。最終的な目標は、国際政治学の思考様式を身につけることにある。 授業は演習形式で行われる。 この科目は、アドバンスト					

展開科目　人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	藤川 直也	哲学・科学史	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語哲学の古典的文献を読む。 現代の言語哲学の基礎をなす古典的な文献を精読する。今年度は、現代語用論の基礎であるポール・グライスの「論理と会話」と「意味」という二つの論文を取り上げる。専門的な論文の読み方（cf. ノートの取り方、批判的検討)、言語哲学を研究するための基礎的な知識の獲得を目指す。 なお受講許可のための選考は実施しない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	黛 秋津	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代ロシア東欧史史料講読演習 歴史学の研究は、同時代に書かれた文献、すなわち一次史料を、その背景を踏まえて解釈することから始まる。本演習は、主に 19 世紀のロシア東欧史に関わる一次史料を精読し解釈することを通じて、歴史学研究の基礎を学ぶことを目標とする。 19 世紀のロシア東欧は、西欧諸国やイスラーム世界のオスマン帝国などとのかかわりを深め、一つの国際システムを形成する中でその歴史が展開していったということが出来よう。授業の前半では、ロシア帝国が加わった条約の一つを取り上げてその条約テキストを読み、授業の後半ではそうしたマクロな視点を踏まえた上で、旅行記を精読して、ミクロな視点からロシア東欧地域の近代を考える。 本演習では、おそらく英語以外の言語の史料は扱えないと思われるため、条約も旅行記も英語テキストを使用するが、条約についてはロシア語やフランス語などの他の言語のテキストもあるため、能力と意欲のある者はそうしたテキストも同時に参照すること。条約については 1856 年のパリ条約か 1878 年のベルリン条約を取り上げるつもりである。旅行記についてはガイダンスの時に、バルカンからロシア帝国領にかけての記述のあるテキストを、履修者と相談の上決定する。 履修者の上限は 15 名程度を予定している。第 1 回目の授業に 15 名以上の履修希望者が参加した場合は、受講の目的、授業への参加意欲、各自の関心などを確認するための課題の提出を求め、それらが不十分と判断された者には履修を許可しない場合がある。結果は ITC-LMS を通じて 2 回目の授業までに通知する。こうした選考を行う可能性があるため、本授業の履修希望者は第 1 回目の授業に必ず参加すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	桜井 英治	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中世日本の史料を読む 古代・中世史研究で使われる史料の多くは、変体漢文とよばれる特殊な漢文で書かれている。それは中国漢文が日本列島に入り、長い年月をかけて独自の変化をとげたものであり、それを読みこなすには一定の訓練と習熟が必要になるが、ひとたび慣れてしまえば、これ以上におもしろい世界はない。そのおもしろさに触れてもらおうというのがこの授業の第一の目標である。一方、一口に史料といっても、古文書・古記録・著述、あるいは一次史料か二次史料かに応じて求められる史料操作も異なってくるし、近年では文献史料ばかりでなく、考古学や民俗学資料の活用も不可欠になってきている。これらさまざまな史・資料を扱う際の技術や心構えについてもあわせて学んでもらうことになろう。 なお授業は第 1 回のみオンラインで実施し、第 2 回以降はすべて対面授業とする。したがって履修者も対面で受講可能な学生に限定する。履修者数は最大 25 名程度とし、第 1 回授業でそれを超えたばあいには授業内に面接・小テスト等による選抜をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50926	A	人文科学ゼミナール （文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	医療・福祉の現場（フィールド）を人類学的に研究する 【授業の目標】 他者への想像力をもち、対話するためのアプローチを、人類学とその周辺の著作から学ぶことを目標とする。また具体的な現代的諸課題に対して、人類学的な探究がどのような意義や可能性をもちうるかについて考えを深める。 【概要】 大まかに 1．他者を受けとることと自己変容、2．他者とつくる社会、3．社会的苦悩へのアプローチという 3 部構成をとる。受講生は講義を踏まえつつ、自ら選んだ民族誌（人類学者の著すテクスト）の批判的読解やフィールドワークへの構想を発表（一人 10 分程度×1 回）する機会をもつ。講義や発表、討論を通して、受講生は次の問題に対して考えをもち、言語化できるようになることが期待される。他者への想像力をもつこと、真剣にうけとることはなぜ重要で、どのような意義があるのか？そのために人類学の考え方や手法はいかに生かされうるのか？ 講師のこれまでのフィールドが福祉や医療に関わるものであることや、近年の生命や医療をめぐる諸課題の重要性に鑑みて、授業では医療・福祉に関わる議論や著作を中心にとりあげるが、受講生各々が課題にとりくむ際には必ずしもトピックを狭く限定せず、各々の問題関心を発展させていくことを推奨する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50180	A	人文科学ゼミナール （データ分析）	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計から読む農業産地の構造変化 日本の農業は，長期的・巨視的にみると高度経済成長期以降，農業従事者の高齢化・大幅な減少，耕地面積の減少といった形で，産業としての規模を縮小させてきたといえる．しかし日本の国土を見渡せば，農業が現在も基幹的な産業としての位置づけを維持し，今後のあり方を模索している地域も少なくない．本授業では，何らかの農作物を中心に農業の「産地」と呼ばれてきた特定の地域を取り上げ，概ね高度経済成長期前後から今日に至る産地の構造変化とその到達点としての現状を，国勢調査，農業センサスなどの基礎的統計のオリジナルな分析を通じて客観的に把握し，産地の課題や今後の方向性を検討することを試みる．例年であればこの授業は，こうした統計分析と，3 泊 4 日程度の合宿による人文地理学的な野外調査を組み合わせ，産地の構造変化や現状の理解の深化を試みるが，今年度は合宿が認められないため，統計分析や地図作業などの課題を中心に授業を行う．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50917	A	人文科学ゼミナール （データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	心理学統計法 物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50927	A	人文科学ゼミナール （データ分析）	大関 洋平	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然言語処理入門 昨今の機械学習やビッグデータの急速な発展に伴い、社会科学や自然科学だけで無く、人文科学においてもデータ分析が必要不可欠な教養になりつつあります。そこで、本授業では、自然言語のデータ分析を対象とする「自然言語処理」（Natural Language Processing; NLP）の概要を説明し、Python と NLTK を用いて実際にプログラムを実行することで、その基盤技術を理解することを目標とします。特に、形態素解析、構文解析、意味解析、日本語の自然言語処理、ニューラルネットワークと深層学習、などを取り扱う予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	人文科学ゼミナール （ことばと文化）	アルヴィ　なほ子	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イギリス・ロマン主義の文化と詩のことば 履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20 名程度に受講を許可します。受講許可は第 2 回までに ITC-LMS のこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。 「課題」は google form です。g.ecc のアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf3eMM5R5TdFYNDG29tUSGq-rDwgCzYSHNOjg3SVpy823yXtg/viewform?usp=sf_link 目標）英語で書かれた文学テクストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テクストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。 1）文学テクスト、特に詩（韻文）を読むとはどういうことかを理解する。 2）文学テクストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外部――同時代のコンテクスト、現代の理論など――などを考察しながら、1 つの作品（テクスト）を精読していくやり方を学ぶ。 3）一次資料の扱い方、OED などの使い方に慣れる。Bibliography（Book history）の初歩を学ぶ。 概要）ことばが文学テクストとなって花開くとき、何が起こっているのか、文学テクストの生成と想像力の関係、そのテクストが生み出される文化との関係、固有の文化を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	人文科学ゼミナール （ことばと文化）	村上 克尚	国文・漢文学	月 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		石牟礼道子・緒方正人を読む この授業では、水俣病に関する闘争のなかから生まれた二つの著作、石牟礼道子『苦海浄土――わが水俣病』（1969 年）、緒方正人『チッソは私であった――水俣病の思想』（2001 年）を輪読することを通じて、改めて私たちが持つ「文学」の定義について考え直すことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51390	A	人文科学ゼミナール （ことばと文化）	柳橋 博之	文学部	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イスラーム法の原典を読む アラビア語で書かれた、イスラーム法の原典を読み、アラビア語の読解能力を高めるとともに、イスラーム法についてある程度の知識を得ることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51068	A	人文科学ゼミナール （ことばと文化）	矢田 勉	国文・漢文学	金 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		なぞなぞから探る日本語史 言語遊戯の代表格である「なぞなぞ」は、「地口・洒落」などと同様に、その時代の言語、特に音声・音韻や文字の構造をその成立基盤に有している。 日本の古代から近世にいたる時代の、広義の「なぞ」を解くことを通して、その背後にある当時の日本語の音声・音韻や文字のあり方を探っていく。				

展開科目　自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50167	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アドバンスト・フィットネス 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。 ＊履修者の決定方法等については、下記の「履修上の注意」を参照すること。 （ただし、オンライン授業の場合は上記の定員は設定しない予定）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51115	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	末次 憲之	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物光生物学：植物の光応答反応に関する実習 植物は光を光合成のためのエネルギーとして利用するだけでなく、光受容体を介して周囲の光環境をモニターするための”情報”として利用し、成長や発生を最適化する。 本ゼミナールでは、モデル植物シロイヌナズナを用いて、青色光で誘導される葉緑体運動、光屈性、葉の展開を実習形式で解析することにより、植物に触れながら基本的な実験方法（培地作成、種まき、光処理、生理実験、データ解析など）を習得すること、さらに野生型と光受容体変異体の遺伝子系の解析をとおして、簡単な分子生物学的手法（DNA 抽出、PCR、電気泳動など）を習得することを目的とする。 実習形式のため、対面で受講可能な十人程度に受講者を絞る。受講希望者は 10 月 8 日（金）までに末次（suetsugu@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）にメールで連絡。名前と所属、学生証番号、このゼミナールを受講希望する簡単な理由を 80～120 字程度記入する。受講理由をもとに一次選抜し、それでも絞りきれない場合は抽選で選抜する。10/21（木）までに選抜結果を UTAS 掲示板にて履修許可者を学生証番号で発表する。履修希望者数が十人程度で全員当選した場合は個別メールあるいは ITC-LMS で通知する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51116	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	奥崎 穣	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		野生動物実習（モグラ観察） 生物の生態を理解するためには，野外での分布と活動のパターンを明らかにする必要がある．本実習では駒場キャンパス内の緑地でモグラ塚の（地中のモグラが作る表層土壌の隆起）のモニタリングを行い，その時空間的変動パターンの検出を試みる．さらに得られた結果からモグラの生態について考察する． 履修者が 40 名を超えた場合は選抜を実施する． 履修を希望する学生は，ITC-LMS のメッセージ機能を用いて，10 月 4 日までに氏名と学生番号を教員に通知すること．その希望者が 40 名以上であった場合は，10 月 5 日に ITC-LMS のお知らせ機能を用いて，選抜を行うことを通知する．40 名未満であった場合は，行わないことを通知する． 選抜を行う場合，希望者は履修を希望する理由を A4 用紙 1 枚以内に記載し，10 月 7 日までに ITC-LMS に課題として提出すること．選抜はその内容に基づいて行われる．選抜結果は 10 月 8 日までに ITC-LMS のお知らせ機能を用いて通知する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50244	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		有機反応機構を考える 本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、有機化学の基礎知識の有無に関わらず、意欲のある学生を大いに歓迎する。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはありません。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51393	A	自然科学ゼミナール （数理科学）	白石 潤一	数学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		マクドナルド多項式と W 代数の表現論				
授業の目標概要		マクドナルド多項式は 2 つのパラメータを持つ多変数の直交多項式である。また、変形 W 代数とは、およそマクドナルド多項式がその表現論に現れるような無限次元の結合代数のことである。例えば、量子トロイダル代数はそのような代数の典型例である。Alday-Gaiotto-Tachikawa によると、そのような表現論は Yang-Mills 理論のインスタントンのモジュライ空間の上の積分（Nekrasov 分配関数）に他ならない。そのようなことをできるだけ具体例に即して説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51394	A	自然科学ゼミナール （数理科学）	古田 幹雄	数学	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		固有値と固有ベクトル				
授業の目標概要		固有値と固有ベクトルは、一群の問題に対して、数学的に統一的な理解を与える。この統一的な理解が、具体的な状況にどのようにあらわれるかを、学生の皆さんと一緒に見てゆくことが目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51391	A	自然科学ゼミナール （情報科学）	伊東 乾	情報学環	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎から考える数物演習・・・とくに確率・統計・推定をめぐって				
授業の目標概要		高等学校の数学I、数IIB など、いわゆる「文系数学」と高校物理を出発点として、物理的なイメージを友もなって、大学学部レベル（教養＆専門課程）の内容を、板書演習などを伴って身に着けよう、というコマ。例えば私は「期待値」とか「分散」といった言葉があまり好きではない。「やじろべぇ」のような力学的なイメージを伴う、幾何やダイナミクスを伴う理解（いわば「フェルミ流」）の腑分けと理解があると、楽しいし、自分で応用を考えたりするのも取り組み甲斐がある。先を急がず、そういう内容で牛の歩みで進める流儀である。例年、前期は文系から理系進学に興味を持つ 2 年生の履修があり、進学後の 3 年生 4 年生がチューターとなってオプションの ZOOM 演習なども行っている。2021 年冬学期は「偶然性」をめぐる基礎的な数物的アプローチを検討する。				

展開科目　文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51401	A	文理融合ゼミナール （認知と芸術）	高木 紀久子	総合文化研究科	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ー身体と心で向き合う創作と心理学的プロセスー Exploring cognitive process of artistic creation through hands-on art making				
授業の目標概要		この授業では，芸術の実践的な演習を通して身体レベルと思考レベルの創造プロセスの方法を身につける。身体レベルの創造に関しては，外界とのインタラクションを中心としたワークを行い，自己の記録および他者と共有することでその可能性を探る。思考レベルの創造に関しては，既存の思考の枠を外して新しいアイデアを発想することの理解を，講義とワークの双方を通じて深めていく。身体レベルと思考レベルの双方の活動からアイデアを統合させ作品創作を行い、最後の授業で発表することが求められる。この二つのタイプの活動を通して，芸術の創作プロセスに関する体験的理解を深めると共に，身体と思考を融合した創造活動についての知見を得ることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51400	A	文理融合ゼミナール （認知と芸術）	O JUN	総合文化研究科	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		『絵の授業』				
授業の目標概要		ドローイング演習とその表現について実践的に体験し考察する。実技としてドローイング制作を体験しながら表現と表現行為について考察する。また芸術における様々な表現形式や方法を古今東西の美術に学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60227	A 2	文理融合ゼミナール （認知と芸術）	舘 知宏 野老 朝雄	総合文化研究科	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		個と群				
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 野老朝雄と舘知宏との協働により、集中講義で創作活動を実践する。 美術家の野老は、図形的操作や幾何学的原理に基づき、単純なピースを組み合わせて平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出している。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたる。野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼ぶ。本科目では、「個と群」による表現のアクティビティを実践する。 俯瞰すれば、「個と群」の原理は、古今東西の紋様、建築構造物、宇宙構造物、折紙工学、セル材料、メタマテリアル、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、人工物や自然現象に普遍的にあらわれる。こうした「かたち」を通した学問のつながりをたどりながら、アートと、数理、人工物、自然現象など多様な領域をつなげるアート・サイエンス協働を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51402	A	文理融合ゼミナール （身体と芸術）	中井 悠	総合文化研究科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Archi-Choreographies／アルシ・コレオグラフィーズ				
授業の目標概要		人間のクセを振付の問題として捉え、各自がすでに踊っているダンスを見出す方法を探ります。 口癖、手癖、怠け癖、思考壁、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い…など、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣（habit）」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振付」＝アルシ・コレオグラフィーとみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容するかを検証します。別の言い方をすれば、新しい振付を考えることでダンスをつくる一般的なアプローチに代わって、それぞれが気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで消去法（引き算）的にダンスを浮かび上がらせる試みを行ないます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51404	A	文理融合ゼミナール （身体と芸術）	池上 高志 STONE Carl	総合文化研究科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		New Time Structures in Digital Music The class will aim to teach the history of sound expression, techniques of sampling and recording technology, and introducing new modes of listening. The course will be divided between practical exercising and lectures covering the history of sound expression, which will introduce different people’s works in the field.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51392	A	文理融合ゼミナール （身体と芸術）	伊東 乾	情報学環	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		兜太・ゴダール・高畑：俳句ソニマージュ YouTube や Instagram など、一般のユーザが日常的に音声動画を発信する社会状況となり、結果的にコンテンツ品位の低下も著しい。このコマは 2016-17 年、映画監督の高畑勲、俳人の金子兜太両氏と「こういう授業があったらいいだろう」と話していたものを、両氏の急逝（いずれも 2018 年）を経て、改めて実現してみようと今年度前期から開始したものである。議論の背景には、担当者が作曲家・演奏家としてコミットしてきた映画やテレビジョン放送での実践、とりわけスイス＝フランスの映画作家ジャン・リュク・ゴダールの Son-Image の考え方があることから、表記の題目とした。表現する個人としてメディア社会に一人立つことを、感じ考えてもらえればと思う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51389	A	文理融合ゼミナール （身体と芸術）	松平 敬	教養教育高度化機構	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		音響を用いた表現 一般的な音楽は、メロディー、ハーモニー、リズムから構成されている。しかし、それらは長い歴史の積み重ねによる恣意的かつ暗黙のルールに縛られていて、多くの人は、その「基準」に基づいたものだけを「音楽」と認識する傾向がある。その一方 20 世紀以降には、これらのルールを解体し、音楽そのもののあり方を考え直すような様々な試みが行われた。「これは音楽ではない！」といった批判も受けたものも少なくないが、その批判の是非はさておき、こうした試みをとりあえず「音響による表現」と呼んでおこう。 この授業では、そうした過去の実例を紹介し、そのいくつかについては実際に演奏を試みる。そして、既存のアイデアを模倣し、拡張、超越することによって、受講生自身による独自の「音響表現」に挑戦してもらう。簡単な演奏上のルールを決めることで、他の受講生に、そのアイデアを演奏してもらうこともできるだろう。 このような実験的な表現を体験することで、音楽演奏への新しいアプローチを見つけるだけではなく、先入観にとらわれない自由な感性で音楽を聴取できるようになることが、本授業の到達目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51399	A	文理融合ゼミナール （身体と芸術）	工藤 和俊 豊田 喜代美	総合文化研究科	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　楽器としての身体：声楽の実践と科学

授業の目標概要

西洋クラシック音楽の器楽は楽器が用意されているのに対し声楽は身体を楽器として作ります。本授業は身体を楽器として作ることを、声楽の実践及び身体運動科学の方法論で実習することを目的とします。歌曲に込められた暗黙的な意味を自分自身に一体化する歌唱演奏トレーニングを行い、各自が芸術創造を体感することを目指します。その際、声楽実践時の感覚の言語化及び生体情報計測を実施し、身体情報をデータ化して分析・考察することで、自分自身の感性及び身体の変化を自覚・確認します。期待される効果として、自分が自分自身のコーチとなり教育する能力及び表現力の開発支援などがあります。

授業の内容は以下のとおり。

①バランスのとれた身体状態を『体幹』に注目して作る。その際、姿勢（立位時、歩行時）を確認する。

②声楽のグループレッスン

・呼吸と歌声をつなぐトレーニングから始めて、母音の響きに注目した声楽発声トレーニングを行う。

・母音の響きの向上により日本語の鮮明な歌唱が可能となり、それは会話においても効果を及ぼすものなので、プレゼンテーションなどの際に、自らの身体に適切な姿勢と声で自信を持って日頃の研究を発表できる可能性がある。

・自分の歌声の響きが他者の歌声とひとつの響きになること、また個々人の歌声の響き具合が及ぼす全体の歌声の響きへの影響を体感し、『個と全体』というものについてのイメージが喚起されることを期待したい。

・日本歌曲を用いて作曲家の創造性に寄り添う体験を試みる。作曲家の多くは詩に感動して歌唱作品を作る。その感動を作品創造の源と捉え、日本語の詩に作曲された日本歌曲の詩の朗読を行い、詩にこめられた情感に自らの感性が触れることで、曲に暗黙にこめられた作曲家と詩人の世界観を感じ、作曲家の創造の源についてイメージする。

・計測により数値とグラフで自らの歌唱状態を見る。結果の情報を教師と共有し、歌唱向上に向けての方策を声楽発声及び身体運動科学の観点から検討する。

③声楽の個人レッスン

・母音の響きに注目した個人レッスンでその人に最適な発声を見つける。個人レッスンは履修生全員に公開される。それまでのトレーニング過程を共有してきた同胞のレッスンを見ることで自身のへの気づきがあることが期待される。

・授業最終時に演奏する歌唱曲（授業での日本歌曲もしくは自由に選曲した歌唱曲）を演奏に向けて仕上げていく。その際、母音の響きの変化によって様々に歌唱表現が実現することを体験する。

・演奏会を行う。トレーニングの成果を履修生全員で分ち合う楽しく真剣な場が演奏会であり、個々人それぞれの創造体験が成されることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51388	A	文理融合ゼミナール （メディアと芸術）	今井 慎太郎	教養教育高度化機構	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　音楽プログラミングと電子音響音楽の作曲

授業の目標概要

Pure Data による音楽プログラミングの基礎を習得する。グラニュラーサンプリングを実装する。メロディ・リズム・ハーモニーに依らない電子音響音楽作品を作曲する。

受講人数は制限せず、選考も実施しない。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51403	A	文理融合ゼミナール （メディアと芸術）	中井 悠	総合文化研究科	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Other Musics／アザー・ミュージックス

授業の目標概要

Zoom でしか演奏・視聴できない音楽パフォーマンスを構想・制作・実演します。

現在のコロナ禍において Zoom などのオンライン・メディアを使ったさまざまなコンサートが行なわれていますが、そのほとんどがこれまでと同じような音楽の再生・再現を目指すもので、メディア環境の変化を積極的に捉えてそこから新しい音楽のかたちを模索する試みはあまり見当たりません。しかしこのような主要メディアの変化は、音楽の制作から演奏、そして視聴の方法全体に再考を促し、これまでとは異なる音楽を異なる仕方で創造するチャンスでもあります。

そのためには、普段何気なくオンライン授業で使っている Zoom というメディア（＝楽器）の特性を様々な角度から分析することが必要ですが、これまでさまざまなメディア＝楽器の特性を問題化してきた実験音楽の歴史を振り返ることも役に立つでしょう。このようにして「実験音楽」を真面目にお勉強するのではなく、自分たちが現在取り組んでいる具体的な問題に引きつけて実践的に把握した上で、じっさいに実験を繰り広げることで、「(実験) 音楽」と呼ばれてきた営みじたいを問い直し、さらに別の可能性を探っていくことを目的とします。

＊A セメスターと重なる時期に、中井／No Collective がヴァージニア大学作曲科コースのヴァーチャル・レジデンシー・アンサンブルとなり、同じく Zoom に特化した音楽をテーマとする共同制作を行なうため、そちらの作曲家たちとの交流やゲスト・レクチャーも予定しています。

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ１コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○２年生の履修について

２年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

- 総合科目Ｌ系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の４種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
- 英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
- Ｓセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各２曜限には登録しないこと。
- TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。

なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目Ｌ　英語中級・上級

英語中級（クラス指定ターム型）火３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50338	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50339	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		Reading English Articles: Biden Administration The goal is to read English articles (from The New Yorker) to understand current issues in the U.S. in English. They are on Biden Administration. Students need to read them in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50340	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		オスカー・ワイルドを読む オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50341	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50342	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	トム・ガリー	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		Online Discussion This class will focus on improving English-language reading and writing skills through the medium of text-based online discussions. The reading texts will be chosen from discussions that have taken place in the comments sections of the Hacker News website. The writing will take the form of online discussions among students using a similar text-based BBS. The topics for both the readings and the students' written discussions will be chosen based on students' interests. (While most of the discussions on Hacker News are about technical, IT-related topics, we will focus on discussions of more general topics.)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50343	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50344	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		ブラック・ライヴズ・マター運動を読む 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について関連する文献を読み、学ぶ。 今学期はブラック・ライヴズ・マター運動の展開に焦点をあてる。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60095	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		ブラック・ライヴズ・マター運動を読む 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について関連する文献を読み、学ぶ。 今学期はブラック・ライヴズ・マター運動の展開に焦点をあてる。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60096	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60097	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60098	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	トム・ガリー	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		Online Discussion This class will focus on improving English-language reading and writing skills through the medium of text-based online discussions. The reading texts will be chosen from discussions that have taken place in the comments sections of the Hacker News website. The writing will take the form of online discussions among students using a similar text-based BBS. The topics for both the readings and the students' written discussions will be chosen based on students' interests. (While most of the discussions on Hacker News are about technical, IT-related topics, we will focus on discussions of more general topics.)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60099	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		Reading English Articles: US Culture The goal is to read English articles (from The New Yorker) to understand current issues in the U.S. in English. They are on US Culture. Students need to read them in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60100	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目
Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60101	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目
オスカー・ワイルドを読む

授業の目標概要
オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50395	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50396	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50397	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50398	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		帝国の歴史 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50399	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	松本 和子	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れるとともに、ニュースでよく使われる表現や語彙を増やすことを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50400	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	ブラック・フェミニズムを読む―パトリシア・ヒル・コリンズ					
授業の目標概要	アメリカの社会学者パトリシア・ヒル・コリンズは、代表作『黒人フェミニストの思想』を、自分自身と「社会のなかで尊厳を否定され、沈黙を強いられてきた」アフリカ系アメリカ人女性の「声」を取り戻すために執筆したと語った。本授業ではコリンズの作品を通して、ブラック・フェミニズムとはどのような思想なのか、インターセクショナリティとは何を意味するのかを考える。コリンズの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するインタビューやドキュメンタリーを視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争、女性解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50401	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	浜崎 史菜	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	フーコーとフェミニズム：主体と権力					
授業の目標概要	本科目は、ミシェル・フーコーの基礎的な概念を説明した英文を読み、フーコーの理論を概観的に理解することを目標とする。また、フーコー理論を現代社会と結びつけクリティカルに応用するため、西洋の知の歴史とジェンダーとの関わりをフェミニスト哲学/フェミニスト理論と接続しながら考えたい。 テクストは主に Michel Foucault: Key Concepts, ed. by Dianna Taylor (London: Routledge, 2011)を用いる。 必要に応じて、The Routledge Companion to Feminist Philosophy からのテクストを参考に用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50402	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Discussing Contemporary Issues					
授業の目標概要	教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60134	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	中尾 まさみ	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目	英語圏の短編小説を読む					
授業の目標概要	英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60135	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目	帝国の歴史					
授業の目標概要	雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60136	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	浜崎 史菜	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		フーコーとフェミニズム：主体と権力 本科目は、ミシェル・フーコーの基礎的な概念を説明した英文を読み、フーコーの理論を概観的に理解することを目標とする。また、フーコー理論を現代社会と結びつけクリティカルに応用するため、西洋の知の歴史とジェンダーとの関わりをフェミニスト哲学/フェミニスト理論と接続しながら考えたい。 テクストは主に Michel Foucault: Key Concepts, ed. by Dianna Taylor (London: Routledge, 2011)を用いる。 必要に応じて、The Routledge Companion to Feminist Philosophy からのテクストを参考に用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60137	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		ブラック・フェミニズムを読む―パトリシア・ヒル・コリンズ アメリカの社会学者パトリシア・ヒル・コリンズは、代表作『黒人フェミニストの思想』を、自分自身と「社会のなかで尊厳を否定され、沈黙を強いられてきた」アフリカ系アメリカ人女性の「声」を取り戻すために執筆したと語った。本授業ではコリンズの作品を通して、ブラック・フェミニズムとはどのような思想なのか、インターセクショナリティとは何を意味するのかを考える。コリンズの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するインタビューやドキュメンタリーを視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争、女性解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60138	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Issues 教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60140	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60141	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60142	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	松本 和子	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れるとともに、ニュースでよく使われる表現や語彙を増やすことを目指す。					

英語中級（クラス指定ターム型）水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50517	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 ２	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50518	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 ２	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 19 世紀末に書かれた Conan Doyle の"The Adventures of Sherlock Holmes"からの作品を検討している。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50520	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	水 ２	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	オスカー・ワイルドを読む オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50521	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 ２	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50522	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	ロビンズ・ロジャー	英語	水 ２	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	English Reading Comprehension in Context This course is designed to help students improve their comprehension and critical understanding of the English language in its written form. Working individually and in groups, students will learn to decode, interpret, and contextualize literary English. Course materials will be selected primarily from the genres of journalism and literature. The course objectives are to (1) improve basic reading skills; (2) build vocabulary; (3) increase knowledge of English grammar, style, mechanics, and composition; and (4) enhance students' ability to contextualize, draw inference, and identify audience					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50523	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51457	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Higher Education Studies In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration. Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60143	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	英語で読む芸術理論 授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60144	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	ロビンズ・ロジャー	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	English Reading Comprehension in Context This course is designed to help students improve their comprehension and critical understanding of the English language in its written form. Working individually and in groups, students will learn to decode, interpret, and contextualize literary English. Course materials will be selected primarily from the genres of journalism and literature. The course objectives are to (1) improve basic reading skills; (2) build vocabulary; (3) increase knowledge of English grammar, style, mechanics, and composition; and (4) enhance students' ability to contextualize, draw inference, and identify audience					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60145	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60146	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		オスカー・ワイルドを読む オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60148	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 19 世紀末あるいは、20 世紀初頭に書かれた、奇妙な話および推理小説を検討している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60149	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60243	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Higher Education Studies In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration. Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50559	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術理論 授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		帝国の歴史 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 19 世紀末に書かれた Conan Doyle の"The Adventures of Sherlock Holmes"からの作品を検討している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		オスカー・ワイルドを読む オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	Ａ１	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50564	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51458	Ａ 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Higher Education Studies In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration. Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60184	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60185	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	後藤 春美	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	帝国の歴史 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60186	Ａ 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	優れた短編作品を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。 19 世紀末あるいは、20 世紀初頭に書かれた、奇妙な話および推理小説を検討している。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60187	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野瀬 宗一郎	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		オスカー・ワイルドを読む オスカー・ワイルドの作品を読みながら、英語の読解力の向上を図るとともに、文学作品を分析するための基礎的なスキルを身につけることをこの授業の目標とします。アイルランドに生まれ、19 世紀末のロンドンの社交界の寵児となりながら、同性愛の罪で投獄され失意のうちにフランスで亡くなったワイルド。小説・劇・詩を含む、様々なジャンルの作品を読みながら、政治・文学・美学・セクシュアリティに関するワイルドの思想に触れ、今なお我々を惹きつけるワイルドの魅力について履修者と一緒に考えてみたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60188	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60189	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60244	Ａ２	英語中級 （クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Higher Education Studies In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration. Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

英語中級（クラス指定セメスター型）月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50023	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50024	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and pop culture. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50025	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50026	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む 様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50027	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目
授業の目標概要

[M2] Social Inequality: Now and in the Future
This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in movies.
Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English.
The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.
The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:
Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity
etc.
Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50028	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目
授業の目標概要

シェイクスピアについての現代劇の台本を読む
アカデミー作品賞を受賞した映画『恋におちたシェイクスピア』(1998) の舞台化作品の台本を読む。シェイクスピアが『ロミオとジュリエット』を執筆する際には、ライバル作家マーロウの手助けと自らの恋愛体験がもとになっていたという想定で創作されたフィクションだが、エリザベス朝演劇をめぐる状況がよく描かれている。平易な現代英語の台詞に（翻訳でも読める）『ロミオとジュリエット』などの有名な台詞や恋愛詩ソネットの引用、もじり（ギャグ）が多く盛り込まれ、シェイクスピア作品への導入としても格好の素材といえる。舞台版では 18 世紀末フランス演劇の古典『シラノ・ド・ベルジュラック』の名場面への言及も加わっていっそう演劇の魅力が感じられる楽しい作品となっている。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50029	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目
授業の目標概要

国際政治学・国際関係論の理論を学ぶ
本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治理論に関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて本コースの受講者は、代表的な国際政治理論についての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題について、多角的な視点からアプローチできるようになる。また英語で記された国際問題についてのニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50030	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目
授業の目標概要

Introduction to American Gothic Fiction
This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50031	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目
古典古代の美のいしずえ—Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む

授業の目標概要
リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：起源、進化および用途』。
百二十年も前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいです。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、つまり、そこなのです。調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の美術書だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50098	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　TED Talks - Discussions and Presentations

授業の目標概要　The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50099	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　グローバル・イシューについて考える

授業の目標概要　本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収のグローバル・イシューを取り扱っている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、今日世界的に重要な問題として知られる様々なテーマ（具体的には、国際貿易・国際金融、大量破壊兵器、人権など）についての概要を把握したうえで、こうした諸問題の具体的な解決策を考察するための素養を身に付けることができる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50100	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50101	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目　古典古代の美のいしずえ―Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む

授業の目標概要　リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：起源、進化および用途』。
百二十年も前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいです。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、つまり、そこなのです。調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の美術書だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50102	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	元祖ミュージカルの台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、19 世紀末イギリスで流行した唯美主義を痛烈に皮肉った（女性にもてるのは詩人か軍人か？）『ペイシェンス』（Patience）を映像を鑑賞（各自視聴の場合あり）しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50103	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	[M3] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in movies. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50104	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and pop culture. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

英語中級（クラス指定セメスター型）月 4

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50154	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		国際政治の構造やプロセスの基本を学ぶ 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治をめぐる構造・プロセスに関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、安全保障をめぐる問題や国際法、国際機構、人種と国際政治との関係などについての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題を理解・考察するための素養が養われる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50155	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50156	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and pop culture. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50157	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	高橋 和子	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		TOEFL の後は、名作を英語で読もう 本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50158	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		実例で学ぶ，フレーズの連鎖としての英語 本講義では，英語母語話者が用いる英語は単語の連鎖としてではなく，もっと大きな単位（フレーズや構文など）の連鎖として捉えた方が妥当であるということを，小説やドラマ，学術文章などの実例の観察を通じて示します。 本講義の目標は以下の 2 点です。 ・英語の実例に触れたときに「どのようなフレーズが用いられているかな？」と問う習慣を身につけること。 ・その問いに答えるための発想法と調査方法を身につけること。				

英語中級（クラス指定セメスター型）火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50211	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目　Contemporary Society

授業の目標概要　This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand different styles of English. Discussion in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, social protests and immigration. Texts will include extracts from a contemporary British play, newspaper articles, political manifestos and extracts from academic texts.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小田 悠生	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目　グローバリゼーションの基本概念と諸相

授業の目標概要　この授業のテーマは、グローバリゼーションです。この言葉は 20 世紀初頭に最初に現れ、1990 年代以降に急速に広まったものです。グローバリゼーションとは、どのような現象を指すのでしょうか。それはいつ始まったと考えられるのでしょうか。それは単線的な変化なのでしょうか。その光と影は、私たちの生きる 21 世紀にどのような課題を投げかけるのでしょうか。こうした諸問題を、初学者向けのテキストを用いて考えていきましょう。
指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解する力を養い、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50213	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目　American Short Stories

授業の目標概要　Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world.
In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English.
As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis.
This course will be taught in Japanese.
Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you.
To the sophomore students and other Tsuika-Toroku students, you must contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	柳川 浩三	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目　Global Issues in Action: Tasks that Work

授業の目標概要　1. To better understand global issues and discuss them in English.
2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences.
To succeed in this course, you must get out of your chair and actively discuss global issues with partners, in small groups, and with the whole class. You will be asked to improvise, role play, hold debates, give presentations, and engage in other forms of structured discussion in English. The tasks in this course are designed to deepen your learning by nudging you out of your comfort zone.
When you complete this course, you will have gained knowledge about the world, practical skills in using the English language, and experience in speaking out. The global issues of focus (poverty, nuclear threats, environmental issues, violations of human rights, and inequality) are selected to broaden your perspective by drawing your attention to different parts of the world.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50215	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目	An Introduction to Cultural Geography					
授業の目標概要	This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..					

英語中級（クラス指定セメスター型）火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50436	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	牛村 圭	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50437	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	髙橋 和子	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 形式：Zoom によるオンライン授業。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。（注意：英語発音を十分習得済みの方は、本授業を必要としないと思われるので、履修をお控え願いたい。） 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（１）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（２）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（３）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（４）英語リスニング力を向上させる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50438	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	藤尾 美佐	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		世界でイニシアチブを取るための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションやパネル・ディスカッションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 (現在、隔週での対面を予定しているが、コロナ感染症の状況に応じて、変更の可能性あり)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50439	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50462	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　American Short Stories

授業の目標概要

Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English.

As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis.

This course will be taught in Japanese.

Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you.

To the sophomore students and other Tsuika Toroku students, you must contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50463	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要

プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。

英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。

授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。

英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50464	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目　未来学入門

授業の目標概要

ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。

この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された５つのエッセーを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲），“The Logic of Nature”（自然の論理）の５つのうち４つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また，やや古い著書ではあるが色褪せることもなく，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50465	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目		Contemporary Society				
授業の目標概要		This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand different styles of English. Discussion in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, social protests and immigration. Texts will include extracts from a contemporary British play, newspaper articles, political manifestos and extracts from academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50466	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目		Gender and youth cultures in Japan ジェンダーから見る日本の若者文化				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and pop culture. Students will also collect data online on a topic covered in class. このクラスでは、日本の若者文化について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際にオンラインでデータ収集をします。				

英語中級（クラス指定セメスター型）木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50714	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む 様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50715	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	グレノン イザベル	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		How to choose a career that is right for you? This semester, the course will feature a series of remotely invited speakers who will introduce themselves and talk about their respective career. The speakers will join the class by videoconference to discuss their experience working as different professionals in various fields of work. The presenters are coming from various parts of the world, but most of them are working in Japan or with a company connected to Japan. There will also be two special panel sessions, one focused on unusual career paths, the other on work-life balance. This is a unique chance for students to learn more about different professions in order to help them make an informed decision about their own career choice, or simply to learn more about different professions, while practicing their listening skills in English. The objective of this course is to expose students to English as a lingua franca, the common language that enables us to converse with people who come from different cultures and speak different languages. The course aims specifically to expose students to different English accents (including non-native accents), and to interact directly with the various speakers. By the end of this course, students should have improved their listening skills and be able to exchange ideas in English with peers and presenters.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50716	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中山 匡美	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界の出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁にでてくる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50717	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	戸谷 陽子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		アカデミックプレゼンテーション 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50718	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

英語中級（クラス指定セメスター型）木3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50785	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		'Language Myths' & 'Pygmalion' 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテクスト'Language Myths'を主教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲'Pygmalion'の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れ、文学的な作品にも触れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50786	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		現代アメリカ合衆国の短編小説を読む この授業では 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。今のところレイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）、アニー・プルー（Annie Proulx）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「大聖堂」、「鳩を育てた少女」、「ブロークバック・マウンテン」、「アメリカ人」）。舞台となる場所、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって大きく異なりますが、個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な現代文学の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてほしいと思います。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。グループでのディスカッションや発表を取り入れ、受講生の主体的な参加を求める授業となりますが、あくまでも語学の授業なので、しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば今まであまり小説を読んでこなかった人も含め、あらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 7〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材はすべて pdf ファイルで提供します。履修予定の方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習は必要ありません。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50787	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	グレノン イザベル	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		How to choose a career that is right for you? This semester, the course will feature a series of remotely invited speakers who will introduce themselves and talk about their respective career. The speakers will join the class by videoconference to discuss their experience working as different professionals in various fields of work. The presenters are coming from various parts of the world, but most of them are working in Japan or with a company connected to Japan. There will also be two special panel sessions, one focused on unusual career paths, the other on work-life balance. This is a unique chance for students to learn more about different professions in order to help them make an informed decision about their own career choice, or simply to learn more about different professions, while practicing their listening skills in English. The objective of this course is to expose students to English as a lingua franca, the common language that enables us to converse with people who come from different cultures and speak different languages. The course aims specifically to expose students to different English accents (including non-native accents), and to interact directly with the various speakers. By the end of this course, students should have improved their listening skills and be able to exchange ideas in English with peers and presenters.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50788	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	戸谷 陽子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		アカデミックプレゼンテーション 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50789	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―					
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50904	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	川﨑 修一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目　「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読む

授業の目標概要　本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。なお、使用する教材は、世界最高峰の英文法書 Quirk et al (1985) と Huddleston and Pullum (2002) を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50905	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目　Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要　The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and either preparing oral presentations and performing in front of the class or (in the event of the course having to be online) writing essays. In regard to content, the course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions.
For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s) or (in the event of the course having to be online) writing an essay based on the same.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50906	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	佐藤 洋一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目　Making bridge from comprehension to practice

授業の目標概要　In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.
In this course, students are expected to learn
1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening,
2. Business English skills for effective spoken and written communication,
3. Strategic competence necessary for global business.
By the end of this course, you will be able to:
-Comprehend basic vocabulary and expressions for business English
-Speak and write basic-level short sentences about business topics
-Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management
-Present your basic ideas about global business communication in English

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50907	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目
An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life

授業の目標概要
この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier（邦題は『ハーバードの人生を変える授業』）を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。ハーバードで最大の履修者がつめかけたという本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」（特に物語と要約の技法）の実践を試みます。

また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力（読んだ内容を英語で要約し、それに対する自分の感想を英語で述べる能力）に重点を置きます。

授業は教科書を軸にして進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。

授業の到達目標は、以下の通りです。

・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。
・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。
・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語ることができる。
・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50974	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要
The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and either preparing oral presentations and performing in front of the class or (in the event of the course having to be online) writing essays. In regard to content, the course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions.
For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s) or (in the event of the course having to be online) writing an essay based on the same.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50975	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田尻 芳樹	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　短編小説を読む

授業の目標概要
この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50976	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	太田 奈名子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、パワーポイントを用いた発表から出発して、Podcast や簡単な動画作り、アニメのアフレコなどを行う。プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
また、クラス専用の Instagram アカウントを作成し、授業日誌をつけることで、クラスではなく社会に向けた発信も行い、メディアリテラシーの総合的向上を目指す。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50977	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　現代アメリカ合衆国の短編小説を読む

授業の目標概要　この授業では 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。今のところレイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）、アニー・プルー（Annie Proulx）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「大聖堂」、「鳩を育てた少女」、「ブロークバック・マウンテン」、「アメリカ人」）。舞台となる場所、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって大きく異なりますが、個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な現代文学の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてほしいと思います。

多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。グループでのディスカッションや発表を取り入れ、受講生の主体的な参加を求める授業となりますが、あくまでも語学の授業なので、しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば今まであまり小説を読んでこなかった人も含め、あらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 7〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材はすべて pdf ファイルで提供します。履修予定の方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習は必要ありません。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50978	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　映画興行の歴史を読む

授業の目標概要　この授業では毎週、主に演習形式で課題文章の講読を行います。テキストとする文章は、草創期から 20 世紀を通して映像作品がどのようなかたちで上映され、鑑賞されてきたのか、という問いについて、その流れを辿った書物や論文からの抜粋を予定しています。さまざまな上映・興行の場や形態、観客の鑑賞行動様式の変遷をたどり、映画が社会の中で果たしてきた役割・意味について考察していきましょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50979	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目　未来学入門

授業の目標概要　ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。

この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された 5 つのエッセーを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲），“The Logic of Nature”（自然の論理）の 5 つのうち 4 つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また，やや古い著書ではあるが色褪せることもなく，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51034	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		映画興行の歴史を読む この授業では毎週、主に演習形式で課題文章の講読を行います。テキストとする文章は、草創期から 20 世紀を通して映像作品がどのようなかたちで上映され、鑑賞されてきたのか、という問いについて、その流れを辿った書物や論文からの抜粋を予定しています。さまざまな上映・興行の場や形態、観客の鑑賞行動様式の変遷をたどり、映画が社会の中で果たしてきた役割・意味について考察していきましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51035	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田尻 芳樹	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51036	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	太田 奈名子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、パワーポイントを用いた発表から出発して、Podcast や簡単な動画作り、アニメのアフレコなどを行う。プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 また、クラス専用の Instagram アカウントを作成し、授業日誌をつけることで、クラスではなく社会に向けた発信も行い、メディアリテラシーの総合的向上を目指す。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51037	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目
Exploring the Human Condition through Dialogs

授業の目標概要
The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and either preparing oral presentations and performing in front of the class or (in the event of the course having to be online) writing essays. In regard to content, the course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions.
For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s) or (in the event of the course having to be online) writing an essay based on the same.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51038	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目
現代アメリカ合衆国の短編小説を読む

授業の目標概要
この授業では 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。今のところレイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）、アニー・プルー（Annie Proulx）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「大聖堂」、「鳩を育てた少女」、「ブロークバック・マウンテン」、「アメリカ人」）。舞台となる場所、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって大きく異なりますが、個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な現代文学の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてほしいと思います。
多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。グループでのディスカッションや発表を取り入れ、受講生の主体的な参加を求める授業となりますが、あくまでも語学の授業なので、しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば今まであまり小説を読んでこなかった人も含め、あらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 7〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材はすべて pdf ファイルで提供します。履修予定の方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習は必要ありません。

英語中級・上級　全クラス型

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	英語中級	アンダル ジャクリーン	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand different styles of English. Discussion in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, social protests and immigration. Texts will include extracts from a contemporary British play, newspaper articles, political manifestos and extracts from academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50182	A	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50862	A	英語中級	矢島 宏紀	英語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英文リーディング演習―最近のアメリカ史研究を題材に 【概要】 本授業では、学術の世界で通用する英語の読解力と作文力の強化を目指します。扱う英文はアメリカ史に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など）、論文等を読みます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 英語の文章を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 アメリカの歴史や社会に関する知識と新しい見方を得てアメリカについての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50928	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51070	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	英語上級	Christopher D. Hammond	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a macro-level sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	英語上級	Christopher D. Hammond	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a macro-level sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51069	A	英語上級	Christopher D. Hammond	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a macro-level sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

総合科目Ｌ　ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。
成績評価方法	出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50264	火 2	石田 勇治	1 年 文科 (TLP)
50265	火 2	竹峰 義和	1 年 文科 (TLP)
50336	火 3	オプヒュルス 鹿島	1 年 文一二(22)
50596	水 3	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(21)
50601	水 3	デーゲン ラルフ	1 年 文三(16)
50733	木 2	ククリンスキ ルーベン	1 年 文三(15)
50831	木 4	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(20)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	ドイツ語初級（演習）	石田 勇治	ドイツ語	火 2	1 年 理科

講義題目 ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要
In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	ドイツ語初級（演習）	竹峰 義和	ドイツ語	火 2	1 年 理科

講義題目 ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要
In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	ドイツ語初級（演習）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	木 1	1 年 理科

講義題目 ドイツ語演習（準必修クラス指定科目）

授業の目標概要
発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。
In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50184	A	ドイツ語初級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Deutsch-Konversation für Anfänger*innen (Grundstufe)

授業の目標概要
Der Kurs richtet sich an Studierende mit leichten Vorkenntnissen (bis ein Jahr). Trainiert werden vor allem das aktive Sprechen und Reagieren im Gespräch; Ziel ist die Erweiterung des Wortschatzes und der Redemittel zur aktiven und spontanen Anwendung. Lehrmaterial und Themen orientieren sich am Niveau und Interesse der Teilnehmenden.
ドイツ語を少しだけ（最大 1 年間）学んだことがある受講者を想定している。授業の目標はドイツ語圏での日常生活の様々な状況に対応できる表現力を養うことにある。授業はペアーや少人数グループ練習などを通して実践的な口頭練習に重点をおく。教材と具体的な内容は、参加者のレベルと興味によって決定させる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50247	A	ドイツ語初級（作文）	久保 哲司	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（作文）				
授業の目標概要		ドイツ語の基本的な発音のしかたや文法事項を確認しながら、やさしい作文の練習をする。ドイツの大学に留学した日本人の生活を題材に、日常よく使う表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51071	A	ドイツ語初級（作文）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（作文）				
授業の目標概要		初級文法の知識を用いて、平易なドイツ語の文章を作る。到達目標は次の二つ。 1．必要な単語や熟語が与えられれば、確実に正しい文章を作ることができる。 2．日常会話レベルの内容ならば、（辞書を用いても）自力で、言いたいことを表現できる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	ドイツ語初級（表現練習）	オプヒュルス 鹿島	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語会話				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（書く、聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。夏学期を続ける。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Schreiben, Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln. Der Kurs baut auf dem Kurs im Frühjahrssemester auf.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		Ｓセメスターで学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する 2 コマ(月曜 5 限・木曜 5 限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースの時間を含めて履修することはできません。 30 名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。 なお、冬学期からの履修も可能です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50671	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、Ｓセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でＡ１レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、Ａ２レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テクスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴコース）					
授業の目標概要	Ｓセメスターで学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する 2 コマ(月曜５限・水曜５限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースの時間を含めて履修することはできません。 30 名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。 なお、冬学期からの履修も可能です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、Ｓセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でＡ１レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、Ａ２レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テクスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	ドイツ語初級（第三外国語）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		ドイツ語の初等文法を復習しながら、日常的な会話表現を習得します。 またドイツ語の文章を読めるようにするとともに、初歩的な表現力、運用力を身につけます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50248	A	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) Fortsetzungskurs / Continuation Course				
授業の目標概要		Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1.1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Festigung der bereits erlernten Grammatik sowie die Vermittlung von weiteren grundlegenden grammatischen Strukturen. Durch diverse Übungen sollen die vier sprachlichen Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt bzw. gefestigt werden. Der Kurs baut auf dem im Sommersemester (April – Juli) Gelernten auf, d.h. dass dieser im Wintersemester (Oktober – Januar) angebotene Kurs ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. Studenten, die nicht am Einführungskurs im Sommersemester teilgenommen haben, können ebenfalls an diesem Kurs teilnehmen, insofern ihre Kenntnisse in etwa auf dem oben angegebenen Niveau sind. This course is designated for students with a previous knowledge of German (roughly equal to Level A1.1 of the European Reference Framework). The course focuses on consolidating the students' German knowledge. Moreover, further essential German grammatical structures are taught. Through various exercises (listening, reading, writing, speaking), students train what they have previously learned as well as practice newly learned grammar. This course (October – January) continues where the one in the summer semester (April – July) left off. This means this course is meant to be a continuation course (level A1.1). Students who did not participate in the course offered in the summer semester can still take this class, if their knowledge of German is roughly equal to the level mentioned above.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51072	A	ドイツ語初級（第三外国語）	三宅 晶子	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		1 セメスターでマスターする基礎ドイツ語				
授業の目標概要		1 セメスターでドイツ語文法の全体を学習し、発音・文法・読解等ドイツ語の基礎を修得することを目標とする第 3 外国語の授業です。そのため、1 回の授業で教科書を 1 課ずつ進んでいくインテンシヴな授業を行います。授業は zoom で行い、各課の会話・テクストのヴィデオを視聴した後、ブレイクアウトでパートナー練習、画面共有・ホワイトボード等で練習問題等を行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50249	A	ドイツ語中級（演習）	田邉 恵子	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中級レベルのドイツ語テクスト（現代社会・文化）の精読				
授業の目標概要		＊中級レベルの文法事項が使われたテクストを丁寧に読み解くことによって、ドイツ語テクストの読解力を向上させる。 ＊テクスト読解によって、現代ドイツの社会・文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	ドイツ語中級（演習）	高橋 亮介	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		演習（文法・表現） 初級文法を履修済みの受講者を対象とした科目。初等学習の段階ではあまり詳しく取り上げられることがない項目を優先的に扱うことにより、既存のドイツ語知識の精緻化を目指す。また、さまざまな形式の演習を組み合わせることにより、総合的な運用能力の向上にも努める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	ドイツ語中級（会話）	デーゲン ラルフ	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Deutsch sprechen (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende, die ein Jahr oder mehr Deutsch gelernt haben. Der Fokus dieses Unterrichts liegt auf Aussprache, flüssigem Sprechen und Hörverstehen. Mit einfacher Grammatik und gebräuchlichen Redemitteln versuchen wir systematisch die Aussprache zu trainieren, flüssig sprechen zu üben und somit auch das Hörverstehen zu verbessern. ドイツ語を 1 年（以上）勉強した受講者を想定しています。 この授業では発音、会話の流暢さ、聞き取りに焦点を当てます。やや基礎的な文法や語彙でよく使えるフレーズや会話を身に着けながら、体系的に発音のいろいろな要素を意識させます。発音や流暢な話し方の練習をすることで聞き取りも上達させるのが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	ドイツ語中級（作文）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger*innen (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を 1 年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテクスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ)」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	ドイツ語上級（演習）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語上級（演習） 前期課程 TLP ドイツ語修了（B1–B2）相当のドイツ語力を出発点とし、上級（C1 レベル）にむけて必要な技能（読解・作文・聴き取り・発音）を総合的に身につける。ドイツ語で「日本について説明する」ことに慣れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	ドイツ語上級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Gesprächsübungen für Fortgeschrittene Der Kurs richtet sich an Studenten mit Vorkenntnissen (etwa B1+) und dient dazu, die Sprechfähigkeit auszubauen und das Hörverstehen zu trainieren. Die Teilnehmer sollen lernen, Gespräche über verschiedene Themen des alltäglichen und akademischen Lebens zu führen. Das Lehrmaterial wird abhängig vom Niveau und Interesse der Teilnehmer bestimmt. このコースは、予備知識のある方（B1+）を対象としており、スピーキングの能力の向上とリスニングと理解の強化を目的としています。参加者は、日常生活やアカデミックな生活におけるさまざまなトピックについて、会話をすることを学びます。教材は、参加者のレベルや興味に応じて決定されます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50931	A	ドイツ語上級（読解）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Sigmund Freud, Die Traumdeutung 講読 文法事項の復習確認等を行いながらドイツ語で書かれた思想的文献を読みます。フロイトの『夢解釈』は日本語の翻訳も何版も出されており、我々にもよく知られている著作です。せっかく大学に入ってドイツ語を学んだのですから、レベルの高い思想書の原典に触れて実力を試す、そして語学の読解力を身につけましょうう。翻訳で流し読みしてるだけでは伝わらないフロイトの精神分析のエッセンスを理解できるようになると思います。授業中にそれほど多くを読むことはできないとは思いますが、授業が終わる頃には独習で通読できる実力が付くと思います。				

総合科目　L　フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50140	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50267	火 2	寺田 寅彦	1 年 文科 (TLP)
50337	火 3	ビゼ	1 年 文一二(23)
50405	火 4	DE VOS PATRICK HENRI	1 年 文一二(24)
50524	水 2	アルベリック ドリブル	1 年 文一二(27)
50525	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(28)
50597	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
50627	水 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(20)
50998	金 3	ビゼ	1 年 文三(17)
50999	金 3	Steve Corbeil	1 年 文三(19)
51040	金 4	アガエス ジュリアン	1 年 文三(18)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	フランス語初級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	火 2	1 年 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語演習（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 理科
講義題目		フランス語初修				
授業の目標概要		一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Parlons français !				
授業の目標概要		会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	フランス語初級（作文）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語作文				
授業の目標概要		毎週の短い作文課題に取り組むことで初級文法を用いて作文の能力を高めることを目標とする。同時に綴り字法の能力を高めるためにディクテ（書き取り）を毎週行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50932	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（読解)				
授業の目標概要		受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。初歩的な時事フランス語講読を通して、語彙力、読解力を身につけ、また同時にフランスの文化と社会の理解も深めていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	フランス語初級 （インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50010	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50188	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50539	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（第三外国語）【特急】				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば平易な文章の意味が正しく理解できるようになる。フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく音読できるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	フランス語初級（第三外国語）	山田 広昭	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級				
授業の目標概要		フランス語の入門授業として、接続法まで含めたフランス語の文法の全体像を概説するとともに、練習問題等を通じて基礎的部分の定着をめざす。A セメスターでは、S セメスターの振り返りを簡単におこなったのち、教科書の第 7 課（複合過去）以降に進む。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	フランス語初級 （第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば平易な文章の意味が理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 ANL（神経言語学的アプローチ）に基づき、特定の身近な話題に関してフランス語で自然にコミュニケーションができるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語既習				
授業の目標概要		CECR A2-B1 Expression orale et expression écrite				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50068	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中級会話				
授業の目標概要		フランス文化のトピックに関する短い文章を出発点として、理解を深め、発展的な討議をする。 書き言葉の文章を読むことで、話し言葉の会話とは違うフランス語の構造に慣れるとともに、 発音や文法を再確認することを目指しており				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51058	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Quelle est l'origine de nos objets quotidiens? Comment raconter leur histoire?				
授業の目標概要		L'objectif de ce cours est de lire quelques articles du livre de Pierre Singaravélou et Sylvain Venayre, "Le Magasin du monde", qui traite de la "mondialisation par les objets du 18e siècle à nos jours", et d'en tirer la matière de discussion et d'exposés oraux. Le livre a d'ailleurs donné lieu à une émission sur France Culture, support audio que nous aurons également l'occasion d'exploiter.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50648	A	フランス語中級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Quelle est l'origine de nos objets quotidiens? Comment raconter leur histoire?				
授業の目標概要		L'objectif de ce cours est de lire quelques articles du livre de Pierre Singaravélou et Sylvain Venayre, "Le Magasin du monde", qui traite de la "mondialisation par les objets du 18e siècle à nos jours", et d'en tirer la matière de discussion et de textes écrits. Le livre a d'ailleurs donné lieu à une émission sur France Culture, support audio que nous aurons également l'occasion d'exploiter.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51025	A	フランス語中級（表現練習）	マルティネル ルイ	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		“Apprendre le français par le cinéma, la littérature francophones” 映画とフランス語圏文学で学ぶ仏語 Ce cours vous propose d’apprendre le français par le cinéma francophone. Au programme, films et documentaires francophones. En fonction du programme, de votre choix du temps, de votre progression. (choix varié selon zone étudiée (Europe, Afrique, Asie, Amérique) Ce n’est pas “une séance cinéma”. Après chaque film (1~3 / semestre), il faut réaliser des travaux. (présentation écrite/orale, fiche, résumé, analyse, présentation personnage, thème social/culturel) sur des modèles donnés. Avec le professeur en activité-classe, il faut travailler sur des documents pédagogiques (fiche de vocabulaire, de grammaire, d’expressions orales (extraits de films), écrites (répliques, chansons à lire, mémoriser, jouer). フランス語圏の映画を教材にしてフランス語を学ぶ 授業では仏語の映画やドキュメンタリーを見ます。皆さんの理解具合にあわせて進めます。授業は映画鑑賞会ではないので、見た後に（学期に１本か２本）筆記や口頭で発表をしていただきます（テクニカルな特徴、要約、分析、人物紹介、国の紹介、社会や文化の紹介など)。単語、文法、口頭表現（映画から）や、筆記表現（表現、歌などを読み覚えて使ってみる）をそれぞれ学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読 Zoom で実施する。 フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治･経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。また、どの記事を選ぶかは、原則として受講者の自主性に委ねるので、自らの学力・関心に合わせて記事を選んでもらって構わない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50849	A	フランス語中級（読解）	増田 一夫	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランスの文化と社会へ ひととおりフランス語文法を履修した学生が、無理なく読めるテクスト『時事フランス語 2021 年度版』 を講読します。『時事フランス語』は、フランス人の名前と姓、気候変動、ヴィーガン運動、政治文化、人物（大統領、パリ市長、プルースト、ケンゾー)、コロナウイルス、食品、芸術、フランコフォニー（広域フランス語圏）など、20 の項目を集成しています。 ZOOM による遠隔方式で授業をおこないます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50223	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus) Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés (cinéma, musique, société, etc.). Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. Nous ferons aussi des jeux pour pratiquer le français.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50540	A	フランス語上級（読解）	藤岡 俊博	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語で読む哲学・思想 哲学・思想分野の文献を正確に読みこなすためのフランス語の読解能力を身につける。				

総合科目　L　中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

成績評価方法　現時点では学期末試験を行う予定だが、詳細は未定である。状況に応じては別の方法をとることもある。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本 聴解・会話演習テキスト
著者(訳者)　毛 興華

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50044	月 2	林 立梅	1 年 文一二(16)
50138	月 4	WANG QIN	1 年 文一二(13)
50142	月 4	毛 興華	1 年 文三(11)
50334	火 3	喬 志航	1 年 文一二(19)
50623	水 4	中原 裕貴	1 年 文一二(15)
50730	木 2	李 彦銘	1 年 文一二(17)
50732	木 2	鄧 芳	1 年 文三(12)
50835	木 4	柴 森	1 年 文三(13)
50903	金 1	斉 金英	1 年 文一二(18)
50984	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(14)
50997	金 3	李 雲	1 年 文三(14)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50224	A	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	1 年 理科
講義題目		理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		中国語の初級作文は中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語の作文する力を身につけ、自分のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成することを目的としています。 中国語の文法事項や重要な構文を詳しく説明し、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身につけていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	中国語初級（表現練習）	菊池 真純	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級会話演習				
授業の目標概要		一列、二列で学習した発音と文法事項を踏まえた上で、さらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。作文の練習もする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	中国語初級（表現練習）	李 彦銘	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）				
授業の目標概要		この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50190	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Ｓセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、このシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50225	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル･プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50699	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Ｓセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、このシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Ｓセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ ☆抽選を行う場合は、このシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50919	A	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	金 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50934	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Ｓセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ ☆抽選を行う場合は、このシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門（A セメスターから始める中国語） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は A セメスターより中国語学習を始めたい学生のためのクラスである。S セメスターに履修した学生は木 5 の毛興華教員の授業を履修すること。 授業の性質上 30 名を定員とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門（S セメスターの続き） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は S セメスターの続きを行う。 授業の性質上 30 名を定員とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50935	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはI、A セメスターはその続きのIIである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50069	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語作文と和訳 中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる（or 本物の力は∞であることを淡々と実証）。「和訳」である以上、みなさまにプロの精錬された日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を、しっかりと身に付けさせる。Zoom のチャット機能をフルに活用（向こうの言葉の入力など）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50615	A	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		快乐学汉语，说汉语 通过该课的学习，达到在听，说，读，写，译诸方面得到提高。 特别是听和说要有一个的大的突破。 每次要汇报一个星期一来自己的活动，每堂课学过的汉语要当堂记住并能复述。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50871	A	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コミュニケーション能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	中国語中級（会話）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		読む話す中国語 中国の超短編小説を読むことによって、下記のことができるようになることを目指す。 1.口語的な表現にも文語的な表現にもたくさん触れて、自分でも使えるようになる。 2.内容を理解した上で、中国語で感想などをディスカッションし、発表できる。 3.現代中国に暮らす人々の生活や文化を知り、その背後にある価値観や考え方に対する理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50812	A	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		やや高度の中級作文練習 基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。 自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51026	A	中国語中級（読解）	賈 黎黎	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級（読解） この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースに、さらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々な文体の文章を読むことを通して、それぞれの文体の特徴を知り、次の段階へステップアップさせたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語映像翻訳演習				
授業の目標概要		本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。（G８－１０） ＊ 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50168	A	中国語上級（会話）	賈 黎黎	中国語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語上級（会話）				
授業の目標概要		中国語の実際の運用能力の向上を目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	中国語上級（作文）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語上級作文				
授業の目標概要		読解力、応用力を磨きながら、中国語で自分の「考え」を書くことができるようになることを目標とする。 現代中国の世相を反映する中国語の短編小説の読解を通して、中国語の表現力が自然と身につくことを図る。そのうえで、授業中の発表やディスカッションを通して整理した「考え」を授業後に作文にする。次の授業中に課題作文を取り上げて添削と解説をする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	中国語上級（読解）	張 政遠	中国語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		張愛玲『傾城の恋／封鎖』を読む。				
授業の目標概要		張愛玲『傾城の恋／封鎖』を読む。				

総合科目　L　ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。
成績評価方法　平常点など。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50828	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50832	木 4	Gutova Ekaterina	1 年 文三(4)
50921	金 1	Grecko Valerij	1 年 文科 (TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50920	A	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎（TLP） 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50938	A	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	ロシア語初級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50616	A	ロシア語初級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（作文） 和文露訳、ロシア語作文を通じて既習文法事項・語彙の定着と運用能力向上を目指します。平易なロシア語を用いて必要な内容を表現できるようになるのが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50191	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語の読解力を強化します。 ※インテンシヴ・クラスは週 2 回のセットで履修することが必要です。かならず水曜 5 限のペアの授業といっしょに履修すること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。 2 コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	Grecko Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目		現代ロシア語の基礎				
授業の目標概要		基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週 2 コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜 5 限の授業と両方を履修してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50878	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級（インテンシヴ）TLP				
授業の目標概要		TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。 2 コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	ロシア語初級（第三外国語）	細川 瑠璃	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級				
授業の目標概要		S セメスターの続きです。この授業を最後まで受講すると、ロシア語の文法を一通り学ぶことができます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50169	A	ロシア語中級（演習）	奈倉 有里	ロシア語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（演習）				
授業の目標概要		これまでに習った文法の知識を生かし、中級レベルの授業を行うなかで、使える語彙や慣用表現を増やしていきます。 文学作品を中心に様々な状況に合ったロシア語を知り、知識の向上を狙います。 必要に応じてその背景となる文化的知識についても解説します。 文化・文学的背景も踏まえた幅広い表現の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50649	A	ロシア語中級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語会話表現（中級）				
授業の目標概要		ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	ロシア語中級（作文）	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（作文）				
授業の目標概要		教科書のテキストから始め、新聞やインターネット上の記事などを読み、文章の特徴を考察する。読む力を高めると同時に、ロシア語で作文を書く方法を覚える。語彙や表現を増やし、文法事項を復習し、語結合力や文の構成を確認し、作文を書く能力の向上を目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50541	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		D. S. リハチョフ『ロシア的なものに関する覚書』講読				
授業の目標概要		学術論文、随筆など様々な文体のロシア語に対応する読解力を養うことを目標とする。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテクストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を正確に読むための基礎力を身につけることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50761	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51027	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	渡邊 日日	ロシア語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		ロシア語を勉強しはじめて 1 年半経過した学生で，ロシア語力をさらに向上させようと考えている人を対象に，読解力を養う演習を行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50357	A	ロシア語上級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語会話表現（応用）				
授業の目標概要		ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業ではロシア語で書かれた新聞・雑誌の記事や文学テクストを読み。その内容についてディスカッションする。よく使われる熟語等の表現を習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50813	A	ロシア語上級（作文）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語作文の書き方・実力アップコース（Advanced Level）				
授業の目標概要		この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。文法に関しては、不完了体・完了体や複文、形動詞の使用などに焦点を当てます。コースの最後に筆記試験が行われます。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生だけです。				

総合科目　L　スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

成績評価方法　各担当教員に任せられている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語初級
著者(訳者)　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50136	月 4	イサベル カルロス	1 年 文一二(7)
50141	月 4	松田 葉月	1 年 文三(10)
50195	月 5	松田 葉月	1 年 文科 (TLP)
50315	火 3	イサベル カルロス	1 年 文一二(10)
50316	火 3	松田 葉月	1 年 文一二(11)
50317	火 3	AIT MORENO ISAAC	1 年 文一二(12)
50403	火 4	AIT MORENO ISAAC	1 年 文一二(9)
50500	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
50833	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
50834	木 4	イサベル カルロス	1 年 文三(9)
51039	金 4	松田 葉月	1 年 文三(7)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	スペイン語初級（演習）	AIT MORENO ISAAC	スペイン語	火 2	1 年 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		共通教科書『Brújula』を用い、A セメスターでは、1 列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。 COVID-19 のため授業は全てオンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	1 年 理科
講義題目		Grammatical contents and vocabulary				
授業の目標概要		In this course students will continue the study of Spanish grammar at an intermediate level. They will learn the past, future and conditional tenses, which will broaden their ability to relate events and communicate effectively. We will also introduce the Subjunctive Mood, needed to be able to express opinions and value judgments, to make conditional sentences, etcetera.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50700	A	スペイン語初級（会話）	宮地 隆廣	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Zoom を用いたメキシコの大学生との会話				
授業の目標概要		Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語（初級会話）				
授業の目標概要		新型コロナ・ウィルス禍により、S セメスターの授業形態は大幅な変更を余儀なくされました。最初の 1 週目と 2 週目は遠隔（オンライン）授業の準備期間となっています。受講環境が整った方は、是非このシラバスの一番したにある URL にアクセスして、授業に参加し、3 週目からの正式の授業開始に備えて、Zoom の使い方に慣れたり、クラスメートや教員と交流するようにしてください。S セメスターは、当面、以下のように授業をおこないます。 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。				
授業の目標概要		スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級（作文）				
授業の目標概要		本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週２回の授業に出席することを義務とする。２つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1年 文科 理科
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50873	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週２回の授業に出席することを義務とする。２つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50879	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語（初級）（第三外国語）				
授業の目標概要		スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。 空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。 受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	スペイン語初級（第三外国語）	川崎 義史	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		速習スペイン語				
授業の目標概要		１セメスターで，スペイン語文法の基礎を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51059	A	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Habla en español				
授業の目標概要		この教科の目的は、学生が B1 レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。 El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias del nivel B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51060	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション					
授業の目標概要	様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法)、 メトニミー（換喩)、メタファー （比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	スペイン語中級（作文）	石橋 純	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語中級（作文）					
授業の目標概要	スペイン語文法の基礎知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、表現力の向上をめざす。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それらのニュアンスの違いや初学者が間違いやすい問題個所などを解説することによって、スペイン語の知識をより確実なものにする。毎回の授業の前半では短めの例文を数多く取り上げ、授業の後半ではある程度まとまりのある文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い文章課題を提出してもらう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50850	A	スペイン語中級（読解）	棚瀬 あずさ	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ロベルト・ボラーニョを読む					
授業の目標概要	南米チリ出身の小説家・詩人ロベルト・ボラーニョの中篇小説 Estrella distante （1996 年、邦題『はるかな星』）を原文で読みながら、スペイン語の文学テクストを読解する基本的な力を養うことを目標とします。 1953 年生まれのボラーニョは、20 世紀末から今世紀初頭のラテンアメリカ文学を代表する作家であり、2003 年に 50 歳で亡くなってからも、スペイン語圏内外で高い評価を受けています。 この授業で扱う小説『はるかな星』は、『2666』『野生の探偵たち』といった長大な作品が目立つボラーニョの小説のなかでは比較的短いものながら、ボラーニョらしい語り方をふんだんに含み、1973 年のチリ・クーデターといった社会的背景も織り込まれています。スペイン語読解力の向上をめざすとともに、作品の内容や文体も楽しんでもらえればと思います。受講者のスペイン語学習状況に応じた文法の解説も適宜行ないますので、未習事項のある人も歓迎です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50874	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。					
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50542	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

Español Avanzado. Gramática y vocabulario.
Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español. Los objetivos son:
- En caso necesario, repasar contenidos propios de los cursos de niveles inferiores que suelen provocar más dudas, tales como los contrastes de los tiempos pasados o los usos básicos del modo subjuntivo .
- Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente.
- Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español.
- Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios estructurales, redacciones y ejercicios de práctica oral.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50814	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目

América Latina y la literatura. Principales tendencias de la narrativa (II).
Latin America and literature. Main tendencies of the narrative (II).

授業の目標概要

In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish.
En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50762	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

スペイン語による作文の授業
Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1.
新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。
授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。

総合科目 L　韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50226	A	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50227	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）② TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50556	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初修（文系） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50543	A	韓国朝鮮語初級（会話）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（会話） 韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話で練習する。 ハングルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。 韓国朝鮮語の基礎会話力を身につけることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50918	A	韓国朝鮮語初級（作文）	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（作文） 本授業は、韓国朝鮮語の初級過程を終えている（推奨）受講者を対象に、初級レベルを復習しながら、書く練習を重ねると同時に、表現力の向上を目指す。 ①自然な韓国語の文章に触れる。 ②自分の考えを文章にできる。 ③書き言葉に慣れるために「한다体」を練習する（TOPIKIIの作文試験に対応）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） 本授業は、必修授業（一列・二列）に加えて韓国朝鮮語をより実践的に学びたい学生を対象としている。 初修韓国朝鮮語の学習内容に合わせ、Listening、Speaking、Reading、Writing の 4 技能を強化する活動を行い、初級レベルの実践的な運用能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50481	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語を集中的に学習した人を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50854	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列 TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50070	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（入門） 文字をちゃんと読める!楽しく学習する!そして書ける!何よりも外国語が話せる喜びを感じさせる、そして韓国について興味を持てるようにするということを目指す。 入門過程（文字・発音）を中心に基礎的な文法や表現を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」 という四つの力をバランスよく身につけることを目標とする。 ① ハングル文字を正確に読める。 ② あいさつ、自己紹介、数学など、簡単な表現を用いて話したり、書いたりできる。 ③ 「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国語初級 S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を確実に身につけることを目標とします。 履修にあたっては、必ず「履修上の注意」欄を参照してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50419	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は、ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50763	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級の文法と会話 現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の 1 ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50875	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文演習(中級) 日常生活で必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50764	A	韓国朝鮮語中級 （表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（表現演習） 韓国朝鮮語読解、口頭発表能力の涵養				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50851	A	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の文章の講読 韓国朝鮮語の新聞や雑誌、ウェブサイト、書籍の時事的な記事、論説、エッセイ、短編小説など様々な種類の文章を講読する。各文章の解説を通じて、中級以上の文法事項および韓国朝鮮語の独特の語彙や表現などを理解する。また多様な文章の講読を通じて、現代の韓国社会や文化についても理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	韓国朝鮮語上級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語上級（会話） より高度な会話力とコミュニケーションスキルを身に付けることを目標としている。様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。韓国の文化や時事的なことやある話題について自分の意見をまとめて話せるように練習を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	A	韓国朝鮮語上級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語の作文練習（上級）				
授業の目標概要		専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは教員による添削と誤用の分析・解説も行う。				

総合科目　L　イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50047	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
50980	金 3	DANIELI Daniela	1 年 文一二(6) 偶
50981	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6) 奇

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	1 年 理科
講義題目		イタリア語初級（演習）／ Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50650	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50668	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50876	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	イタリア語初級（表現練習）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（表現練習）／ Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		この講義は今期から 105 分です。 Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1).初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50852	A	イタリア語初級（読解）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（読解）				
授業の目標概要		イタリア語読解の力を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	イタリア語初級 （インテンシヴ）	宮坂 真紀	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目		初級イタリア語の応用				
授業の目標概要		基礎科目の初修外国語でイタリア語初級クラスを受講する学生を対象にイタリア語能力を向上させるための初級コース。読解・文法・作文に取り組む授業 1 コマと、ネイティブ教員の指導のもと会話や聞き取りを中心とする授業 1 コマのあわせて 2 コマを履修することにより、イタリア語の応用力を集中的に身につけることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50853	A	イタリア語初級 （インテンシヴ）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50071	A	イタリア語初級 （第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51076	A	イタリア語初級 （第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		初修イタリア語				
授業の目標概要		イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A セメスターでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50544	A	イタリア語中級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級（作文）／ Italian Language (Intermediate)				
授業の目標概要		初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解、作文を中心にイタリア語の運用能力を高めるコースです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50651	A	イタリア語中級（読解）	宮坂 真紀	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級（読解）				
授業の目標概要		イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。さまざまな分野のイタリア語の文章を読みながら、イタリア語の読解力の向上とイタリアの歴史・文化・社会についての理解を深めることを目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50129	A	イタリア語中級 （インテンシヴ）	山﨑 彩	仏語・伊語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中級イタリア語の応用				
授業の目標概要		初修クラス受講者がイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力を高める授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマがあり、できればその両方を履修することが望ましい。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	イタリア語中級 （インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級（インテンシヴ）／ Italian Language (Intermediate)				
授業の目標概要		初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修する。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50877	A	イタリア語中級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）				
授業の目標概要		このコースは、1 年目のイタリア語学習に基づいて、学生のイタリア語の一般的な能力を強化し、さまざまな状況でイタリア語を使用する能力を開発することを目的としています。 ネイティブスピーカーの教員のもとで、自然な発音、会話、ライティング、ボキャブラリーを身につけることができます。イタリアの文化をテーマに、受講生の希望も考慮しながら進めていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50669	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級（会話）／ Italian Language (Advanced)				
授業の目標概要		Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）				
授業の目標概要		L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50670	A	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級講読				
授業の目標概要		テクストの精読により基礎文法の知識をいかに運用して行くかをトレーニングする。				

総合科目 L　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50072	A	アラビア語初級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級文法 S セメスターの続きで、文語文法の後半を解説します。A セメスターの学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50652	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級 1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50421	A	アラビア語初級（会話）	高橋 英海	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） このコースは、東京のアラブイスラーム学院（AIIT）により提供されます。このコースの目的はアラビア語の基礎理解ですが、特に基本的なアラビア語表現を正しく用いた日常会話スキルの獲得に重点が置かれます。また、アラビア語のライティングと文法の基礎を身につけると共に、アラビア語を通してアラブ文化理解を深めます。授業は原則、佐藤裕一講師によって日本語で説明されますが、随時、ネイティブ講師による会話の実践練習も取り入れます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50617	A	アラビア語中級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級（第三外国語） 母音符号のないアラビア語を辞書を引きながら読めるようになることを目指します。 ニュース記事や、アラブ圏の教科書（小学 6 年〜中学 3 年くらいまで）、比較的平易な短編小説などを扱う予定です。 最初の数回のみ母音符号付きのアラビア語を扱いますが、基本的には母音符号の付いていない読み物を講読します。 原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく既習文法や語彙を確認しながら進めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50765	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、指定教科書の夏学期の残り部分 9 課から 18 課までを終えることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50815	A	ヒンディー語中級 （第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本 研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course					
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50816	A	インドネシア語初級 （第三外国語）	高地 薫	アジア・日本 研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners)					
授業の目標概要	インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50855	A	インドネシア語中級 （第三外国語）	高地 薫	アジア・日本 研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)					
授業の目標概要	この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	ベトナム語初級 （第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本 研究コース	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ベトナム語入門 2					
授業の目標概要	S セメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51061	A	ベトナム語中級 （第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本 研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ベトナム語文献講読					
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	広東語初級（第三外国語）	吉川 雅之	中国語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語中級 広東語は香港と澳門（マカオ）で公用語である他、中国本土では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。漢語派諸言語の中では民族共通語である普通話（いわゆる中国語）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 広東語は、上海語や福建語・台湾語と同様に、中国語（普通話）との間にはゆうに言語同士に匹敵する差異を有しています。そのため、中国語とは別に一から学習する必要があります。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について、中級レベルの養成を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50170	A	ヘブライ語初級 （第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	上海語初級（第三外国語）	李 雲	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		上海語初級 上海語の発音の仕方、ローマ字表記法について学び、繰り返し練習することで、発音を習得する。上海語の語彙、特に中国語の標準語と違うものの意味と用法を学習する。また上海語の文法や表現を学び、日常的なコミュニケーションができるよう「聞く」、「話す」能力を養成することを目指す。 基本的に上海語ネイティブの受講は認めない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50228	A	ペルシア語初級 （第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ペルシア語初級 動詞時制の学習を中心とした文法の練習を行いつつ、会話と読解を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語(初級) セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	ポーランド語初級（第三外国語）	久山 宏一	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポーランド語初級				
授業の目標概要		ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51442	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		タイ語				
授業の目標概要		S セメスターからの継続。原則として、S セメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている場合は、A セメスターのみの履修も認めます。今年度ではなく、昨年度以前の S セメスターにタイ語を履修した人たちの履修も歓迎します。A セメスターの前半は、テキスト第 14 課以降を 2 週間に 3 課のペースで扱います。A セメスター後半は、オンライン辞書を使ってタイ語の長文読解にも挑戦してもらいます。辞書を引けば、タイ語で書かれたニュース記事などを理解できるようになるのが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50880	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50856	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		台湾語初級 B				
授業の目標概要		「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	モンゴル語					
授業の目標概要	本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 会話では、適切な質問文をつくり、5 分程度の会話を成立させること また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50358	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代トルコ語初級文法入門 2					
授業の目標概要	現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。 A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	トルコ語中級文献講読 2					
授業の目標概要	文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A 1	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（1）ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays					
授業の目標概要	This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinking reflectively and self-regulated learning. Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following: 1）read a Japanese short story critically 2) make an outline of an academic essay 3) write an academic essay in appropriate structure, format and style 4) cite other studies within reports/papers 5) reflect on their own learning process and assess the progress.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60001	A 2	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（2）ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review					
授業の目標概要	This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching. Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following: 1) read short stories 2) write an academic essay in appropriate structure, format and style 3) cite other studies within reports/papers 4) reflect on their own learning process and assess the progress.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50196	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60008	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50229	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	読解を通じ，日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history					
授業の目標概要	※この授業は留学生向けの授業です。4 月入学の日本人学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60009	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　読解を通じ，日本の歴史を考える
Advanced readings in Japanese history

授業の目標概要
※この授業は留学生向けの授業です。4 月入学の日本人学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。
この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A 1	日本語上級	田中 祐輔	日本語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミックライティング（５）–表現学習のためのツール–／Academic Writing (5): Tools and Resources for Learning and Polishing Expressions

授業の目標概要
『アカデミックライティング（５）–表現学習のためのツール–』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、語彙や文法、表現法に着目した内容を扱います。
授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。
次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。アカデミックライティング力育成に不可欠な語彙や文法、表現に関する幅広い項目を扱います。
そして、各回、短い文章を読み、留学生自らが生まれ育った国・地域の文化や社会との比較も通して考察や議論を行いながら、授業で学んだアカデミックライティング技術を使ったライティングアクティビティに取り組みます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60016	A 2	日本語上級	田中 祐輔	日本語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミックライティング（６）–ツールを用いた構成と形式の実践–／Academic Writing (6): Tools and Resources for Text Organization and Format

授業の目標概要
『アカデミックライティング（６）–ツールを用いた構成と形式の実践–』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。
授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。
次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。学術的文章の執筆に不可欠な形式や構成手法に関する幅広い項目を扱います。
そして、各回、授業で学んだ学術的文章の執筆手法を用いるライティングアクティビティに取り組みます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要
授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。
１）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
２）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
３）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
４）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
５）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60083	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	近代日本の童話を読む Advanced readings in Japanese literature (7): Children's literature					
授業の目標概要	授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテクストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50881	A 1	日本語上級	中野 てい子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	理系のアカデミック・ライティング 1 （準備編）Academic Writing for Science 1					
授業の目標概要	他人に読んでもらう文章を書くときは、間違いなく相手に通じるように表現する必要があります。また、文章全体が論理的な順序にしたがって組み立てられていなければなりません。 この授業では、理科系の仕事の文書を書くときの心得を学び、目的に合った適切な表現が使えるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60090	A 2	日本語上級	中野 てい子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	理系のアカデミック・ライティング 2 （実践編）Academic Writing for Science 2					
授業の目標概要	他人に読んでもらう文章を書くときは、間違いなく相手に通じるように表現する必要があります。また、文章全体が論理的な順序にしたがって組み立てられていなければなりません。 この授業では、レポートを作成する過程で論理的文章構成法を実践し、表現内容にふさわしい論理形式が使えるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50705	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）					
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	古典語初級（ギリシア語）II	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（後半）					
授業の目標概要	※当授業は S セメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．当授業の第 1 回で扱う内容は以下の「授業計画」と「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと． 1, 目標 初級文法を 1 年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし，難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする． 古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担があると一般に思われており，そのために学修をためらったり，途中であきらめてしまう場合も少なくない．そのようにならないよう，自宅学習の時間が 4 時間程度に収まるようにできるだけ調整する． 2, 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう．古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり，西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば，必然的に古代ギリシア文明に触れることになる．古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが，これを学ぶと，古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ，それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる． ギリシア語の文献は紀元前 15 世紀頃の線文字 B 粘土板にさかのぼる．使用地域はやがて東地中海地域から地中海地域全体へ，一時はさらにインド方面にまで広がった．古典ギリシア語とは，紀元前 5–4 世紀にアテーナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う．これを学べば，ホメーロス（紀元前 8 世紀頃）から中世ギリシア語に至るまでの各時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に習得できる．文献の豊富さゆえにラテン語，サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50766	A	古典語中級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50423	A	古典語初級（ラテン語）I	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語初級（1）−名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に					
授業の目標概要	ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50014	A	古典語初級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語初級					
授業の目標概要	辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50073	A	古典語中級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ラテン語散文講読				
授業の目標概要		ローマ共和政末期の歴史家サルスティウスの散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業ではサルスティウスの『カティリーナの陰謀』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、ヨーロッパの歴史を通じて読み継がれてきた名文を味わってほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50230	A	古典語初級（サンスクリット語）II	加藤 隆宏	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		サンスクリット初級文法 (II)				
授業の目標概要		古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。				

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50674	A	言語比較論	森 芳樹	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	意味論に基づく言語の比較対照と普遍性 この講義では、主にヨーロッパの諸言語を扱いながら、様々な言語現象について各言語でどのように表現されるかという観点から、「言語」とはなにかということと個別言語の特性とはなにかということの双方について考察を進める。日本語との対照も課題の一つである。 今年度は意味論を基盤として、言語の対照比較を考えていきたい。したがって、問題になるのは（それへの言及はあるが）歴史的な比較言語学ではなく、言語の理論とその基盤かつ応用としての個別言語学の「せめぎ合い」である。また言語普遍性と言語相対論の論争も中心課題ではない。それより、個々の意味論上の現象を扱いながら、言語の対照比較について議論する予定である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	翻訳論	武田 将明	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	翻訳とは何か――『ガリヴァー旅行記』を読みながら 翻訳の授業と聞いて、どのような内容を思い浮かべるだろうか。課題となる作品や論文を実際に訳し、訳文の是非を検討する、というのが一般的なイメージかもしれない。この授業では、こうした実践的な内容も取り入れながら、同時に「翻訳とは何か」という根本的な問題も考えたい。 翻訳論の歴史は古いが、近年、国民文学から世界文学へと研究の重心が移りゆくのに伴い、翻訳研究への関心も大いに高まっている。ある文学作品や哲学書を、異なる言語に翻訳することで失われてしまうものはないか。逆に、新たに開かれる可能性はないか。また、同じ言語での翻訳においても、翻訳者の果たす役割はどのようなものか。翻訳と創作との境界線はどの程度厳密に引かれるべきなのか。あるいは、そもそも境界線など存在しないのか。 こうした問題を考えながら、改めて翻訳されたテキストを読むと、「正しい翻訳」や「名訳」と呼ばれるものの条件について、新たな知見を得られるはずである。 率直にいって、1 学期の授業で翻訳の達人になるのは難しいし、仮に上達しても、将来翻訳家として生活できるかどうかは分からない。しかし、たとえ短い期間でも、翻訳について真面目に考えながら実際に訳してみることで、表面的な「異文化交流」では味わえない、人が言葉を使ってものを考え、他者に伝えるという社会の本質に関わる認識を更新できるはずである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50675	A	言語態理論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』　フローベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』　ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（9 月 30 日）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第 2 回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第 2 回の授業に突然来ても参加は認められない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51427	A 1	言語文化論	渡邉 明	文学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	構造と意味					
授業の目標概要	日英語の比較を中心として、言語間の違いと自然言語にみられる普遍的性格の両方を無理なく捉える研究プログラムについて論じる。構造というと大きなものを想像しがちだが、微細な構造というものも存在する。この授業では、類似した言語表現の差異を捉えるための微細な構成要素（素性）の理論を紹介する。人称や数について通常考えられている概念が、より基本的なもの（すなわち素性）の組合せによって定義されることを論じる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51081	A	現代哲学	高村 夏輝	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代の心の哲学について					
授業の目標概要	科学の進歩に伴い、唯物論的世界観が多くの人に受け入れられるようになった。しかし、それでも心に関して私たちが持っている様々な直観は、いまでも唯物論的世界観にうまく収まらない。この問題にどう取り組み、どう解決すればよいのか。20 世紀前半から現在までの主な哲学的議論を通覧し、その取り組みの妥当性を検討していく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51123	A	科学哲学	工藤 怜之	哲学・科学史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	科学哲学入門					
授業の目標概要	いわゆる「英米系／分析系」の科学哲学の入門講義を行う。特に、科学は我々に知識を与えてくれるのか（それはいかなる意味においてか）という問題意識を動機の中心に据えて、科学哲学分野における基本的な概念や論点を学んでいく。 科学哲学の基本的な概念および論点を理解すること（自分の言葉で概念を説明したり、論証を構成したりできること）を目標とする。そのためには、言葉の使い方や主張の根拠を明確にすることに注意深くなる必要がある。また、科学哲学者が（科学者にとっては必ずしも興味をひかないような）ある問題を立てるのはなぜなのか、議論の決着がなかなかつかないのはなぜなのか、といったことも理解してほしい。 科学哲学を学ぶことで、同時に、哲学とはどんなものかを、具体的トピックを通して知ることにもなるはずである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	現代思想	星野 太	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代思想入門（2001-2021）					
授業の目標概要	これは、現代思想の入門講義である。 このシンプルな一文には、おそらく独特の曖昧さが含まれていると想像する。そして本講義は、ほかならぬこの事実から出発する。日本語で「現代思想」という言葉が発せられるとき、それは 20 世紀後半の日本で「現代思想」と称された哲学・思想と、21 世紀が開けておおよそ 20 年が過ぎた──文字通りの意味での──「現代の」哲学・思想のいずれかを意味している。まずはそのあたりの経緯を振り返るところから、本講義を始めたいと思う。 より具体的には次のようになる。本講義では、21 世紀になってそれなりに耳目を集めた「現代」思想の潮流を押さえることを、ひとまずの目的とする（詳細は「授業計画」を参照のこと）。同時に、それが 20 世紀後半の「現代思想」をどのように受け継いでいるか、ということにも話題を広げる。 教養科目であることに鑑みて、基本的には教員が解説をするかたちで進めるが、実際にその代表的な文献を読んでみる場面では、受講者に積極的な参加を求めることがある。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	記号論理学I（文科生）	秋吉 亮太	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	論理学入門（命題論理・述語論理）					
授業の目標概要	現代論理学，とくに命題論理と述語論理を初歩から解説する．「すべて」や「ある」といった量化子を取り扱う述語論理の意味論・証明論に慣れることを目指す．時間があれば言語哲学への応用や完全性定理を概観する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	記号論理学II	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	完全性定理から不完全性定理まで まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一歩ずつ辿る。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な力能（i.e.再帰関数の表現可能性）を備え，(2)しかも，通常の意味での公理系（i.e.再帰的に枚挙可能な公理系）を成している，という 2 条件を満たす形式体系であれば，いかなるものであっても，それが無矛盾（より詳しくは ω 無矛盾）である限り，必ず，証明することも反証すること（否定を証明すること）も不可能な文（閉じた式）を含む，というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。 授業はオンライン形式であるが、以上の点については基本的に変更はない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50676	A	表象文化論	清水 晶子	表象文化論 コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	セクシュアリティ論（クィアスタディーズ） セクシュアリティ論、とりわけ 1990 年代から 25 年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。 授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐって交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。 ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。 授業はオンラインで行います。Zoom, Google Classroom を使用予定です。Slack も使うかもしれませんが、これは参加者の様子を見て決めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50677	A	演劇論I	沖本 幸子	表象文化論 コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「道成寺」の世界ー絵解き・能・民俗芸能・歌舞伎ー 1000 年の時を超えて語り継がれ、絵解き、民俗芸能、能、歌舞伎、演劇、映画、アニメと、さまざまな芸能、メディアに乗って、今なお新作が作り続けられている「道成寺」をテーマに、その世界と、それぞれの芸能の創造力を読み解いてゆく。 表面的に読めば、男女の行き違い、ストーカー殺人事件にすぎないのかもしれないが、丁寧に読み解いてゆくと、道成寺をめぐる土地性や、女性と水、蛇、鐘をめぐる様々な伝承が息づいていることが見えてくる。そうした伏流する物語にも目を向けながら、一方で、そうした伝承性を切り捨てながら新たな物語として再創造され続けてきた芸能の魅力にも迫りつつ、それぞれの「道成寺」の魅力を掘り起こしてみたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	演劇論II	河合 祥一郎	表象文化論 コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	『ロミオとジュリエット』論 もともとは、オリビア・ハッセーが出演したゼフィレッリ監督映画『ロミオとジュリエット』とレオナルド・ディカプリオが出演した『ロミオ＋ジュリエット』を比較して進める予定であったが、オンライン授業のためテキスト読解が中心になるであろう。「ロミジュリ」表象の問題をベースにしつつ、何の予備知識もない人にもわかるように、哲学の問題や演劇の実践に触れつつ、『ロミオとジュリエット』という作品の核心に迫る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51461	A	美術論	桑田 光平	表象文化論コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		デザインを考える／デザインから考える				
授業の目標概要		この授業では「デザイン」を単なる意匠や機能性としてではなく、近代における人間の生活様式の設計として考え直し、その視点から近代デザインの歴史を現在にいたるまで概観し、その上でデザインの観点から現代の諸問題について考察を試みる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	映画論	CAPEL Mathieu	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		戦後映画史を語る				
授業の目標概要		映画史をどう語ればよいかと考え、映像表現の基本的な概念について学ぶ。 ヨーロッパ映画と日本映画を比較しながら、企業、技術、ジャンル、形式などを観察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50130	A	比較文化論	石原 剛	超域・比較文学比較文化コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アメリカ文化とその多様性：日米比較の視点から				
授業の目標概要		本講義では、アメリカ文化の特色を理解する上で重要な、幾つかのテーマを中心に比較文化の視点を活用して考えていく。特に、「多様性」というアメリカの文化的・社会的特徴を、文学、映画、絵画作品などを適宜紹介しつつ解説していく。情報・コミュニケーション技術や世界市場の飛躍的な進展を迎えた今日、アメリカ文化の世界への拡大がもつ意味について理解を深めることは非常に重要である。そこで、明治以降、アメリカ文化の多大な影響を受けてきた日本の例を題材に、アメリカ文化の「グローバリゼーション」についても取り上げる。また本講義では多様な社会を構築していく上でアメリカが直面した差別や偏見の問題、特に日系アメリカ人の歴史や、日米の戦時プロパガンダの問題を重点的に扱い、異文化が共存していくとはいかなることなのかについて熟考してもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	比較文化論	前島 志保	超域・比較文学比較文化コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		近代日本における出版・読書文化の大衆化				
授業の目標概要		近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	比較思想	斉藤 渉	超域・比較文学 比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	啓蒙のダイアローグ――西欧 18 世紀の言説ジャンル					
授業の目標概要	啓蒙の時代（17～18 世紀）、ヨーロッパでは、ダイアローグ形式のさまざまなテクストが書かれました。もちろん、対話形式のテクストは、他の時代や文化圏においても見られますが、啓蒙期の西欧社会は、それらのテクストにおける読者層の広がりやテーマの多彩さといった点で、際立っているように思われます。 この授業では、啓蒙期に流行したダイアローグ形式のテクストについて、思想史的な観点から考察をおこないます。いくつかの代表的テクストを実際に読みながら、テーマの広がりや時代背景、レトリックの特徴などを詳しく見ていきましょう。 その際、他の時代や文化圏との比較よりむしろ、当時の社会でこれらのテクストがもった意義、こうしたジャンルが選ばれ、好まれた条件（書き手の側と読み手の側の双方で）などについて検討します。 考察の背景となるのは、同時代人が「啓蒙」という名で呼んだ、当時の時代意識です。なぜこの時期にこうした多数のダイアローグが書かれ／読まれ、どうしてその後は（今日に至るまで）マージナルなジャンルとなってしまったのか、といった問題も合わせて考えたいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50545	A	比較芸術	今橋 映子	超域・比較文学 比較文化コース	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	比較芸術入門ーー展覧会カタログをめぐる実践的演習					
授業の目標概要	UTAS を参照					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	東洋思想史	田中 正樹	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	宋代学術思想研究					
授業の目標概要	近代に至るまで日本を含む東アジア全体に多様な影響力を及ぼしていた中国文化の特質の一端について、中国学術思想の大きな流れを学ぶことにより理解するが目標である。 しかし、講義時間の制約もあり中国思想の全体を詳細に論ずることは不可能なので、中国思想史の概略を把握した後、特に宋代士大夫の学術思想の在り方の理解を深める。というのも、宋代学術・文化は朝鮮半島や日本、東南アジアに於いて各文化に受容され、その一部となって現代まで生きていると言えるからである。 宋代はその後の思想界に多大な影響を与えることになった程朱学（二程子・朱熹の学問）が起こり、漢・唐の訓詁学から新儒学への画期をなす時代と考えられる。そして、南宋・朱熹の学術が後に「朱子学」に再構成され、また知識人生産装置としての「科挙」のテクストに採用されたことにより、近代に至るまで中国や儒教国家・朝鮮王朝、及び江戸期の日本に少なからぬ役割を果たしてきた（従ってそれ以降は前近代的なものとして批判された）ことはよく知られている。しかし、宋代の学術は程朱学の系統だけでなく、それに属さない士大夫達も独自の思索を試み、豊かな成果を残していることは、あまり問題とされない。 そこで、本講義では、宋代知識人の学的基礎を解明する試みの一つとして、儒教経典の学問「経学」や士大夫に好まれた道家思想（及び道教）のテクスト等がどのように読まれていたのかについて理解すべく、具体的な資料を読解する作業も行い、受講者が宋代学術の諸相に関して深く考察する機会とする。また、学術思想を中心とするが、より広範な文化―芸術や飲食―と士大夫との関係についても情報を提供し、幅広く古典中国文化の理解を深める。可能な限り原典資料も提示し、漢文読解の復習ができるようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50883	A	西洋思想史	石原 孝二	哲学・科学史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	精神障害（精神疾患）と精神医学の思想史					
授業の目標概要	精神障害と精神医学の歴史をたどりながら、理性と狂気が西洋の医学や哲学においてどのように捉えられてきたのかを探る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50706	A	科学史	三村 太郎	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ギリシャ科学から近代科学まで				
授業の目標概要		科学は不変の真理を扱った学問というイメージを抱くが、その一方で、科学は古代からの長い歴史を持っており、地域や時代によって様々な「科学」が営まれ、今日の科学が形成された。本講義を通じて、科学という営みを世界の歴史の視点から見るきっかけを与える。具体的には、古代から近代科学成立にいたるまで、科学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。				

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	国際関係論	都丸 潤子	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人と文化の国際移動からみる国際社会の変容 本講義では、人の国際移動と、移動する人々が帯同し、メディアでも伝達される文化がもたらす影響の分析をとおして、現代に至る国際社会の変容とグローバリゼーションの多面的理解をめざしたいと思います。国際移動者の構築する脱国家的関係は国際関係にも影響を及ぼしてきました。また、現在のパンデミックにおいても国際移動と文化の果たす役割が再認識されつつあります。本講義では、歴史社会学的な視点から国際関係を捉え、グローバリゼーションが本格的に始まった帝国形成期から帝国の解体を経て現代に至るまでの人と文化の国際移動と国際社会への影響を、主にイギリス帝国と旧植民地の事例を用いながら検討する予定です。マイノリティも含む国際移動者の視点から、履修者が「人の顔の見える国際関係像」を把握する助けになれば幸いです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50653	A	国際関係論	吉本 郁	国際関係	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		この講義では、国境を越えて国家や様々な集団・人がかかわりあうことで生じる現象を理解し、分析する際にその道具となる概念や理論を学ぶ。講師が自ら時事的な問題を論評したり、あるべきと考える政策を提言したりすることはないが、受講生にもしそのような関心がある場合でもその前提となるような視座を提供したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	国際関係史	酒井 哲哉	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係史 幕末・維新期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際協力論序説 本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」（International Development Cooperation）について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助（ODA）を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、非政府組織（NGO）を通じた支援、さらに企業による支援について、それぞれの特徴を概観し、比較検討する。 国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51082	A	地域文化論II	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　和解と協力から見たアジア共同体

授業の目標概要　この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤をめぐる和解と協力について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それはどのようなもので、それがどのように想起されて継承され、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようなものであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。
2 年ほど続けて歴史関係が続いたので、現代史的な「協力」の問題も今回はとりあげる。講師には人間の安全保障的研究を行ってきた者が 3 人ほどおり、これまでとはちがった視点でアジア共同体の形成について論じることができるであろう。
そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした作業を通じて、過去と現在の対立や葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても、受講者は講師と議論してほしい。
原則リレー講義である。第 1 回は谷垣と外村大が授業の進め方について説明する。
毎回の授業のテーマは以下のとおりである。本授業は、谷垣のほか、外村大、三ツ井崇が協力教員である。ゲストスピーカーは現時点では日本国内が中心であるが、海外のスピーカーに登壇いただけるように粘り強く交渉中である。
現在、決まっている地域は以下のとおりである。
中国、朝鮮半島、日本（戦前）台湾、沖縄、海外の中国系コミュニティ
東南アジアや中東、中央アジアにおける日本の協力

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51083	A	地域文化論II	足立 信彦	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　性・所有・共同体

授業の目標概要　神話、伝説、文学、映画は女性を略奪し所有する物語で溢れている。しかも多くの場合それは輝かしいおこないとして語られる。その理由を考え、「所有」をめぐる男たちの物語とそこに隠された欲望や不安を分析する。「男子たちが共同で創り出すこうした実践と、それが男子間や男女間でうみだす悲喜劇」（片田 孫 朝日）の研究。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	比較地域史	杉山 清彦	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中央ユーラシアの諸帝国──モンゴル帝国と近世帝国

授業の目標概要　近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域すなわち中央ユーラシアに住まう遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いたユーラシア世界史の観点に立って、その最高潮期であるモンゴル帝国とそれに続くティムール帝国〜大清帝国などの諸国家について概観する。それを通して、世界史理解の刷新をはかるとともに、「帝国」「国民国家」という国家形態についても理解を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50884	A	比較地域史	岡田 雅志	歴史学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　東南アジア山地世界の歴史：「ゾミア論」を越えて

授業の目標概要　本授業では東南アジア大陸部山地世界の歴史を扱う。山地、とりわけ東南アジアの山地世界の歴史といってもピンと来ないかもしれない。世界史の表舞台に現れることが少なく周縁的な位置づけを与えられてきた同地域であるが、多民族が当たり前に共生し、生態環境に応じた特徴的社会を育んできた独自の歴史世界である。また、近年の歴史学界ではジェームズ・スコット『ゾミア』が同地域を「国家支配を逃れる技術を進化させてきた世界」として描いたことでも注目されている。
受講者には、同地域を多面的に論じる本授業を通じて、従来の歴史学が対象化してこなかった山地世界の歴史の特徴を理解するとともに、ゾミア論では捉えられていない、世界市場への資源の供給地として、また中国と東南アジアを結ぶ地域としての役割などに考察を進め、生態環境・地政学的視点とグローバルな視野をあわせ持って歴史を見る態度を身に着けることが望まれる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	日本文化論I	中野 貴文	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　『宇治拾遺物語』を読む

授業の目標概要　説話文学、例えば『今昔物語集』や『十訓抄』といった諸作品は、数ある古典文学作品の中にあって、正直、人気がある方とはいえないでしょう。やたら上から説教してくるし、下世話な内容も少なくない。『古今和歌集』『和漢朗詠集』といった和歌・漢詩、あるいは『伊勢物語』や『源氏物語』といった物語文学などと比較すると、どうしても B 級の香りがすることは否定できません。しかしながら、『宇治拾遺物語』はそのような説話というジャンルに属しながらも、どこか他の説話集とは一線を画す、文学的な魅力にあふれているのです。いうなれば、B 級文学のトップといったところでしょう。すごいんだか、すごくないんだかよくわからない、この不思議な作品をひもとき、その文学的意匠の巧みさ等について理解することを目指します。さらに、編集の文学とも呼ぶべき説話文学というジャンルそのものについても学びましょう。そして最終的には、現代にもつながるであろう、人と物語との多様な関係性について言及することができれば、と思っています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	日本文化論I	出口 智之	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　なぜ日本人は古典を読めなくなったか

授業の目標概要　本授業は 2021 年度 S セメスターに理科生限定で開講した科目、「日本語日本文学 I（理科生）」を、文科生向けに拡充したものです。同科目の履修者を含む、理科生の受講を妨げるものではありませんが、その点のみご留意ください。

このシラバスを読んでいるジュニアのみなさんは、個々の得意不得意はあるにしても、平均すればおそらく同世代のなかで最も古典文学（古文）の読解に長けた層だろうと思います。なかには、古文を得意科目とし、自由自在に読みこなしてきた方もいるかもしれません。しかし、そういう方でも、古文を現代文と同等のスピードや容易さで読むことは難しいでしょうし、現実にはある程度（かなり？）苦労しつつ、なんとか受験で点が取れる程度に読んできた方が大部分だろうと思います。

そんなみなさんは、こういう疑問を持ったことはないでしょうか。なぜ古文は読みにくいのだろうか。なぜ私たちは古文を読めなくなっているのだろうか、と。

この問いは、次のように言い換えてもよいかもしれません。「古文」と「現代文」は、いつ、どのようにして入れ替わったのか、その時には何が起きたのか。

具体例を一つお示しましょう。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして…」とは、福沢諭吉が明治 5（1872）年に公にした文章です。そのわずか 33 年後の明治 38（1905）年、夏目漱石は「吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生れたかとんと見当がつかぬ。」という文章ではじまる小説を発表しました。この間には、いったい何があったのでしょうか。

この二つの文章は、まさに「古文」と「現代文」の断絶を端的に示しているようですが、実はその背後には、単なるテキスト上の問題にとどまらない、きわめて幅広い懸隔が横たわっています。いくら古文が得意だった方でも、いまからわずか 160 年前に出版された本を渡されて、そのまますらすら読める人はまずいないでしょう。文章の意味がわかるわからない以前に、くずし字で書かれた文字を判読する時点でつまづくはずですし、旧字・異体字など文字の種類やパンクチュエーション（句読法）も大きく異なるため、文字をすべて判読してもなお読めるとはかぎりません。みなさんが読んできた「古文」とは、そうした障害をすべて除き、現代人が読みやすいように整えられたテキストにすぎないのです。

では、このわずか 160 年程度の間に、いったい何が起ったのでしょうか。なぜ現代の日本人*は、わずか 160 年前に自国で刊行された本も読めなくなっているのでしょうか。

この講義では、幕末から明治にかけて「古文」が「現代文」になってゆく過程を紹介するとともに、古典籍を読むうえでの大きな障害となっている、くずし字読解のための基礎をお伝えします。前者の内容からは、みなさんがいかにも自然だと思われているだろう「現代文」、特に口語文小説の文体が、実はいかに不自然なものであるのかが、後者からは現在当然のように使われているひらがなと漢字が、まだ 100 年も使われていない、きわめて新しい字体であることが見えてくるはずです。

*ここで言う「現代の日本人」とは、人種・民族・国籍などとは無関係な、かなり曖昧な定義です。現代日本語を第一言語または準第一言語とし、ある程度のレベルの文章を文字によって読解することができる話者、またそれに準ずる力を学習によって身につけた、日本語を第二言語以下とする話者も含む、といった程度のニュアンスです。本授業では、日本語文化の変遷を捉える史的観点から、かりに「現代の日本人」という表現を用いているにすぎず、「日本人」とは何かという問題には踏込んでいないことをご承知おきください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51062	A	日本文化論II	高山 大毅	国文・漢文学	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		江戸時代の文学論 文学研究をしていると、「文学は何の役に立つのですか？」といった質問をぶつけられることがある。この種の質問は大抵礼を失していることはさておき、文学の価値をどのように説明するかについては古来様々な議論があった。この授業では、江戸期の文学論の検討することで、上記の問いについて考えてみたい。伊藤仁齋・荻生徂徠・賀茂真淵・本居宣長といった学者の所説を取り上げる。彼らの文学をめぐる思考は、今日の読者にとっても示唆に富んでいる。江戸期の思想・文学に関心がある人だけでなく、広く「文学」に関心のある人に受講してもらいたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A 1	日本語日本文学I （理科生）	沖本 幸子	国文・漢文学	火 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		世阿弥の能を読む 夢を構造化した「夢幻能」を創出した世阿弥。夢を舞台に持ち込むことによって、死者と生者、過去と現在とが、今ここでクロスする演劇を可能にした。そうした世阿弥の夢幻能の中から名作「鵺」を取り上げ、その世界をひも解いてゆく。『平家物語』では一瞬しか登場しない化け物「鵺」に光を当てた作品の魅力にテクストを通して迫りつつ、名人による上演映像を鑑賞し、演劇としての魅力についても考えていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51084	A	日本語日本文学II	佐藤 正光	国文・漢文学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本人の漢詩を読む ー大江千里・菅原道真・万里集九・頼山陽・夏目漱石ー 日本人の漢詩について学び、その作法、技巧、内容について考察することにより、漢詩の読解と高度な鑑賞ができるようになる。 漢詩には押韻、平仄、対句といった規則（詩律という）があり、まずその規則を学び、漢詩の作詩法を理解する。第2回から日本の各時代における特徴的な漢詩人5名を取り上げ、その作品を具体的に検討する。最初に大江千里の「句題和歌」、中国の漢詩の1句をもとに和歌を作ったもの。詩と和歌を読解した上で、大江による漢詩の詩句の捉え方、和歌の発想、それぞれの表現方の違いなどを考察する。次に菅原道真の『菅家文草』、京の都で活躍した時代と太宰府に流されてからの詩境の変化に留意する。第3に万里集九と『梅花無尽蔵』、室町時代の五山文学の代表的人物の一人で戦乱を避けて地方を転々とした。大戸安弘「万里集九の教育活動」という論文を材料に考察する。第4に江戸後期の頼山陽と『日本楽府』、頼山陽は『日本外史』を著し日本の武士の歴史を明らかにし、各時代の出来事を楽府という形式の漢詩にした。歴史への着眼点、詩の描写法に留意する。第5に明治の夏目漱石と正岡子規の漢詩、二人の交流とその詩の内容に留意し、漱石が修善寺で病に倒れた時に作った漢詩と『思い出すことなど』の叙述とを特に考察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	東洋古典学	田口 一郎	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		漢詩（中国古典詩）入門 東洋で広く古典として読まれてきた、中国古典詩（所謂漢詩）の基本的な知識の習得と、読解力の養成を目標とします（漢詩の制作については求めません）。 各時代の代表的作者・作品に触れながら、漢詩の構造・読み方、基本的な背景知識について講義します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50282	A	歴史社会論	後藤　はる美	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ブリテン革命と近世ヨーロッパ 1649 年の出来事を何と呼ぶか。これはイギリス史（世界史）の大問題である。高校世界史で長らく採用されてきた「ピューリタン革命」は、英語圏では使われなくなって久しい。 本講義では、近年注目を集めている「三王国戦争」としての「ブリテン革命」論を出発点に、ブリテン諸島の人びとが 17 世紀なかばのこの激震をどう生きたかを、広く近世ヨーロッパ史のなかで再検討する。その際、国制の転換といった政治史だけでなく、文化史・社会史的な広がりや、Brexit に揺れる現代社会における連合王国の位置づけにも目配りし、過去と現在を歴史的に考える目を養うことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	歴史社会論	長谷川 まゆ帆	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	啓蒙の遺産を問い直す社会史――プラティックと感情のインテレクチュアル・ヒストリの試み この授業では、啓蒙期フランスの社会と文化を歴史的に考えるための新しい視点について学ぶ。ここで言う啓蒙期フランスとは、革命に先立つ主として 100 年ほどの時期をさす。 啓蒙とは、一般に「進歩」や「理性」を肯定し、旧社会の闇を理性の光で照らし出すとともに、人間を蒙昧や無知から救い出し、とらわれや思い込みから解放していく思想と考えられている。しかしこの時期に生じていた諸変化を具体的に見ていくと、必ずしもこの時代の人々が「進歩」や「理性」についての思想を受容してそれに沿って啓蒙されていたわけではないことがわかる。この時代は、合理的でも効率的でもない信念や諸関係が根強く命脈を保ち、古いものと新しいものが隣り合い、せめぎあっていたのであり、いわば、混沌とした過渡期でもあった。 本講義では、啓蒙期の人々の人的関係やプラティック(実践)、価値や信念がどのようなものであったかを探り、実際には何か生じていたのかを再検討してみたい。現代社会が、決して「正しい」考えや思想によってのみ動いて変化しているわけではないのと同じように、この 18 世紀もまた多様な価値や実践が絡み合い、公共空間と私生活を形作っていたからである。 また、これまで 18 世紀の歴史は、思想史、経済史、政治史、社会史などによって、それぞれ別々に研究され、論じられてきたが、本授業では、読書やメディアの普及、日記や書簡、会話などの新しいコミュニケーション回路を視野入れ、人間の感情とプラティックの両方から考察することで、思想史と社会史の架橋を試みる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50707	A	近現代史	中野 耕太郎	歴史学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アメリカと「戦争」の近現代史 20 世紀のアメリカの歴史は、常に「戦争」とともにあったと言っても過言ではない。絶え間なく行われた近隣諸国への干渉戦争や世界大戦への参戦は、それ自体、アメリカと外部世界の新たな関係性を規定し、また、内的には現代的なナショナリズムと他者形成の政治を生み出してきた。本講義では、第一次世界大戦、第二次世界大戦、そしてベトナム戦争を具体的に取り上げ、「帝国」としてのアメリカの盛衰と国民統合（とその挫折）の歴史を概観する。アメリカはなぜ、いかにしてこれらの戦争の当事者となったのか。また、戦争を遂行したことは国内の人種やジェンダーの関係にどのような影響を与えたのだろうか。そして、それぞれの「戦後」はアメリカと世界にどのような課題を投げかけていっただろうか。いくつかの先行研究を参照しながら、こうした問題について考察をすすめていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50885	A	近現代史	栗原　康	歴史学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本アナキズム思想史 この授業では、近代日本のアナキズム思想史をあつかう。具体的には１８８０年代から１９３０年代にかけて活躍していたアナキストの思想と行動をとりあげる。かれらの目には、天皇制国家や資本主義がどのように映っていたのか。アナキズムの視点から、現代にもつうじる権力のあり方、そしてその問題点をあきらかにしていきたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	歴史と文化	岡田 泰平	歴史学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ポストコロニアリズムから「グローバリズムの政治学」へ：冷戦後のグローバルサウスをめぐる思潮

授業の目標概要　本授業では、20 世紀後半の重要な思潮であるポストコロニアリズムの主要なテキストを読んだ上で、21 世紀になって、なぜこの思潮が後退し、その代りに広義の政治学（グローバリズムの政治学）が興隆してきたのかを考えます。私は前者にも後者にも批判的です。前者の場合は、不可知論に陥りがちで、結局は北米やヨーロッパの英語文学研究の枠組みを越えられなかったと考えています。後者の場合、その出自は、西洋中心主義であり、この亡霊が完全に払しょくできたかというと、できていないと思います。ただ、植民地主義は、人種差別とともに、国家建設や開発主義でもあり、単純に西洋中心主義を論拠として全否定はできません。ですので、グローバリズムの政治学の最近の業績をどう評価するのかは、正直なところ、迷っているところです。他方、20 世紀から 21 世紀の時代、つまり近代植民地から国民国家の形成を一つの時代区分で捉えることを試みています。そのためには、グローバル・ヒストリーの立場から、これらの二つの思潮を繋げて再評価してみることが必要ではなかろうか、と。このような観点から、この授業を開講することにしました。なお、日本語業績を主とする研究者は、本講義では扱いません。英語学知の批判をやってみたいと思うからです。

本授業では、フランツ・ファノン、ラナジット・グハ、ガヤトリ・スピヴァック、エドワード・サイードといった人々のポストコロニアリズムの古典を読み、その後に 80 年代以降に盛んに論じられたベネディクト・アンダーソン、パルタ・チャタジー、スティーブン・クラズナーといったグローバルサウスの国家建設を論じた議論を検討します。その上で、大前研一、デイヴィッド・ヘルド、ダニ・ロドリック、ウルリッヒ・ベックらのグローバリゼーションをめぐる左右の立場を確認します。最後に、ダグラス・ノース、ウィリアム・マクニール、ニーアル・ファーガソン、フランシス・フクヤマ、ダロン・アセモグル／ジェームズ・ロビンソンといった人々の、国家（制度）と政治に関する論説を検討します。この最後のものを「グローバリズムの政治学」と捉えています。第 13 回目では、この一連の流れを受けて、私の専門であるアメリカ植民地期フィリピンの研究の 21 世紀的な意義を考えてみたいと思います。

歴史は多様であり、様々な見方があります。最近話題のものは、人種やエスニシティに焦点を置くものです。これらの論点は極めて重要ですが、本授業では、国家という古典的なテーマを中心においています。「歴史と文化」というタイトルについての弁明としては、冷戦後において、ナショナルなものからグローバルなものになるに関心が移るにつれて、「文化」を研究する意義を問い直すものになります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51428	A	歴史と文化	佐川 英治	文学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国古代史論

授業の目標概要　文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51429	A	歴史と文化	守川 知子	文学部	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　歴史の中のイスラームとその社会

授業の目標概要　本講義では、イスラーム社会の歴史的多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム世界」とは何かについて考える。現在、世界人口の 2〜3 割を占める 18 億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であったことが明らかとなる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっている。このようなイスラーム社会の歴史的多様性を理解することは、将来、文学部に進学し歴史研究や思想研究を志す学生はもちろんのこと、国際社会の一員として生きるすべての学生にとって意味あることであろう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	歴史と文化	山口 輝臣	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「国家神道」から考える：近代日本における神道・宗教・天皇 このシラバスを閲覧しようというほどだから、「国家神道」という言葉を、どこかで一度くらいは聞いたことがあるに違いない。だが、それについて説明せよと言われると、窮してしまうのではあるまいか？ この授業では、「国家神道」の説明に窮してしまう理由の検討を手始めに、「国家神道」にまつわる旅に出発してみたい。その道中では、近代日本における神道・宗教・天皇とその周辺について、適宜史料を用いながら、考えることとなるだろう。コトバへのこだわりは、いかなる歴史像を立ち上げるのか――そんな歴史学の現在を体験できる冒険になれば、この授業は成功である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50197	A	世界史論	杉本 浄	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	鉱山から見る世界史-19 世紀から 20 世紀初頭のイギリス植民地インドから ここ 30 年近く経済成長を続けてきたインドは鉱物資源大国の側面を持つ。実際に大がかりな動力機械を取り入れた鉱山開発は、蒸気機関を用いて 19 世紀後半より段階的に始められた。その背景には植民地内での石炭の需要が増したことにあるが、1851 年に創設されたインド地質調査局による精緻な資源調査が先鞭をつけたことも大きかった。本講義では技師や技術に焦点を当てつつ、イギリス領インドおよびマラヤ、イギリス、アメリカ、さらに日本を射程に、横断的な鉱山史だけでなく、鉱物資源開発と世界史とを連携させる試論を展開したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	文化人類学II	箭内 匡	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人類学的思考とは何かー映像／イメージを通して学ぶー 文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51085	A	文化人類学II	関谷 雄一	文化人類学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アフリカで学ぶ文化人類学 本講座では文化人類学そしてアフリカ研究に関心のある初心者の学生に向け、アフリカで考察され編み出された主要な民族誌を取り上げながら、基本的な研究理論や概念を分かりやすく講義してゆく。同一の題名を掲げた市販のテキストを教科書に指定しそれに沿って講義を進める。ただし、授業内容はテキストの範囲に留めることをせず、未だ研究が十分になされていない現代アフリカの諸問題や、文化人類学の最新の研究などもアフリカをフィールドに考察した場合の発見などについても可能な限り取り上げるようにする。第一目標は文化人類学の基本的な手法であるフィールドワークと民族誌について、古典的な取り組みから現代の最新の試みに至るまで幅広く理解することとする。第二目標は地域としてのアフリカを舞台に研究実践をすることの楽しさや意義を理解することとする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50708	A	民族文化論	塚原 伸治	文化人類学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		現代民俗学				
授業の目標概要		民俗学と聞けば、古くさい文化について扱う学問、あるいは古いものを穿鑿する学問という印象があるかもしれない。しかし、実際の民俗学は近年大きな変化のただ中にあり、私たちが生きる現代社会や人びとの日常について探究する学問へと変貌しつつある。このような新しい民俗学の研究動向をここでは現代民俗学と呼んでおこう。 とはいえ、新しく生まれ変わりつつある民俗学も、これまでこの学問がたどってきた歴史の影響下にあることを忘れてはならない。そこで本講義では、あえて民俗学の最古の研究対象のひとつでもある祭り／祭礼をとりあげ、その現代的状況に触れながら、21 世紀における民俗学を構想する。民俗学の長年にわたる研究蓄積と近年の研究動向の間を往復することで、民俗学のものの見方についても適宜概説する。				

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50709	A	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		法理論の探究				
授業の目標概要		ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺戟的であるように考えられる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		日本国憲法				
授業の目標概要		日本国憲法について，その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ，その概要について講義を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50198	A	現代社会論	丹羽 美之	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		テレビ番組で見る現代社会				
授業の目標概要		日本でテレビの本放送が始まってまもなく 70 年。テレビは単に現代社会を映し出すだけでなく、現代社会を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、テレビ史に残る番組の数々を視聴しながら、テレビを通して現代社会の歩みを多角的に振り返る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50171	A	ジェンダー論 【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		社会学的視点で考えるジェンダー問題				
授業の目標概要		性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会学的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51086	A	相関社会科学	市野川 容孝	社会・社会思想史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		現代社会と相関社会科学				
授業の目標概要		教養学部後期課程の教養学科・総合社会科学分科： http://www.kiss.c.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/aboutundergraduate/ に所属する数名の教員のリレー講義によって、同分科のコースの 1 つである「相関社会科学」の可能性を、具体的に知ってもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50958	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求					
授業の目標概要	人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 大学受験のために多くの人が世界史、日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50284	A	計量社会科学	清水 剛	経済・統計	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	計量社会科学					
授業の目標概要	本講義では、「数値によって社会を見ること」の問題点と基本的な統計分析の考え方を学んでいく。社会に関するさまざまなデータは客観的に存在しているようなものではなく、それ自体が社会的な条件の下で形成される。この点を踏まえて、まずデータを「読む」とはどのようなことかについて講義した上で、その上で統計分析の考え方を述べていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50887	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済政策を問い直す					
授業の目標概要	経済政策が常に論争の的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実は逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間–社会との相互作用という視点から経済政策を考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	教育・学校心理学					
授業の目標概要	誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育に関して視野を拡大するとともに、根本的な発想の転換が図れるような力量を育成しながら、教育に関する見識を受講者なりに醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50074	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿 西口 雄基	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育臨床心理学と教育支援についての理解を目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51087	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51437	A 1	高等教育論入門	両角 亜希子	教育学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	高等教育論入門					
授業の目標概要	この授業は、自身の経験を超えて大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51436	A	教育実践・政策学入門	北村 友人	教育学部	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教育実践・政策学入門

授業の目標概要

（授業の目標）

この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。

（授業の概要）

教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に学校教育、社会教育、教育行政を専門とする 3 名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、また、社会教育と呼ばれる学校外における学びのあり方などについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	環境物質科学	角野 浩史	化学	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	生態学	奥崎 穣 川北 篤	生物	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は，身近な環境での生き物の生活史から，地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで，広いスケールを対象にする．同時に，個体レベルでの遺伝的多様性，個体群（集団）や生物群集の動態，そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで，多段階の階層性を持つことになるため，生態学の理解は多岐に渡り，一筋縄ではいかない面がある．しかし，それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり，生態学を学ぶ面白さでもある． 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後，前半（担当，奥崎）には動物を対象として，個体群動態／種間相互作用／群集構造／進化のメカニズム／性にまつわる進化／種分化などを解説する．後半（担当，川北）には主に植物生態の視点から，日本と世界の植生／環境条件と植物群集／種多様性の地理的パターン／生態系における物質の流れ／共生／生物多様性の保全などを解説する． 講義を通して基礎科学としての生態学を学ぶだけに留まらず，人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全，そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点も養うことを目標とする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50818	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地域開発と地域の動態 地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50172	A	社会生態学	松原 宏	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と地域経済の実態 本講義では、日本の地域経済の実態を事例を通して学ぶとともに、地域経済と地域政策の理論について理解を深めることをねらいとする。授業は３部からなり、第１部地域経済の理論では、経済地理学独自の経済地域のとらえ方、地域経済循環と地域構造の考え方を紹介する。第２部では、日本の地域構造の歴史的変化をおさえた後に、都市地域、工業地域、農山村地域の事例をもとに、現代日本の地域経済の実態をみていく。第３部では、地域経済政策の理論を解説した後、日本における地域政策の歴史と今後のあり方を検討する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	地域生態学	半澤 誠司	人文地理学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	創造性の地理学					
授業の目標概要	1990 年代から顕著になってきた情報化の進展に連れ，注目度を増すとともに，地理学においても鍵概念の一つとなってきた「創造性」に焦点を当て，地理学および隣接諸分野の議論を紹介する。これによって，(1)情報化と創造性の関係性，(2)創造性と地域期の関係性，について認識を深め，(3)「経済」にとって「文化」が重要な要素となってきたこと，を理解したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51089	A	地域生態学	丹羽 雄一	人文地理学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	災害を自然地理学の視点から捉える					
授業の目標概要	湿潤変動帯に位置する日本では、地震や水害をはじめとした自然災害にたびたび見舞われてきた。 大規模自然災害が頻発する現代社会において、災害を引き起こす自然現象の実態や発生要因をとらえることが、第一に重要である。さらに、ある地域において、災害の起こりやすい自然的要因や社会的な要因を把握することも防災や減災において重要である。 本講義では、地震や洪水などの大規模災害を引き起こす自然現象を取り上げ、それらの発生要因や地域性、および防災や減災に向けた地理学的検討などを概説する。また、講義においては、諸自然現象を様々な時空間スケールで捉えることを重視する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	人間行動基礎論 （理科生）	今井 久登	心理・教育学	水 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義では、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての「心理学の成り立ち」にも触れる予定である。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。 代表的な知見の紹介を通じて、心理学の全体像を理解し、体系的に説明できるようになることが目標である。 学問としての心理学のおもしろさを感じてもらいながら、人間に対する見方を広げつつ、社会に生きる一個人として「自分を知り」「他者を理解する」ための考え方あるいは考えを深めるためのヒントを、受講者それぞれに得てもらうことができればなによりである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50767	A	人間行動基礎論 （理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50819	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	知覚・認知心理学					
授業の目標概要	記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50075	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	神経・生理心理学					
授業の目標概要	＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50359	A	認知脳科学	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	神経・生理心理学					
授業の目標概要	脳神経系の構造及び機能 記憶、感情等の生理学的反応の機序 高次脳機能障害の概要					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50820	A	適応行動論	大槻 久	心理・教育学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	人間の行動と心理の進化的理解					
授業の目標概要	本講義の目標は、人間の身体や行動および心理の特性を進化の観点から理解することである。全ての生物種は進化という途方もなく長いプロセスを経て現在地球上に存在している。従って人間を一つの生物種である「ヒト」として捉えた時、我々の体や心も決して進化とは無縁でなく、そこには進化の痕跡が数多く残されていると考えられる。このような観点から人間の行動を理解する学問は人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、近年目覚ましい発展を遂げている。 本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えたインパクトを解説した後（第１回）、進化生物学の基本的な概念を学習する（第２～５回）。次に霊長類の特徴や人類の進化史を学び、生物としてのヒトの理解を深める（第６回～第７回）。これらの内容を踏まえた上で、進化が我々の身体や行動そして心理に及ぼしている影響について様々な例を挙げて解説する（第８回～第１３回）。具体的にはヒトの生活史、社会性、配偶行動を取り上げる。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。 本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50547	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
社会・集団・家族心理学

授業の目標概要
本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。

人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。

心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。

世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。

スポーツ・身体運動実習	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
成績評価方法	出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、ガイダンスなど実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに 2 コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は 1 コマ目の登録者が優先的に履修できる。 同一セメスターに 3 コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを学外 IP アドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。 ユーザー名：komaba パスワード：shintai2017
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50132	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50286	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50548	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50961	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

成績評価方法
出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

履修上の注意
基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。
実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、ガイダンスなど実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス
盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを学外 IP アドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。
ユーザー名：komaba
パスワード：shintai2017

関連ホームページ
https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50017	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
50199	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
50231	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
50482	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学					
授業の目標概要	運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50076	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	健康スポーツ医学					
授業の目標概要	現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。 これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50922	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	身体づくりの科学					
授業の目標概要	身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。 そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50200	A	情報メディア伝達論	大庭 幸治	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	疫学研究の基礎と実際					
授業の目標概要	疫学とは、「人間集団の中で出現する健康関連のいろいろな事象の頻度と分布およびそれらに影響を与える要因を明らかにして、健康関連の諸問題に対する有効な対策に役立てるための科学」と定義される。元々は感染症を研究対象として始まったが、その後、公害などの人災、地震などの天災、環境問題、がんなど生活習慣病など、研究対象・調査対象は多様化している。疫学研究から得られた分析結果や対策は、一般にメディアを通して広く伝わることになるが、その結果を読み解き、解釈するためには、統計リテラシーが必要となる。本講義では、疫学研究の基礎およびいくつかの研究事例を学ぶことで、メディアで目にする分析結果を批判的に吟味する力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50201	A	情報メディア表現論	酒井 慎一	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　情報メディア表現論

授業の目標概要

情報メディアは、情報にかかわる多くの分野にまたがる学際的な分野である。ここでは、情報を作り送り出す側と情報を受け取る側とのコミュニケーションの場やその手段を、情報メディアと呼ぶことにする。この「情報メディア表現論」では、情報をどうやって得るのか、どんな方法で伝達するのか、そのデータをどう解析処理するのか、といった理工学的な研究、および、その結果をどのように可視化するのか、何を見せたら人々に伝わるのか、どんな表現が人々の行動に結びつくのか、その結果、社会がどう変わっていくのか、といった人文社会学的な研究の両方を対象とする。今回は、我々の生存に直結する災害情報（地震発生と火山噴火）を主な題材として、自然災害に直面した時に生じる情報メディアの課題を考えていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A	科学技術基礎論I	岡本 拓司	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目

主に思想面に注目した科学の歴史の概要、およびその日本での受容の過程。技術の歴史についても主に科学との関連において適宜触れる。

授業の目標概要

オンラインで実施する。重要な情報は ITC-LMS において提供する。現代社会においては、好むと好まざるとに関わらず、科学技術と無縁に生きていくことはできない。科学や技術にかかわる事柄を自身の専門としないものでも、科学技術との適切な付き合い方について知識を得ることにはそれなりの意味がある。このような意識から、本講では、主として思想的側面に注目しながら、科学の構造や成立の過程を辿り、さらにその日本での受容の過程について議論する。ただし、科学は人間の実践に深く結びついた営みであるため、取り上げる話題はいわゆる「思想」の領域にあるもののみにとどまるわけではない。具体的には、受講者が科学をどのようなものであると考えているのかを教えていただき、それに沿って、そのような科学がどのようにどこでいつ成立したのかを考察し、科学をほかの営みと分けるものが何であるのかを検討し、またそれが日本で大規模に受容されるようになってからの変遷を辿ることとしたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	科学技術社会論	寿楽 浩太	情報・図形	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　科学技術社会論入門

授業の目標概要

【授業の目標】
科学技術社会論の学術的な基礎を理解する。
それを科学技術と社会のあいだで生じる現実の諸課題に適用できるようになる。
科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係について、批判的思考（物事を当たり前とばかり見なさず、健全な懐疑の姿勢をとり続けること）を身につける。
【授業の概要】
科学技術は現代社会を支える基盤であり、その発展の原動力であり、しかし多くの社会的問題・争点の焦点ともなっている。科学技術を社会から切り離され、それとは全く独立に存在するものとはみなさずに、社会と相互作用し、あるいは社会のなかで展開される人間の活動として捉え、そこで生じるさまざまな課題に取り組む手がかりを見つけようとするのが科学技術社会論（STS: Social Studies of Science）と呼ばれる分野である。
STS は、様々な人文・社会科学の知見や方法を縦横に活用しながら、自然科学を単なる観察や分析の対象とばかりはみなさずに、積極的に関与したり協働したりすることもいとわない。あるいは、従来は学術的な活動の枠外と見なされがちだった、科学者・技術者・研究者以外の人びと（典型的には、さまざまな生業を持ち、公共的活動にも関与する市民）の役割を重視し、その力を引き出すことにも積極的だ。STS のこれまでの取り組みとその成果は、すでに現実の科学技術と社会の関係の変容を促してきたし、STS 研究者は今日この瞬間もそこで生じるさまざまな問題に最前線で取り組んでいる。
本科目では、そうした STS のものの見方やそこから得られる含意、現実の諸課題への対処の手がかりを初学者向けに概説し、履修者が科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係についての批判的思考を身につけることを促す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51425	A	現代工学概論	川中 孝章	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　工学概論

授業の目標概要

工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。

本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ 2 回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2 回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全 13 回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51407	A	現代工学基礎I	泉 聡志	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　四力学とデザイン入門〜〜ワークショップで学ぶ機械のデザイン

授業の目標概要

機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は，機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この 2 つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。

講義の半分は四力学に関する講義であり、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。残りの半分は、ものづくり基礎技術入門（認知神経科学、感性設計学、生産工学）の講義と、新規事業創出の考え方の概略を学び、自分の中のモヤモヤをアイディアに変えていくワークショップを行う。具体的には、「アナロジー思考」によるアイディア発想方法や「リーン・スタートアップ」によるアイディアの磨き方を実践的に学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51413	A	現代工学基礎I	小山 翔一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-

授業の目標概要

物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際，
1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析，
2) 計測による物理現象の本質の情報化，
3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現
4) 情報の認識と実世界の理解，
が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する．

1)物理現象の数理モデリング

未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき，まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し，問題として定式化することが重要となる．これを数理モデリングという．本講義では，音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的変化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する．

2)信号処理の基礎

信号処理の基礎：情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用

信号処理とは，生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し，望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための技術である。

本講義では，音信号のモデリングを例にとり，システムモデリングに基づく情報理解と実世界制御の基礎事項とその応用について説明する。

3)制御の基礎

対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は，機械，電気，情報通信，生物などへ応用可能な横断的学問である．本講義では，理論体系が確立している現代制御理論の入門について概説する．力学系・電気回路などの物理システムを例として，現代制御理論において重要となる状態方程式，システムの応答，およびリアプノフ安定性について説明する．

4)認識の基礎

サイバースペースやサイボーグの元となる言葉、サイバネティクスとはノーバート・ウィーナーが著書『Cybernetics: or Controland Communication in the Animal and theMachine』で示したように、計測・認識・行動・コミュニケーションする過程が動物と自動機械とで類似していることに着目し、情報・物理・生物を俯瞰する学問分野である。

本講義ではヒト、(ヒト以外の)動物の認識機能を踏まえつつ、機械や人に超感覚を与えるシステムについて論じる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60228	A 2	現代工学基礎II	梅田 靖	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　デザイン思考によるイノベーション入門

授業の目標概要

イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。

本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。

手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。

演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019 年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」、2020 年度は「コロナ禍の中で、寂しい一人暮らしの学生が救われる方法」であった。今年は何が出てくるか？

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51417	A	現代工学基礎II	中山 哲 菊池 康紀	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　化学情報とシミュレーション

授業の目標概要

社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。
また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51412	A	現代工学基礎II	沙川 貴大	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理をエンジニアリング

授業の目標概要

物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の 4 つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。

1．超伝導 － 量子の世界からエネルギー革命へ
2．ナノサイエンス － オングストロームの世界を操る
3．光の物理学 － 光と原子の物理学―レーザーで原子を冷やす
4．理論物理学の挑戦 － 基礎方程式の力

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51423	A	社会システム工学基礎II	羽藤 英二 柴崎 隆一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間社会と交通システム 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51406	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TOKYO: 東京の都市計画 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51421	A	総合工学基礎II	石川 顕一	工学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		核科学応用概論 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。本講義ではその物理現象を学ぶとともに、これらを応用したシステムの例である原子力プラント、核融合炉、医療機械について解説したうえで、今後の世界を取り巻くエネルギー問題を科学技術の観点から解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51409	A	総合工学基礎II	寺本 進	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		航空宇宙工学 ―社会を豊かにする総合工学― "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51410	A	生体医工学基礎II	神保 泰彦	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51426	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく 3 つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51422	A	環境・エネルギー工学基礎II	松島 潤	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	エネルギー資源論 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51419	A	環境・エネルギー工学基礎II	多部田 茂	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～ 人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の 7 割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51405	A	看護学概論II	山本 則子	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会で活躍する看護プロフェッショナル 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。 本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60229	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		農学フィールドワーク論				
授業の目標概要		農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深めることを目標とする。 フィールドワークをめぐる調査手法、データの取り扱い、分析の実施、について学習する。アンケート調査票を作成し、模擬的な調査を実施し、分析を行い、結果についてプレゼンテーションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60230	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		農業生産学概論				
授業の目標概要		人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、食料供給網（フードサプライチェーン）の発達は農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51435	A	森林環境資源学	蔵治 光一郎	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		森の最終形				
授業の目標概要		世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5%は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。 高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。 森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 都道県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、国土の 0.1%、東京大学の全キャンパス面積の 99%を占めている。 本講義は、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についてのオンライン講義と、千葉県に位置する演習林で開講する日帰りのフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れる。 ※受講人数はフィールドワークの定員（30 人）に制限します。受講希望者が 30 人を上回った場合はセレクションを行います。 ※オンラインでの講義と、日帰りのフィールドワークを行います。フィールドワークは土日に同じ内容で行います。それぞれ 15 名の定員がありますので希望の日程で行けるとは限りません。 テーマ：森の最終形 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：12 月 11 日（土）または 12 日（日） ※同じ内容です。どちらか一方に参加ください。 定員：各 15 名、2 日間合計 30 名（予定）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51430	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51438	A	教育心理学の世界	高橋 美保	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育心理学の世界 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。				

総合科目　E（物質・生命）

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
  ・単振動
  ・減衰振動
  ・強制振動，共鳴，Q 値
  ＊パラメーター励振
  ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
  ・2 自由度系
  ・基準振動，うなり
  ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
  ・弦，弾性体，気柱
  ・縦波と横波
  ・波動方程式
  ・反射と透過
  ＊波のエネルギー
  ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
  ・考え方，基本事項，線形性
  ・波束
  ・位相速度と群速度
  ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
  ＊波動方程式
  ＊平面波
  ＊球面波
  ＊水の表面波
  ＊反射と屈折
  ＊干渉，回折

成績評価方法　主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50018	月 1	守田 佳史	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50288	火 2	前田 京剛	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50687	水 5	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50962	金 2	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50202	A	解析力学	加藤 光裕	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		解析力学 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系 1 年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎 相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、 アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	量子論	大川 祐司	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子論の基礎 分子や原子ぐらいのミクロな世界では、粒子の運動は Newton 力学ではなく量子力学によって記述される。また、ミクロな世界での電磁気力は Maxwell 方程式ではなく場の量子論によって記述される。ある時刻の粒子の位置と速度を同時に指定できないなど、量子力学では私たちの直感とは異なった方法で自然界を記述している。この授業では、量子力学において系の状態をどのように記述するのか、またその状態の時間発展をどのように記述するのかなどの量子論の基礎を説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	統計物理学	福島 孝治	物理	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計物理学 多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例題(気体のボイルーシャルルの法則，強磁性の相転移現象，等)を解説する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51127	A	物理科学II（文科生）	和田 純夫	物理	月 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		物質の究極像を目指して ・・・素粒子物理学の歴史と展開				
授業の目標概要		物質は何から構成されているか、その最も基本的な構成粒子は何かという問題を扱うのが、素粒子物理学という学問です。原子というものの存在が確定したのが 20 世紀初頭でしたが、20 世紀全体を通してのその後の発展は目覚ましいものがありました。そして 20 世紀が終わり、標準理論と呼ばれる一つの到達点に達しました。この授業は、20 世紀以前の近代科学確立の部分から初めて、20 世紀の考え方のどこが新しいのか、それがどのように登場したのかを説明した上で、現在の到達点までをわかりやすく解説しようと思います。 数式は極力避けますが、粒子の質量など、数字は頻繁に登場します。予備知識は不要です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	化学平衡と反応速度	若杉 桂輔	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目		化学平衡と反応速度				
授業の目標概要		「化学平衡と反応速度」は、あらゆる物質に関わる化学反応を理解するうえで必須の学問である。本講義では、1S セメスターで学んだ化学熱力学または熱力学の基礎を踏まえ、「どのような場合に化学反応が自発的に起こるのか」「どれ位の速度で生成物ができるか」などについて基礎的事項を学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics				
授業の目標概要		化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50965	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス				
授業の目標概要		身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51418	A	物質・生命工学概論	野地 博行	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		つくるバイオ				
授業の目標概要		工学的視点からみたとき、バイオは自然による分子工学・分子システム工学の粋とみなすことができる。現在の工学では、生体分子に基づく機能性分子や分子システムが創出されている。また、細胞自体も機能性材料と見なすことができ、様々なデバイス・材料の開発が提案されている。本講義は、このようなバイオに対する工学的アプローチを解説することで、従来の分子生物学的視点からは学ぶことができない「モノづくりとしての生命科学」に触れることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51415	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	物質・生命工学概論					
授業の目標概要	本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。 物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、 生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。 本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51416	A	物質・生命工学基礎II	長汐 晃輔	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ナノ・機能マテリアル入門					
授業の目標概要	「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．この講義では，固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解する．そして，バンドギャップの考え方の大枠を捉えてもらい，0 と 1 を作っているトランジスタの動作原理を学ぶ予定である．どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する． 以下の項目を具体的な題材として議論したい． 高速トランジスタ，DVD，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，原子間力顕微鏡，半導体レーザ，等					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50203	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	進化学					
授業の目標概要	生物の研究には、生物を物質として還元的に解析する研究分野の他に、人も含めた生物同士あるいは生物と環境の関係性を研究する分野があり、進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。例えば、多様な生物はなぜどのように生まれて来たのか？男女の違いや、そもそも性はなぜ存在するのか？協力的な関係が成立するためには何が重要か？DNA と形質の多様性はどのように結びついて来たのか？といった疑問についての面白さを追求します。一般に進化学では"進化機構"と"進化史"が研究のための２つの柱と言われ、本授業はそれらの研究法とそこからわかった様々な知見について、色々な生物の例を具体的に挙げながら順次説明していきます。 １回１回の授業としては、進化学に関係する分野としての系統学、生態学、ゲーム理論、行動生物学、集団遺伝学、分子進化学などの項目を扱い、個別に楽しめる授業にします。また授業全体としては、(1)これまでの授業で学生さんから面白いと評価を受けた項目から授業を初め、中盤以降にそれら全体を総合する考え方の基盤について説明します。(2)理論的な意味で、進化をハーディー・ワインベルク平衡を崩す５つの要因と結びつけて考え、形質進化と分子進化の結びつける方法について説明していきます。(3)ウィルスの危険にさらされる昨今の状況を鑑み、寄生者と宿主のせめぎ合いを背景に、そこからゲノムの変異、自然選択の条件、生物地理、有性生殖の意義などを総合的に考える面白さについて説明します。 高等学校で生物を学ばなかった方にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し、解説を行う予定です。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたいと考えています。本授業を通じ、遺伝子-個体-集団から見た生物の面白さについて、進化学的に理解することを本授業の目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50291	A 1	現代生命科学I （文科生、理一生）	石丸 喜朗	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目		生命科学の基礎				
授業の目標概要		21 世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60017	A 2	現代生命科学II （文科生、理一生）	晝間 敬	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目		生物が周囲の環境とどのように会話して適応しているのか？				
授業の目標概要		ヒト、植物という一見異なる生物間を様々な切り口（特に周囲の環境との相互作用の視点）で比較し、その共通性・独自性の一端を学んでいく。それにより、生物の持つ普遍性と多様性を理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51439	A	分子生命科学	塩見 美喜子	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		分子から見た生命現象				
授業の目標概要		生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 5 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50888	A	惑星地球科学I(理科生)	小久保 英一郎 中本 泰史	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)				
授業の目標概要		太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50966	A	惑星地球科学II(理科生)	小河 正基	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		地球の気候変動				
授業の目標概要		近年、人為的な二酸化炭素の放出による地球温暖化が大きな問題となりつつある。この講義では、この問題の根本にある大気の温室効果や大気海洋大循環、エルニーニョに代表される気候の振動等の基礎的な解説を行った後、IPCC 報告書の内容について解説する。さらに、より長い時間スケールでの気候変動やそもそもなぜ地球では生命にとって都合の良い環境が維持されてきたのかについても解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51441	A	地球惑星環境学入門	狩野 彰宏	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／ Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth					
授業の目標概要	本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる 4 人の講師で解説する。なお 2021 年度はリモートのみの開講で Zoom を利用して講義をする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50292	A	宇宙科学I（理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	火 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	宇宙物理入門					
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50967	A	宇宙科学II（理科生）	廣田 朋也	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	電波観測を中心とした最新の天文学研究					
授業の目標概要	本講義では、主に電波天文学という観点から、天文学・宇宙物理学の基礎、天文学研究の最新の成果や将来計画について理解することを目標とする。 講義では、天文学・宇宙物理学の基礎から始まり、続いて電波天文学の観測手法や観測装置、将来計画を紹介する。現在日本が検討を進めている電波天文学の将来計画については、より詳しく説明をする。その後、最新の電波天文学研究の成果をもとに、現在までに明らかにされている天体や宇宙についての描像を解説する。特に、講師の専門分野である星・惑星形成、星間化学、アストロバイオロジ（宇宙生物学）の観測的研究について、最新の講師自身の研究成果も交えながら重点的に紹介する。また、超巨大ブラックホール撮像、重力波の発見、系外惑星の発見などを過去の講義でも取り上げたように、今年度も関連する天文学・宇宙物理学関連の最新ニュースがあれば、その都度タイムリーに講義で解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	惑星地球科学II（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	地球惑星科学概論 II					
授業の目標概要	地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	宇宙科学I（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	水 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	天文学・宇宙物理学の基礎的内容					
授業の目標概要	宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51431	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		微生物の世界				
授業の目標概要		微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51432	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅、伊藤 純一	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		植物の機能とその利用				
授業の目標概要		前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51433	A	応用動物科学II	堀本 泰介	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない				
授業の目標概要		高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、主に農学部獣医学専攻の教員が講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51434	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		海の生命科学				
授業の目標概要		水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚 類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。 水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとっ て、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な 形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題 達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の食への利用と生理調節作用、（2）海洋生物の有機化学、（3）海洋生物の生理、（4）海洋生物のゲノム科学、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50204	A	生物物理学	石原 秀至	統合自然科学科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生物物理学 ー実験から理論までー 生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51483	A	先進科学 II α	市橋　伯一	先進科学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論（アドバンスト理科） 「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？　いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？　どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？　そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためににも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を発表する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51484	A	先進科学IV α	加藤　英明	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	構造生命科学概論（アドバンスト理科 IV） 我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が眼で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起こっているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学（構造生命科学）である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。また、時間が許せば近年開発の進んでいるタンパク質構造予測についても紹介する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページに掲載する。				

総合科目 F（数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50711	A	数理科学概論I(文科生)	伊藤 健一	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50293	A	数理科学概論II(文科生)	權業 善範	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 II（文科生） 文科生向けの，行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが， 担当教員によって順序は異なることがある．この科目では「数学 II 」で扱う内容を前提とするが， 基礎科目「数学 I 」で扱う内容は前提としない． ただし，項目 3 においては「数学 I 」の関連する 内容を理解しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51414	A	数理工学入門	泉田 勇輝	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		数理工学入門 実現象の微分方程式による数理モデリングとシミュレーションは工学的問題の解決を目指す数理工学において重要な研究手法である．微分方程式による系のダイナミクスの記述は，力学系と呼ばれる数学理論として体系化されており，数理モデリングの際の必須の知識となっている．また，微分方程式が解析的に解けることはまれであり，シミュレーションが必須となるが，そのためには数値解析に基づく適切な実装が不可欠である．本講義では，微分方程式による数理モデリングと数値解析の基礎を様々な題材を通して学び，これらが互いに不可分の関係にあることを理解することを目標とする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50294	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50889	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	統計データ解析I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要　3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.
1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. パースペクティブビュー（透視投影）
5. レンダリング（色彩，テクスチャー，陰影）
6. アニメーション（機構の運動・表現）

成績評価方法　出席、レポート（実習課題）、および、期末課題によって評価する.

教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50057	月 2	柏原 賢二、三木 優彰	1 年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2 年 文科 理科
50082	月 3	三木 優彰、柏原 賢二	1 年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2 年 文科 理科
50240	火 2	横山 ゆりか、吉岡 陽介	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50348	火 3	吉岡 陽介、横山 ゆりか	1 年 文科 理一(10,15,21,26,32) 2 年 文科 理科
50603	水 3	金井 崇、谷田川 達也	1 年 文科 理一(5,11,14,23) 2 年 文科 理科
50629	水 4	谷田川 達也、金井 崇	1 年 文科 理一(8,22,24,27-29,33) 2 年 文科 理科
50693	木 1	奈尾 信英、山下 典理男	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50744	木 2	山下 典理男、奈尾 信英	1 年 文科 理一(13,18,34,38) 2 年 文科 理科
51005	金 3	田中 一郎、早川 大地	1 年 文科 理一(20,25,35) 2 年 文科 理科
51041	金 4	早川 大地、田中 一郎	1 年 文科 理一(1-4,9,31) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50205	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50712	A	基礎統計	河合 玲一郎	経済・統計	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	統計学入門					
授業の目標概要	本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化)、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	統計分析	松浦 峻	経済・統計	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	多変量解析の基礎					
授業の目標概要	本科目では、「基礎統計」を履修済みの学生あるいは同等の内容を修得済みの学生（例えば、「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第 8 章までの内容をひと通り理解しているなど）を対象に、多変量データに対する統計解析手法の基礎的な内容について講義を行う。回帰分析、判別分析、主成分分析、数量化III類、因子分析、正準相関分析、多次元尺度構成法などの基本的な多変量解析法を取り上げ、その数理的・統計学的構造を説明する。統計ソフトウェア R を用いた分析例も紹介する。多変量解析法の数理的構造を理解するうえで、ベクトル・行列などの線形代数に関する知識が必要になるため、適宜、補足を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50206	A	統計分析	倉田 博史	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	さまざまな確率・統計モデル					
授業の目標概要	本講義では基礎統計で学んだ統計手法の発展形として、「確率過程」と「回帰分析」の２つのトピックを扱う。 １．確率過程は、客の来店や車の往来など時間とともに変化する偶然現象の記述に用いられる確率モデルであり、自然科学・社会科学で広く応用されている。本講義では、その中でも最も基本的な「ポアソン過程」「再生過程」について学ぶ。 ２．回帰分析は、興味ある変数の変動を他の変数で説明することによって予測に役立てようとする統計手法であり、どの分野に進むにせよ、これに通じておくことが必要である。本講義では、標準的な回帰モデルについて説明した後、「系列相関モデル」「不均一分散モデル」「ポアソン回帰モデル」などのより進んだモデルについて解説する。					

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要

コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。
本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングをを通して習得することです。

成績評価方法

試験および演習課題の成績によって評価します。
試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。
なお、新型コロナウィルス感染症の流行状況によっては、定期試験を行わない可能性があります。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者(訳者)　森畑明昌
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062458-9

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50058	月 2	鵜川 始陽	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50145	月 4	山口 和紀	1 年 文科 理一(8,10,15,17) 2 年 文科 理科
50176	月 5	伊知地 宏	1 年 文科 理二三(4,8,12-17) 2 年 文科 理科
50239	火 2	丸山 一貴	1 年 文科 理一(12,14,20,23,26,32) 2 年 文科 理科
50295	火 2	萩谷 昌己	1 年 文科 2 年 文科 理科
50531	水 2	金子 知適	1 年 文科 理一(9,21,25) 2 年 文科 理科
50628	水 4	田中 哲朗	1 年 文科 理一(1-5,7) 2 年 文科 理科
50690	水 5	森畑 明昌	1 年 文科 2 年 文科 理科
50739	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(6,11,16,37) 2 年 文科 理科
50861	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,5-7,9-10) 2 年 文科 理科
50909	金 1	山口 泰	1 年 文科 理一(13,22,29-30,36,39) 2 年 文科 理科
50923	金 2	千葉 滋	1 年 文科 理二三(11,18-24) 2 年 文科 理科
51009	金 3	羽山 博	1 年 文科 理一(24,31,33) 2 年 文科 理科
51046	金 4	勝股 審也	1 年 文科 理一(19,34-35) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50360	A	計算機プログラミング	小林 浩二	情報・図形	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造 アルゴリズムとは「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてアルゴリズムを実行する際にデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。 そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に出会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。 そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51440	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プログラミング技法 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力 だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経るこ とが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提とし て、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面につい て講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51424	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報・システム工学概論 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51411	A	情報システム基礎II	三田 吉郎	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		わかる電子回路 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51408	A	情報システム基礎II	國吉 康夫	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロボット・AI・VR と人間 / Robots, AI, VR and Human 人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで，人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する，あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する．ロボット，ＡＩ，ＶＲの研究開発はいずれもこの方法論を共有し，相互に関連し，様々に融合しつつ発展している．これらの基本原理，人間との関係，最新の研究や応用，今後の方向性について，各分野の最先端研究を担う教員が解説する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51420	A	モデリングと シミュレーション基礎II	鳥海 不二夫	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
経済物理・金融情報学・計算社会科学

授業の目標概要
現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える．
※履修人数制限 20 人
※講義は集中講義にて行う．(2021 年 12 月 28 日(火),
29 日(水)を予定)
※受講希望者は 10 月 4 日(月)までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと
https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51364	A	社会を先導する化学システム工学	杉山 弘和	工学部	月 5	2	1 年 理科

授業の目標概要

化学システム工学科の教員が、持続可能社会を創るための化学を、基礎から分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。
【環境・エネルギー分野】
・計算化学から見た触媒と環境問題
・環境問題を解決するナノ空間材料
・触媒と未来のエネルギー
・超臨界からグリーンケミストリーへ
【医療分野】
・分子から見たバイオと未来医療
・Simulation for chemical/drug manufacturing
「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には化学システム工学科研究室見学会も企画します（参加は自由です)。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51337	A	グローバル・コモンズの管理とシステム転換	福士 謙介 川崎 昭如	未来ビジョン研究センター	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

・私達が暮らす地球は、これまで人類が住み慣れた「完新世」から全く未知の地質時代「人新世」に突入している。これは産業革命以降拡大してきた人間活動が地球環境に大きな負荷をかけ、近年それが急速に進行し、地球という人類の共通財産が危機にさらされていることを意味する。すなわち、これまで私達の繁栄を支えてきた安定的でレジリエントな地球システム（グローバル・コモンズ）の毀損という、未曽有の危機に私達は直面している。
・そうした認識から、東京大学では「地球という人類の共通財産を管理し次世代に引き継ぐための変革」および「持続可能な社会を地球容量の枠内で達成するためのシステム転換」をグリーントランスフォーメーション（GX）と位置づけ、それらの研究と実践を駆動するための新しい体制を作るとともに、地球と人類社会の未来に貢献する「知の協創」を担う人材の育成を目指している。
・具体的には、多様なステークホルダーとの対話と実践を通じて学知と協創を生み出すことにより、急速に変貌する世界の中で地球環境危機に立ち向かう知的基盤を自らの中に構築し、課題解決に向けて社会に対してリーダーシップを発揮する人材である。人類が抱える大きな課題に積極的に取り組む人材を育てることは、東京大学が社会から負託された使命である。
・本講義では、多様な学問に基づくＧＸについての総合知の習得を目的とする。さらに、東京大学の GX への取り組みについての課題演習に取り組むことで、地球規模課題を自分事として捉えるとともに、仲間との対話を通して課題解決に向けたリーダーシップと創造性を育むことを本講義では目指している。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51386	A	惑星科学のフロンティア	瀧川 晶	理学部	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう．そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また，太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて，太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する．

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51370	A	UT チャレンジャーズ・ギルド B	廣瀬 明 永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。

まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。

※受講人数：10 名

※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室 （ただし、今回はオンラインの予定です。）

受講を希望する学生は、廣瀬（ahirose@ee.t.u-tokyo.ac.jp） までメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選

ガイダンス/ Guidance：

合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う。

個別ガイダンスは 10 月 5 日 18：45 から行う。以下の Zoom リンクから参加のこと。

https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/236291390

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて

行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51285	A	Face to face：対面・表面・仮面	原 和之 白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【重要】大学の方針より、本講義の長さは 90 分とします。曜限は水曜日の 5 限（17：05～18：35）。

昨年からの新型コロナ禍によって、私たちは従来当然と思っていた様々な事柄を考え直すことを余儀なくされてきました。なかでも大きな変化であった、対面での活動への制限と急速なオンラインへの移行は、私たちに「Face（顔、面）」をめぐって多くの気づきをもたらしつつあります。これまで「対面」すなわち顔を合わせるということは、直接性、現実性、真実性もしくはライブ感の代名詞のように考えられていたわけですが、これを行わないという条件のもとで日常のさまざまな営みを見直すとき、我々は対面でできることとできないことの境界を改めて考えることから出発して、そもそも「対面」でわれわれは何をしているのか、「対面」が上記のような価値に結びつけられることにどのような根拠ないし前提があるのか、さらにはそもそもそうした対面な不可能な状況において、そうした価値はどのように実現されようとしてきたのか、等々の問いを問うよう導かれてゆきます。本講義では、文理の教員による「Face」の問題への多様なアプローチをオムニバス形式で提供することを通して、知やコミュニケーションなどの関係の条件としての「Face」の役割を切り出してゆきます。

【講義スケジュール】

9 月上旬に公開する予定

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51336	A	脳科学の基礎と研究の最前線	岡ノ谷 一夫	心理・教育学部会	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

脳科学は脳の仕組み（メカニズム）と働き（機能）を研究する学際領域である。このテーマ講義では、脳科学に関心のある教養学部前期課程の学生諸君を対象に、この分野の見取り図を示すと共に、その奥行きと魅力を伝え、脳科学への誘い（いざない）を目指している。

脳科学は比較的新興の学際領域であるため、伝統的な個々の学問分野ではとうていカバーしきれない。そこでこの講義では、教養学部生命・認知科学科、理化学研究所脳科学総合研究センター（理研 BSI）、総合文化研究科進化認知科学研究センターの各スタッフが、オムニバス形式で脳科学の全体像を描いてゆく。

具体的な下位分野のテーマとしては、電気生理学、神経解剖学（計測法を含む）、分子神経科学、認知神経科学（神経経済学を含む）、計算神経科学などを扱う。初学者向けの講義なので、文系諸君の受講も歓迎する。

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51344	A	現代の数学　ーその源泉とフロンティア ー	齋藤 秀司	数学	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。
高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51358	A	海研究のフロンティアII	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。
講義に関する追加情報は、以下に記載されます。
http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51284	A	放射線を科学的に理解する	鳥居 寛之	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　福島第一原子力発電所の事故から 10 年の節目が過ぎました。現地では、復興と帰還、そして廃炉に向けた取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、未だに社会的影響を与えています。昨今のコロナ感染症でも、科学的事実と社会活動とどう折り合いをつけるかで意見が分かれていますが、低線量放射線のリスクに関しては、そもそも科学的事実をどう認識するかによって様々な意見が対立し、メディアを賑わせて人々を混乱に陥れました。そして今、必ずしも人々の科学的リテラシーが向上したとは言えない状況の中、意識の風化が起きています。
放射線の問題を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律・社会学など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。放射線の基礎的知識に関する教育は十分とは言い難く、大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。
その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで震災以来毎年続けている講義が、主題科目「放射線を科学的に理解する」です。ゲスト講師も含めた様々な分野の専門家が、放射性核種や放射線の物理学的性質から生物学的・医学的影響やリスクの考え方、さらには環境汚染の社会的影響まで、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。
理科生を主な対象としますが、意欲のある文科生も歓迎します。教員一同、熱意あふれる分かりやすい講義を心がけており、履修生からは、理解が深まり役に立つ授業だったと、毎年高い評価を受けています。今年度は、対面講義とオンライン講義の同時併用での開講を予定しています（「授業の方法」の欄を参照してください）。多くの参加を期待しています。
★ 前半ガイダンス【鳥居・小豆川・渡邊】、後半【鳥居】放射線入門（放射線とは、身の周りの放射線）
★ 【鳥居：理学部】放射線物理学（放射性崩壊と放射能、放射線と物質の相互作用）
★ 【小豆川：教養化学】放射線計測学（放射線の測定原理・方法・問題点）
★ 【鳥居】放射線物理学・放射線化学（物質中でのエネルギー損失過程、放射線の単位）
★ 【渡邊：教養生命科学】放射線生物学（放射線の細胞および生体への影響）
★ 【小豆川】環境放射化学（放射線量の時間変化、放射性物質の濃縮と拡散）
★ 【坪倉正治：福島県立医科大学】被曝調査・医療支援（福島事故後の内部被曝の状況、現場での医療）
★ 【鳥居】原子核物理学（原子核模型と核構造、核崩壊と核分裂）
★ 【鳥居】原子力工学と原子力事故（原子力発電の原理、原子力事故、放射性廃棄物処理問題）
★ 【小豆川】環境放射化学（シミュレーションと将来の放射線量）
★ 【藤原徹：農学部応用生命化学】放射性物質汚染と農業（植物によるセシウムの吸収と輸送）
★ 【渡邊】放射線の利用（生命科学研究、育種、滅菌、工学応用など）
★ 【鳥居】加速器科学（人工の放射線）・放射線防護学（線量評価・リスクコミュニケーション）・まとめ
なお、以下の教科書はこの講義を元に執筆したものです。なくても分かるように講義しますが、授業の深い理解に役立つので是非お薦めします。

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51356	A	ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎	工学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのにいい機会になると考えられる。そこで、過去 40 年間のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。 本講義では、経営工学のベーシックな理論を中心に解説します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の応用事例を紹介します。取り上げるテーマは以下を予定しています。 ・生産管理 ・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント（SCM） ・品質管理 ・人的資源管理、行動科学 ・プロジェクトマネジメント ・マーケティング、需要予測 ・ファイナンス 学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。 ---------- ※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて 行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ----------						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51347	A	医科学研究最前線	中西 真	医科学研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（老化、疾患ゲノム解析、難治性感染症、マウス発生工学、ワクチン療法）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 ※開講日時:令和 2 年 12月11日（土）9:15～16:40、および 12月12日（日）9:30～16:40 <12月11日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) <12月13日> 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) ※開講は ZOOM を利用したオンラインで行う。 ※ガイダンスは本年度は行わない。						

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51376	A	スタートアップ・トレーニング（駒場）	杉上 雄紀 長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東大が企業人・スタートアップ関係者と企画・運営するソニー東大社会連携講座の一環で、
初めて講座に参加する 1，2 年生と現在講座でプロジェクト実施中の学生向けトレーニング。

1.5 時間×5 回のオンライン演習と、各自のやっている/やってみたいプロジェクトへの
相談会（メンタリング）への参加状況に応じて単位を提供する。
東大・藝大のインカレサークルと連携し、新潟などへの視察も検討中。
◆ガイダンスについて◆
個別の説明会
10/4(月) 17:00-18:00 スタートアップ・トレーニング説明会
https://us06web.zoom.us/j/82001607357?pwd=eUxXeDdJbFpMdE1qdVRsNmhaOWtDZz09
ミーティング ID: 820 0160 7357
パスコード: 035862
工学部の合同説明会
10/4(月) 18:45～ 5 分程度
個別の説明会の直後に開催 ここで個別説明会の録画 URL を共有

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51335	A	Agric. Scientists Studio Interview	高橋 伸一郎	農学部	月 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	皆さん、それぞれの科学者は、どのような経緯で、どのような研究をすることになったのでしょうか？また、それで何を実現し、どのような未来を描いているのでしょうか？本講義は、そんな疑問に応えるために、科学者にインタビューを試み、皆さんに、インタビュー記事を書いてもらい、science communicators としての新しい経験を積んでもらうことを目標としています。 本講義は、農学部広報室、One Earth Guardians（OGEs）育成プログラム、Amgen Biotech Experience（ABE）プログラムのメンバーが中心となって企画する講義です。本年度は、農学部の附属施設、そして農学部の教員や関係者から、インタビューを受けていただく方を選びます。それぞれの研究者インタビューや仕事の内容の調査を通じて、それぞれの方の過去、現在、未来をシェアし、これらをまとめて科学者としての 5WIH を記事にすることによって確認する、そして、これらを自分のこれからの道に生かしてもらうことを最終ゴールとしています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51339	A 1	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学部	月 1 木 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」（岩波新書、中公新書、ちくま新書など）は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51315	A	再生可能エネルギーと公共政策	有馬 純 宗像 直子	公共政策大学院	月 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	エネルギーは現代の産業社会を支える血液のような存在であり、各国の国家安全保障にも大きな影響を与える。他方で地球温暖化問題に代表されるようにエネルギー利用に伴う環境負荷の低減も大きな課題となっている。コロナにより世界のエネルギー需給をとりまく状況も大きく変化してきている。こうした中で環境負荷の小さい国産エネルギー源として再生可能エネルギーに対する期待値があがってきている。再生可能エネルギーのコスト低下が進んでいる一方で、間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も考えねばならない。本講座ではエネルギー問題、地球温暖化問題の全体論から再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてのバランスのとれた視点を提供することを目的とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51343	A	対称群の表現論	松本 久義	数学	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	群とは対称性を記述する数学的概念である。「対称群」とは有限集合における置換全体のなす群であるが、これは有限集合の対称性を表す基本的な概念ということになる。 「群の表現」とは群のいろいろな数学的対象における対称性としての現れ方を、線形代数を用いて記述することであるといえよう。この方法論は大きな成功をおさめ数学の多くの分野のみならず物理学などにも影響を及ぼす一大分野が形作られている。 対称群自体は一見単純なもの見えるが、表現を考えることにより極めて豊かな世界を垣間見ることができる。 このセミナーでは群についての簡単な解説から始めて対称群の表現論を目標とする講義を私が行う。聴衆としては数学あるいは数理物理の研究者を志望している学生を想定している。 この講義はオンラインで行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51359	A 1	The Value of Language - From Multilingualism to Technology (言語の価値 - 多言語主義から技術まで)	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI 川原 圭博	工学部	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	This seminar explores how language and language use creates and enables the exchange of value in the global society from the historical perspective to the 21st century digital era. We begin with an introduction to the history and philosophy of language, discuss how language shapes the way we think and interact, and how verbal and non-verbal communication influence how we perceive ourselves and other actors in our daily lives. We will then look at the role of language in the creation of economic and societal value, as well as explore the role of technological innovations, including machine translation, automated speech recognition and the Internet in general, that enable and enhance value creation through mediating and transforming language use. This seminar will also introduce guest speakers from the field of language training, and covers aspects of multilingualism in modern business environments. ---------- ※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて 行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ----------					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51287	A	「オープン教材」をつくろう！	中澤 明子	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	インターネットには、さまざまな教材（テキストや動画など）があふれています。また自分で教材を作成して公開することも容易になっています。 「オープン教材」は、インターネットで公開されている、大学や個人などが作成した誰でも自由に使える教材のことです。なぜこのような教材がインターネットで公開されるようになったのでしょうか。そして、わかりやすい教材を作るには、どのような点に気をつけ、どのように作成すればよいのでしょうか。 本授業の目的は、オープン教材やその背景となるオープンエデュケーション（教育のオープン化）、教材設計の理論・方法について理解することです。また、それらの知識をより深く理解するため、オープンエデュケーションやオープン教材について学べ、インターネットで誰でも自由に使えることを想定した教材（オープン教材）を作成します。そして、作成した教材を実際にウェブサイトで公開することを目指します。さらに、一連の授業を通じて教育・学習のあり方についても考えます。 なお、本授業で扱う教材設計の理論・方法は、教材だけでなく授業づくりや日常生活における「教える」ことにも役立ちます。オープンエデュケーションや教材づくりだけでなく、「教える」ことについても学ぶことができます。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. オープンエデュケーションやオープン教材の定義を説明できる 2. オープンエデュケーションやオープン教材の事例を列挙できる 3. 教材設計の理論と手順、注意点を説明できる 4. グループで教材を設計できる 5. グループで教材を作成できる 6. 教材設計の理論に基づいて他者の教材を評価できる					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51303	A	ICT は教育をどう変えるか：教育を個別最適化する	坂口 菊恵 橋田 浩一	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、小・中・高の GIGA スクール構想は前倒して進められ、大学でのオンライン授業やハイブリッド授業も通常運用されるようになり、日本においても教育の ICT 化はようやく進み始めたように見受けられます。しかしながら、これらの取り組みの目的は単に「コンピューターを使って教育を行う」ということではありません。各学習者の履歴や特性を把握して、それぞれに合った教育プログラムを提供する、ということが目されており、デジタル機器はそのためのログを蓄積するツールとしての役割が期待されています。 教育データの活用により、個々人の学習進度に合わせたコンテンツを提供することや達成度評価の方法が転換することが、直近の利点として挙げられます。さらに、学校に来ることができなかったり、あるいは認知に特性がある子どもに対してその能力を最大限に活かす教育プログラムを設計することが目標としてあげられます。また、居住地域に依存せずに高度な教育を受ける機会を提供することにより、地域格差の解消や、海外を含む遠隔地を巻き込んだ体験学習を行うといった取り組みにも ICT は活用されています。 さらに、教育をポスト情報化社会を生き抜くための認知能力を高める機会と考えるならば、従来の教育アセスメント法のみならず、学習者の脳活動などの生理データを利用して学習効率を高めていく可能性についても注目が高まっています。 本講義では、個別最適化教育や ICT を活用した教育実践をされているゲストスピーカーをお招きし、将来のベストプラクティスを模索します。個人によるデータ管理のあり方や、脳機能計測の教育利用の可能性を知るために、データ取得や分析も体験します。 主にオンラインで講義を行いますが、数回の対面授業を予定しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51298	A	「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲	教養教育高度化機構	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	時間と空間を超越し、普遍性を追求し、多様性を受け入れ、 学問分野を自由に横断するという、日常生活の中にある茶碗から私たちの挑戦。 普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則および、最新の知見と関係していることが見えてくる。 オムニバス形式で行う本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点とし、その追体験、加えて寺田が文中で言及しなかった器としての茶碗や湯（お茶）に関連する考察・講義を実演を交えながら試みる。寺田寅彦的思考、学際的な研究、独創的な研究、実社会問題の発見や解決と密接に関係しうる研究とはどんなものか問いかける講義もある。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来し、さまざまな視点・観点から知の獲得と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供する。今セメスターは、対面とオンライン授業の両方にて開講する。文科学生の履修を歓迎する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51305	A	Road to 2050 環境と経済の好循環に向けて	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	地球温暖化の主因と考えられる温室効果ガスの約 9 割は二酸化炭素が占めており、その排出源の殆どはエネルギー由来である。このため、世界では「カーボンニュートラル＝脱炭素社会」の実現に向けて、エネルギー分野において産業革命以来最大ともいえる変革の波が押し寄せている。わが国でも、2020 年 10 月、菅義偉総理大臣は国会における所信表明演説で、「2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。」と述べ、続けて「もはや、温暖化への対応は経済成長の制約ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が必要です。鍵となるのは、次世代型太陽電池、カーボンリサイクルをはじめとした、革新的なイノベーションです。」とし、国がカーボンニュートラルに向けた取組みを強力に後押しすることを表明している。その具体策として、2020 年 12 月に経済産業省から、2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略が発表されたが、その全てはエネルギー関連技術に基づく産業に関わるものである。本ゼミナールでは、持続可能な社会の構築に向けて、環境と経済の好循環を実現するための 2050 年に向けた分野横断的なアプローチを議論する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51289	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成II	星埜 守之 中村 長史	教養教育高度化機構	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。 そこで、この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際問題の構造や原因を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1, 2 で評価】 ⑤国際問題の解決策・管理策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート 1, 2 で評価】					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51346	A	無限次元ヒルベルト空間の初歩を学ぶ	下村 明洋	数学	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	教養学部前期課程 1 年生対象の線型代数学で，線型空間（更に，計量線型空間（内積空間））について学習すると思われる．線型代数学で学ぶ線型空間は，次元によらずに導入される概念を除いて，殆どが有限次元の場合である．この授業では，無限次元ヒルベルト空間（或いは，もう少し一般に，無限次元バナッハ空間）の初歩について，それに関する基礎的な文献を受講生が輪講形式で発表する事によって学ぶ．無限次元のヒルベルト空間やバナッハ空間とそれらに於ける線型作用素の理論は，関数解析と呼ばれる分野であり，フーリエ解析，関数空間論，偏微分方程式論，確率論等を学ぶ際に必須であると考えられる．関数解析は，解析学（微分積分学を発展させた分野）の範疇に属する．現代の解析学では，無限次元の関数空間の知見が不可欠と考えられる．また，量子力学は，数学的には可分な無限次元ヒルベルト空間の枠組みで定式化される．無限次元の有用性や有限次元との違い（難しさ）を理解するのが目標である．この科目では，受講生による日本語での発表形式で行うので，関数解析の内容の理解とともに，発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする． この科目の履修には，極限や関数列の一様収束等の厳密な微分積分学の基礎と，学部 1 年レベルの線型代数学の基礎を理解している事が前提である．前期課程科目である事から，ルベーグ積分論の理解までは仮定しない．2 年生を想定して開講しているが，1 年生でも前提とする能力があれば受講可能である． この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので，履修希望者が多数の場合には，選抜を行う事がある．詳しくは第 1 回の授業で説明するので，この科目の履修を検討している人は必ず第 1 回の授業に出席すること．					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51352	A	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	ポスト・セリエリズム、偶然性、ポスト・ミニマリズム、スペクトラル・コンダクティング、構造音色など、過去 40 年ほどの重要な音楽思考上の新展開を体系だって検討しなおし、新たな表現の可能性を具体的に探る						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51384	A	考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF＝World Bridge Federation）には１００か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグ1部に参加経験のある上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A	外食産業理論とその実際	河崎 妙子	学生による全学自由研究ゼミナール	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	実際の飲食店づくりのノウハウを学び、経営者としての実践的考察を行う。外食産業の歴史、企業構造や用語を学ぶこともできる。外部講師やビデオ等を使った授業も実施。概論だけでなく実例を挙げながらの授業なので、実践的な力を付けることができる。後半の授業では実践的な作業を伴うので、必要とされる店舗企画書が作成できるようになる。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51293	A	教育格差 入門―みんなで議論して新書をつくる	高橋 史子	教養教育高度化機構	火 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	【重要事項】 本授業の履修を検討している方は、事前に行うガイダンスへの参加が必須となります。 ガイダンスの詳細は、社会連携部門ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/courses/education/）に９月中に掲載しますので、必ずご確認ください。 【概要】 本人が変えることのできない「生まれ」（家の経済状況や暮らしむき、保護者の職業、地域、家族形態、ジェンダー、エスニシティなど）によってその人の学力や学歴などに差がうまれることを「教育格差」と呼びます。本授業では、「教育格差」を切り口に、教育が社会とどのように関わっているか、学校は教育格差にどのような影響を及ぼしているか、教育格差という観点でみると教師や保護者はどのような存在か、ジェンダーやエスニシティは格差とどのように関係しているのか、部活動や特別活動における格差などについて学びます。また、非行や不登校、いじめなどのいわゆる「教育問題」に対する見方や背景についても理解を深めることを目標にします。 履修生のみなさんには、授業の前にあらかじめ教科書（『現場で使える教育社会学：教職のための「教育格差」入門』）の該当章を読み、疑問点や感想などを準備してきてもらいます。各回の授業は教科書該当章の執筆者が担当します。教科書の内容を短く確認した上で、疑問点の共有や意見交換、理解を深めるための議論を中心に授業を進めます。回によっては、教育政策関係者、学校教員、教育系の NPO スタッフなどのゲストを招き、政策・教育現場での具体的なお話などもまじえて議論を深めていきます。 ◎こういう方に履修してもらいたい ・「教育格差」や格差という言葉は聞いたことがあるけれど、まだ勉強したことがないのでこの機会にじっくり学んでみたい ・「教育格差」の何が問題なのか疑問があり意見交換してみたい ・将来教育に関わる仕事がしたいので「教育格差」や教育と社会との関わりについて学んでおきたい ・講義スタイルではなく、教科書や参考文献を読み、自分の考えをまとめ議論する授業に参加したい という方 また、本授業は内容に関するみなさんの疑問、意見、議論内容をもとに本をつくる予定があります。本の編集や出版に関心のある方もぜひご参加ください。詳細はガイダンスにて説明をします。 【目標】 ・教育格差に関する社会学の基本的な概念や理論について理解する ・教育と社会の関わりについて、データに基づいて批判的に論じることができる						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51382	A	2050 年の地球と人類社会――分野横断的なアプローチを通して The Earth and Human Society – Interdisciplinary Perspectives	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本授業は東京大学国際高等研究所東京カレッジの研究テーマ「2050 年の地球と人類社会」に基づいて行われます。デジタル化の衝撃・環境の危機・人文知の将来・生や命の未来など、現在の人類社会が直面している重大な課題に取り組むために、受講者が総合的かつ分野横断的な考え方を身に付け発展させることを目標とします。これらの地球規模の課題の解決に、あなたは、東京大学は、そして日本は、一体どのように貢献できるのか、一緒に考えてみましょう。 【学びの目標】 ▶ 日本と人類社会が直面している課題について基礎的な知識と理解を得ること ▶ 分野横断的な研究の必要性を知り、その特徴を理解すること ▶ 様々な研究分野のアプローチを用いて諸課題を分析し、自分自身の批判的立場を確立すること ▶ 地球規模の課題への日本の貢献の可能性について検討し、評価すること This seminar builds on the theme of “Tokyo College” to enable you to develop an integrated and interdisciplinary perspective on some of the pressing challenges confronting human society: the impact of digitalization, environmental crises, the future of humanistic knowledge, and life and its value for the future society. It encourages you to reflect on the question how you, the University of Tokyo and Japan can contribute to the solution of these global issues.After successfully completing this course, you will •have a basic understanding of some of the key challenges faced by Japan and global society •be aware of the need for interdisciplinary research and its characteristics •be able to analyze issues from different disciplinary perspectives and develop your own critical standpoint •be able to debate and evaluate Japan’s potential to contribute to the solution of global issues					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51282	A	禅と室町文化の史料に触れる	川本 慎自	史料編纂所	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	いわゆる典型的な「日本文化」とされるもののうち、庭園や水墨画といった室町時代に端を発するものは、「禅」に由来するといった説明をされることがしばしばあります。では、なぜ「禅」がそのような文化を生みだすことができたのか、と問われれば、的確に答えることができるでしょうか。この授業では、ヒントを得ることができそうな中世の史料を、学生の皆さんと一緒に実際に読んでみることによって、その答えに近づくお手伝いをしたいと思います。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51283	A	オスマン帝国史研究ゼミナール	秋葉 淳	東洋文化研究所	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	オスマン帝国は南東ヨーロッパ、中東、北アフリカに跨がる広大な領域を長期にわたって支配した国家として、世界史上重要な存在である。日本は世界的に見てオスマン帝国史研究がさかんな国の一つであり、特に近年、日本語で読める本格的な研究書が多く刊行された。そこでこの授業では、オスマン帝国史の研究書を何冊か実際に読んで、歴史研究の面白さを味わっていただくことを主眼とする。 本授業の目標は、専門書を読み、オスマン帝国の歴史に対する理解を深めることである。また、歴史学上の問題群や、歴史研究のアプローチの方法や視点を学ぶことも目標である。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51291	A	SDGs とその先へ： アジアのフィールドで問う 未来のかたち	永田 淳嗣 原 裕太	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】

本授業は地理学を専門とし，農山村でフィールドワークを行う教員 2 名が開講する。

SDGs が国連総会で採択されてから早 6 年が経過し，世の中でもよく取り上げられるようになった。一方で，本来の理念はあまり浸透していないのが実情である。SDGs の主文にあたる「2030 アジェンダ」では，自然環境と調和した社会を目指すこと，一人一人の潜在能力を最大限引き出せる，誰一人取り残さない未来を目指すことが最も重視されている。それとともに，それぞれの目標を不可分なものと位置づけ，幅広い視野で多角的，分野横断的に物事を考えることも，SDGs の重要な考え方である。

本講義では以上の理念を踏まえ，世界が抱える，気候変動，自然災害，環境汚染，貧困・格差，感染症の拡大，社会対立といった重大な問題を，とくに日本を含むアジアに焦点を当てて総合的に考える。

環境問題・社会問題は，既存の教科や研究領域を大きく越えて相互に複雑に結びついている。ある問題への改善策が，別の問題を引き起こしてしまうこともある。つまり，限られた研究領域や狭い空間範囲，短い時間スケールだけにとらわれていては，課題解決がうまく進まない，場合によっては決定的な誤りを生む可能性さえある，ということである。ぜひ，それぞれの専門分野に進む前に，分野横断的に考える視点を獲得してもらいたい。それが本講義の大きな目的の一つである。SDGs の制度的課題や限界性，よりよい枠組みについても議論したい。

また授業と並行して，履修者には各自の視点で東大のサステイナビリティ（自然環境との共生，インクルージョン，ダイバーシティの尊重等）を評価し，改善に向けた具体的な提案を考えもらう。授業終盤には発表の機会を設ける（具体的な方法は，COVID-19 の状況および履修者の数等により決定する）。メンバー全員での意見交換も行う予定である。持続可能な社会を実現する上で，政策立案や研究開発，事業活動を通じた関与だけが重要なのではない。同時に，自己や身近な周囲，所属集団について見つめ直し，改善のアクションへ繋げることも不可欠である。授業で学んだ知見を活かし，学生の目線で，私たちが所属する東大のいまを評価してもらいたい。優れた提言については，教養学部 SDGs 教育推進プラットフォーム等で共有し，今後の教育研究や運営面の改善に活用するつもりである。レポートは自身が発表した内容をまとめることとする。なお，当該ワークでは，学術情報の収集，見やすい資料の作成，データ表現法についても随時サポートし，分野横断的なコミュニケーションのための基礎的スキルの習得を目指す。

【到達目標】

1．「持続可能な発展（Sustainable Development）」や SDGs の理念についての理解を深める

2．自然環境や人間社会に関わる諸要素の知識を用いて，各地域の環境問題・社会問題に多角的にアプローチできるようになる。

3．自然環境に関わる視点から，日本とアジアの社会，歴史，文化を理解する。

4．中国や外部講師の調査地域を事例に，様々な環境問題・社会問題の現状と対策を知り，とくに発展途上国・新興国における問題の複雑性について理解する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51296	A	私たちが今ほしい未来を提言（調査編） ―同世代が、どのような野望・期待・懸念を社会に持っているか、調査しよう	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】

2006 年 3 月 22 日に「just setting up my twttr」という世界最初のツイートが Twitter 創業者の 1 人ジャック・ドーシー氏によって投稿されました。このツイートは、2021 年 3 月に NFT（非代替性トークン）で競売にかけられた結果、約 3 億円で落札されており、現在の Twitter の市場価値の高さがうかがえます。令和元年の総務省の調査によると日本での Twitter 利用率は 38.7%。なかでも 10～20 代は約 7 割が利用しており、皆さんの生活に欠かせないソーシャルメディアの 1 つではないでしょうか。

また、インターネットをする上で必要なのがスマートフォンです。スマートフォンの始まりは、1992 年に IBM 社が開発したタッチスクリーン式の携帯式電話「Simon」コンセプトモデルと言われてますが、2007 年 Apple から「初代 iPhone」が投入されたことによって爆発的に流行しました。当時 CEO を務めていたスティーブ・ジョブズ氏による「初代 iPhone」の発表プレゼンテーションは、今でも伝説的に語り継がれています。

更に、今では当たり前の e コマースですが、その草分け的な存在である Amazon は、オンライン書店としてアメリカで創業し、2000 年 11 月に日本語サイトをオープンしました。2001 年以降、取扱商品は「音楽」「DVD」「ビデオ」「ゲーム」「エレクトロニクス」「ホーム&キッチン」などにも拡充し、2002 年 11 月に出店型の販売形式として「Amazon マーケットプレイス」を開始し、直販と出店型の 2 つのビジネスで急成長を遂げます。

さて、皆さんはお気づきでしょうか？生活に欠かせないこれらのツール・サービスはいずれも 2000 年代 に登場しており、約 15～20 年間も使われているのです。当時の生活や価値観から生まれたものを、今も使っていることに違和感を覚える人もいるのではないでしょうか。

特に 10～20 代の方は、これらのツール・サービスが作られたのは出生～幼少期で、当時の生活や価値観を知りません。物心ついてから当たり前のようにあったツール・サービスですが、大学生になった今、「こうだったら良いのにな！」と、自分の生活・価値観にもっとフィットしてほしいと思う瞬間があると思います。

2000 年代と今では、ビジネスも大きく変化しています。例えば、AI やブロックチェーン、クラウドなど、新しいテクノロジーの台頭により、「未来を変えるスピード」が加速しています。数年前までは「5 年後の未来を予測する」というコンサルティングが可能でしたが、今では「1 年後の未来も予測がつかない」ということが常識です。

また社会の関心も「個」から「全体」へと移ってきています。企業は、「独り勝ちすれば良い」から、「レスポンシブル・カンパニーとしての責務を果たす」ことが重視され、エコシステムを形成しながら、SDGs の取り組みをはじめグローバル全体の社会課題を解決し、サステナビリティなビジネスを行うために変革することが求められています。

2000 年代とは大きく変化した社会において、皆さんは今どのような生活・価値観を持っており、どのようなことに「こうだったら良いのにな！」を感じるでしょうか。またこれから社会を支える世代として、今のビジネスや社会動向を学んだ時、どのような野望・期待・懸念を持つでしょうか。

皆さんが漠然と抱いている考えや思いを「見える化」すると、社会にどのような価値を提供したいかという「今ほしい未来」が見えてきます。そして「今ほしい未来」を実現するためには、必要なツール・サービスを考えて具現化することが必要です。

「今ほしい未来」を描いて実現することは、今のビジネスで求められているスキルです。言うは易く行うは難しの典型例ですが、考え方や進め方のコツを掴めれば、誰でも考えることが出来ます。

世界有数の総合コンサルティング/IT サービス企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきたアクセンチュアの経験と実績を活かして、本授業では、初学者を対象に、アクセンチュアの現役コンサルタントと共に、「今ほしい未来を提言する」ことを調査編、提言編の 2 段階で、実践形式で学ぶことを目的としています。

2021 年 A セメスターでは調査編として、社会やビジネスの最新動向をインプットにして、同世代の生活・価値観を調査。デザインシンキングで、「やりたいこと」のアイディエーションを行い、ストーリーテリングを活用した発表を行います。

※提言編は、2022 年 S セメスターにて開講予定で、調査編の「アイディエーション」をもとに PoC（実証実験）を通じて具体的なソリューションに落とし込みます。

プログラムデザイン：アクセンチュア株式会社

コーディネーター：髙橋 史子　東京大学教養学部附属教養教育高度化機構社会連携部門 特任講師

【目標】

・同世代がどのような行動様式・価値観を持っているか仮説を立てられるようになる
・インタビュー設計、ペルソナ作成やペインポイントの洗い出しの方法を習得する
・デザインシンキングを活用して、アイデアを見える化する方法を習得する
・ストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）をもとに人を説得する技術を学び、発表する
・社会にどのような価値を提供したいか考えた上で、「今ほしい未来」を描く

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51320	A	国際政治・経済・社会の変容とメディア	高山 博	文学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国外のメディアから出される情報を検討しながら、現代世界のグローバル化を考察する。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。 最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。 選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、9 月 28 日 24 時までに私のメールアドレス(tkymh1@l.u-tokyo.ac.jp)に添付ファイルで送付すること。※@の前は数字の 1（いち）、@の後はアルファベットの小文字 l（エル） ※履修人数を 18 名に制限する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51341	A	トポロジーと微分方程式	古田 幹雄	数学	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	自然界を記述する基礎方程式は基本的に微分方程式の形に表されると考えられている。微分方程式の解の性質が、トポロジーによって規定される現象が広く知られている。この現象の根底の理解を目標とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51348	A	財政を真剣に考える	増井 良啓	法学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	少子高齢化や、経済の低成長、急速なデジタル化、コロナ渦対策など、現代社会の抱える課題が複合的に作用して、日本の財政は大変なことになっています。そして財政の危機は、私たちの暮らしに大きなインパクトを与えずにはすみません。 ＊このゼミでは、まず導入として歴史を振り返り、１００年前のウィーンで租税国家の危機を論じたシュンペーターの取り組みを追体験しましょう。第一級の古典を読む貴重な経験になりますし、法・政治・経済のダイナミックなからみあいを理解することにつながります。 ＊それから、法学部を卒業して現在いろいろな立場で財政の問題に取り組んでいる多彩なゲストをお呼びします。ミニ・シンポジウムのような形で、濃密に対話したいと思います。 ＊しかるのち、参加者の関心に応じたトピックを設定して、全員で議論しましょう。トピックの立て方は相談しながら徐々に確定していきます。たとえば、社会保障負担が増えることで将来世代がどういう状況に置かれるか。なぜ日本で消費税増税がこれほど嫌われるか。超金融緩和の下で国債を発行するとはどういうことか。地方自治体の財布は誰が握っているか。米中欧など外国の財政はいまどうなってきているか。こういった具合に、調査のやりがいがあり、かつ、リサーチ能力を高めるのに役立つトピックをいくつか自由に設定できればいいと思います。 ゼミ担当者は法学部で「租税法」を担当しています。法律家の立場から助言し、伴走します。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51354	A	「経済安全保障」をめぐるビジネス・政治・法 ～最前線の話題を一次資料によって検証する～	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現代のビジネスは、激動の中にある。
冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。
いまや、この基調が大きく変わろうとしている。それは何より、自由と民主主義を標榜する米国や同盟諸国が、中国の覇権に対して懸念を強めつつあることによる。グローバル化という長年の潮流も逆転する兆しが出てきている。いまや、「国境の復活」こそが時代のキーワードだと言ってよい。
担当教員（玉井克哉）は知的財産法・行政法を専攻する法学者であるが、この急激な変化を日々感じている。そして、そのかなりの部分が法的な面での変化として表れる。これは学問研究の対象であるのと同時に、関係する知識を着実に獲得する修練を経ておくことは、知的な生活を送るためには必須のスキルである。
演習という授業形式は、わが帝国大学が範としたベルリン大学（1810 年創立）において、その実質的な創設者だったヴィルヘルム・フォン・フンボルトが始めたものである。学生と教師が、ともに学問共同体に所属するという立場から、一定の文書に書かれた意味を厳密に探求しようとするという点では、手法を共通にしている。なお、フンボルトの唱えた「教養」の理念を自らの理念として戦後に発足したのが教養学部であり、全学自由研究ゼミナールというのは、フンボルトの理念を体現する存在である。この演習は、その伝統を強く意識しつつ開講される。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51369	A	新たな EdTech を提案しよう	吉田 塁	工学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

本授業では，工学の教育への応用について学生が理解を深めることを目的に，EdTech（教育において活用する技術）や学習に関する知識を獲得し，最終的には自分たちになりに考えた新たな EdTech をプロトタイプと合わせて提案をしてもらいます．
授業は 2 部構成で，第 1 部「学習・教育に関する基礎知識を得る」では，EdTech に関する知識に加えて，学習観，アクティブラーニング，モチベーション，評価など学習に関する基礎知識と教育を提供する側である教員に関する基礎知識を学んでもらいます．その際，ただ話を聞く受動的な学習だけではなく，グループワークなどアクティブラーニングを交えて知識を獲得してもらいます．また，それぞれのトピックに合わせた EdTech のあり方についても検討してもらうことで，自分たちが開発・提案したい EdTech のイメージも持ってもらえるようにします．
第 2 部「EdTech を開発・提案する」では，まず既存の EdTech を各自簡単に調べてきてもらいクラス内で共有し，EdTech のイメージをより明確化して，各学生にアイデアを考えてもらいます．そのアイデアをベースにグループ分けを行い，プロトタイプを作ってもらい，中間発表，最終発表を行ってもらいます．ここで，グループではなく個人で取り組むことも許容します．また，プロトタイプを作ることから得られる学びは大きいため，実際に動作しないもの（モック）であっても良いので，プロトタイプを作ることは必須にします．できる人は，システムを組んでもらっても良いですし，最近はプログラミングなし（ノーコード）で開発することもできるので，そのようなサービスを活用してもらっても構いません．あまり推奨しませんが，最も簡単なプロトタイプ例としては PowerPoint でシステムの画面イメージを作るものが挙げられます．
ここで，プログラミングの内容について授業する予定はないため，システムを動作する形で実装したい場合は，事前にそのような知識を学んでもらうか，授業と並行して勉強してもらえればと思います．細かなサポートはできませんが，参考情報を提示し，必要に応じてアドバイスはする予定です．
本授業では，学生と教員の対話，学生同士の対話から学べることが多いと考えるため，ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングで学ぶ機会を多く作ります．
また，本授業は，学部 1，2 年生向け授業「全学自由研究ゼミナール 新たな EdTech を提案しよう」，学部 3，4 年生向け授業「創造的ものづくりプロジェクトII EdTech プロジェクト」，大学院生向け「創造性工学プロジェクトII EdTech プロジェクト」として開講するため，学部学生から博士学生まで幅広く受講できます．学年が異なる学生との交流の場としても機能させたいと考えていますので，EdTech をキーワードに横と縦のつながりを作ってもらえればと思います．
そして，本授業は，HACK THE CAMPUS の関連講義となっています．詳しくは HACK THE CAMPUS の Web ページ（https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/hack-the-campus/）をご覧ください．

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	ベルカント研究ゼミナール	夏目 張安	学生による全学自由研究ゼミナール	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	イタリア、ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、イタリア古典歌曲を課題曲として、息に乗せた透明感のある美しい声と輝きに満ちた広がりのある声、表現豊かな歌唱力を身につける。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51290	A	国際紛争ケースブックをつくろう	星埜 守之 中村 長史	教養教育高度化機構	木 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。例えば、国際紛争の発生や激化を防ぐには、どうすればよいのでしょうか。 そこで、この授業では、複数の国際紛争（例：旧ユーゴスラビア、ソマリア、ルワンダ、コンゴ、東ティモール、アフガニスタン、イラク、ダルフール、リビア、シリア、コートディボワール）の経緯や構図、原因等について調査し、最終的にケースブックを作成することを目指します。その過程で、ある国際紛争に対する見方は決して一様ではないことに気づき、できる限り客観的に各紛争を捉えるための方法を習得します。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際紛争に関する資料・文献を適切に収集できる【成果物で評価】 ②国際紛争の経緯を説明できる【成果物で評価】 ③国際紛争の構図を説明できる【成果物で評価】 ④国際紛争が発生・激化の原因を説明できる【成果物で評価】 ⑤国際紛争の発生・激化を防ぐ策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【成果物で評価】						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51313	A	地震火山史料を読む	加納 靖之	地震火山史料連携研究機構	木 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。 この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、加納靖之（地震研究所）が担当します。 【目標】 ・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51383	A	２１世紀の言語と人生 Life and Language in the 21st Century	FACIUS Michael	東京カレッジ	木 2	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

私たちは、息をするのと同じくらい自然に言語を話しながら生活しています。しかし、日常生活からメディア、政治に至るまで、ありとあらゆる場面で言語は私たちの生活に大きな影響を与えているのです。この授業では、言語と社会とのつながりについて、東京カレッジの３つの研究テーマ（「内から見た日本、外から見た日本」、「2050 年の人文学」、「デジタル革命と人類の未来」）と関連づけながら学びます。そして、言語学という分野を通して、多国籍、多言語社会への取り組み、人文科学の未来など、２１世紀の世界に不可欠な様々なトピックについて話し合いましょう。

【学びの目標】

▶ 現在世界中の言語学者がどの問題について議論しているのかを理解すること
▶ 言語学、社会言語学、認知言語学の概念と用語の基本的的なレベルで理解すること
▶ 学際的な視点から言語に関連するローカルおよびグローバルな問題を議論することができますこと
▶ あなた自身の分野で言語の特徴と言語の問題について議論することができること

We often use language like air – without even realizing it is there. However, from everyday life to media and politics, it is difficult to overstate how powerful language can be. In this seminar, we will explore the connection between language and life through the lens of three of the research themes of Tokyo College: Japan Viewed from Inside and Outside, Humanities in 2050, and the Digital Revolution and Future of Humanity. With linguistics as our anchor, we will consider a variety of topics, including linguistic diversity, transnationalism, and the future of humanistic thought.

After successfully completing this course, you will

•understand what topics are discussed by linguist today all over the world
•have a basic understanding of concepts and terminology of general linguistics, sociolinguistics and cognitive linguistics
•be able to discuss local and global issues related to language from the interdisciplinary point of view
•be able to discuss features of language and linguistic issues in your own discipline

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51297	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養教育高度化機構	木 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

（オンラインで開講予定です）

2015 年、国連で 193 カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」。SDGs は、2016 年から 2030 年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰一人取り残さない（Leaving no one behind）」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。

国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBTI 等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困をはじめとする様々な開発上・心理上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBTI、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。

2021 年度 A1 ターム「国連とインクルージョン」では、「誰一人取り残さない」ことや「インクルージョン」をメインテーマに、「精神保健・心理社会的ウェルビーイング」と「精神障害・知的障害のある人のインクルージョン」を具体例として検討する。また、苦しい立場にある人への「こころのケア」についても学ぶ。

SDGs では、「精神保健・心理社会的ウェルビーイング」が初めて国際の優先事項として含まれた他、5 つの目標が障害に言及しており、今後の開発・人権を考える上で重要な分野である。中でも、感情や心のウェルビーイング、精神障害・知的障害は目に見えにくく、スティグマや偏見も強いため、周辺化されやすい。開発途上国では、精神・知的障害者に対する殺人や暴力等が多く見られる他、閉鎖施設等で鎖に繋がれる等、重篤な人権侵害が後をたたない。一方で、4 人に 1 人が精神疾患を経験し、OECD によると精神疾患による経済的コストは GDP の 4%以上である。また、世界銀行と WHO は、精神保健に対する 1 ドルの投資は、3 ドルの利益を生むとしている。また、心理的応急処置（PFA）等、一人ひとりがこころのケアのためにできる手法も確立されてきている。

国連では、2006 年に障害者権利条約が採択され、批准国においては精神・知的障害も含む障害者のインクルージョンが法的義務となった他、SDGs や仙台防災枠組でも優先事項に含まれた。しかし、これらの実施をめぐっては、差別的態度を含む社会的障壁、身体拘束や強制入院、重度の障害や認知症を持っている人々の意思決定や社会参加、精神障害者や知的障害者のアクセシビリティーの確保方法、予算・人材確保等をめぐり、難しい課題が多い。

本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から世界と現場の状況を学びつつ、心のウェルビーイングと多様性をめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51300	A	こまとちゃんゼミナール ～駒場図書館で学ぶ大学生のための情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。 また講義や図書館見学などを通して、図書館という施設や制度自体についての理解も深めることが目指されます。 学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。 駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期 2 週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51304	A	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	--この授業はオンラインで実施する-- ソ連崩壊後に誕生した国々の多くはソ連の負の遺産を抱えたままで、それぞれの国内事情や国際環境等に応じた速度と程度で民主化・資本主義化の道を、（前向きであれ後ろ向きであれ）進んでいる。15 か国の道のりは一様でなく、また、平坦ではありえない。 この授業では、新興ドナー国として存在感を高めつつあり、また、ソ連時代の核実験被害を背景に核軍縮分野で国際的なリーダーシップを発揮しようとしているカザフスタンと、国連総会で承認された唯一の永世中立国トルクメニスタンをとりあげる。とくに国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目標 16 にてらして、カザフスタンとトルクメニスタンの内政および外交を検討する。 ＊この授業は、A2 タームの集中講義として行われる国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」の事前準備を兼ねる。この国際研修に参加したい者は必ず初回ガイダンスに参加し、この授業に履修登録すること。 ＊中央アジアや開発、軍縮など授業内容に関心のある学生であれば、国際研修に参加しない者の履修も歓迎する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51351	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51353	A	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミは教養学部の方針に沿って、40 人以下の受講生であることを前提に対面で行いますが、希望する学生には、それぞれの事情に応じてオンラインで参加することも可能とします。説明会は第１週にオンラインで配信します(１７：００zoom 開放。１７：１５くらいから開始)。なお、授業前にオンラインでの講義棟がある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで講義を視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンライン講義等を受講した上で、対面のゼミに参加して下さい。
牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。
URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg です。説明会当日は、Q&A を中心に進めます。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。
また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。
今年で９年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの課題です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。例年恒例だったゼミ終了後のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えます。すでの多くの修了生がいますが、冬休みには OB・OG も参加する合宿（オンライン等で実施することを現段階では想定しています）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。
※受講人数：あらかじめ制限はしない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51380	A	『世界開発報告』を読む	森川 想	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。
※本演習は、現地での参加・オンライン参加の双方で受講可能です。第 1 週については、教養学部の指示により、オンラインで実施します。初回参加できなかった方もガイダンスしますので随時ジョインしてください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	日本の医療の光と影	土谷 良樹	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

東京大学教養学部へ、ようこそ。君たちは『医療』の社会性について考察したことはあるだろうか？高騰する医療費問題。脳死臓器移植や透析差し控えのような医療倫理。世界に冠たる先進国日本にある障がい者差別。働き過ぎが命を奪う過労死。福島原発事故により生業（なりわい）を奪われた人々の暮らし。HIV 感染症のスティグマ。君たちが医学の道に進むかどうかとは無関係に、我が国におけるこういった様々の医療関連問題について、レクチャーで知識を得た上で、学生同士ディスカッションを行って考えていく。日本の医療の光と影は、学生の希望により開かれる全学自由研究ゼミナールであり、この駒場キャンパスにおいて１０年間にわたって開催し続けている、少人数制の自主ゼミである。今期は、過労死の未来、医療を営利化する、ワクチンと公衆衛生の３つのテーマで、医療を通して日本社会を概観し、自らがどのような立場で何を行うのかを考えていく。参加するのに知識は必要ないが、医療と社会への興味関心は必要である。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	ボーカロイド音楽論	鮎川 ぱて	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

ボカロ P で音楽評論家の鮎川ぱてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、近年のボカロ流行現象の本質、ひいては音楽自体の本質に迫ろうというものです。

講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による”うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。

最初に「シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、アンチ・ラブソング、とまでは言わないまでも、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲が人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。

主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。私は、一本学出身者としてこの理念に共感する者です。狭義のアカデミシャンではないゆえに可能なある種の知的蛮勇として、前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。

開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の 3 つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場的実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。

ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。

初音ミクが発表されて 14 年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知らず（本ゼミからもたくさんのボカロ P が誕生しました）、昨年から何度目かのボカロ大流行が始まっています。そして、出会いばかりでなく、別れもありました。本学における本講義には、必ず弔わなければいけない作家がいます。

ボカロが好きな人。音楽が好きな人。かつてボカロが好きだった人。批評やジェンダー論に興味がある人。どの立場の人も主役です。科類は問いません。「感覚を思考の俎上にあげること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51456	A	古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司 露木 聡	農学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることを目的としている。

10 月 7 日開講

毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。また、10 月から 12 月まで各月 1 回ずつ土曜日に学外での集中講義を行う。詳しい講義の進め方、内容、講義日と休講日、集中講義の内容等については第 1 回の講義の際に説明する。

なお、本講義は基本的に対面で行う予定であるが、第 1 回目の講義はガイダンスを兼ねているのでオンラインで行う。また、COVID-19 対策として履修者の上限を 10 名とし、履修希望者が多数の場合は抽選とする。

※履修人数制限 １０名

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51288	A	働きがいやジェンダーを考える	星埜 守之 伊勢坊 綾	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2015 年の国連総会で採択された持続可能な開発目標（SDGs）では 17 の目標が定められていますが、日本は、「5. ジェンダー平等を実現する」の中でも、政治経済活動への女性の参画に課題が多いことが指摘されており、社会としてその達成が求められています。また、「8. 働きがいも経済成長も」は、一億総活躍や働き方改革など「働きがいのある人間らしい仕事」とは何かを働く個人がそれぞれ考えるための大切な目標となっています。これから社会に出ていく学生の皆さんがこれらを自分自身の問題だと認識し、対峙していくこととなるでしょう。

この授業は、2021 年 S セメスターで開講された「SDGs を学べる授業をつくろう」で扱う「働きがい」や「ジェンダー」の課題についての文献を読み、ディスカッションを行うことを通じて、自分自身の学びを深めることを目指します。

この授業を受講することで、以下の力を身につけることを目標とします

・SDGs で設定されている 17 のゴールのうち「5.ジェンダー平等を実現する」「8.働きがいも経済成長も」について、説明できる

・発表を担当する課題文献の内容を理解し、他者に説明でき、課題文献の論点を明示できる

・異なる意見や考えを持つ他者から学び、自分の意見や考えを発展させることができる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51295	A	Multicultural Japan: Global & Transnational Sociology	高橋 史子	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

“Sociology has traditionally worked with the nation-states as its main unit of analysis. However, recent world-wide developments made it necessary to advance existing sociological methods to understand increasingly transnational and global levels of social reality” (European Sociological Association).

This course explores how globalization and transnationalism affect the Japanese society, focusing on the transnational mobility of people, in other words, migration. We will explore the experiences of migrants and try to understand how ethnicity and nationalism are affecting their lives, as well as gender and social class.

Immigrants in the nation-states are often treated unequally in various fields such as politics, economies, education, etc. In the time of Covid-19, the gap between the immigrants and the majority may further widen in terms of the provision of information, medical care, education, etc. In this course, we will also pay attention to such recent situations.

【Expected Outcomes】

・The aim of this course is to learn the basic concepts and theories in the field of transnational sociology such as ethnicity, nationalism, migration, integration, equality, inclusion/exclusion etc. and discuss them in class to improve understanding.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51301	A 1	企画を創る ～実践から学ぶ教養としての アートマネージメント	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

芸術と社会をつなぐ役割を担うアートマネジメントには、多岐にわたる能力が求められます。中でも企画力は、コロナ禍の社会においては、リモート等の新たな形態の可能性を検討しつつ、イベント実施の意義そのものをいっそう明確に提示する必要がある為、今後さらに重要となっていく能力であると考えられます。そして、企画を考えるプロセスとは、社会と芸術との関係のみならず、それらと自分自身との繋がりをも俯瞰しつつ、興味と関心を掘り下げて行く必要のある、まさに「教養」の問われる知的営為とも言えるでしょう。
本授業は、社会の一線で企画づくりに携わって来たプロフェッショナルを講師に迎え、実体験に基づくレクチャーの他、様々なワークショップを通して企画に必要な批判的思考を学びます。最終成果発表では、グループ毎に企画を立案し、企画書の作成・ブラッシュアップからプレゼンテーションまでを行います。以上の様な実践を通して「企画を創る」ことを共に考え学び、これからの時代の「教養」としての企画力を身に付けることが、本授業の目標となります。
●ゲスト講師紹介
鐘ケ江織代 （アートマネージャー、コーディネーター、リサーチャー）
パレイドリアン代表。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、京都コンサートホールの各事業課を経て、トーキョーワンダーサイト（現トーキョーアーツアンドスペース）では「若手のための現代音楽企画ゼミ」を企画するなど、コンサートやワークショップの企画・制作、若手クリエーターの育成・支援事業等に携わる。
竹田 綾夏（企業研修講師、ダイバーシティスペシャリスト）
株式会社 Mirary 代表取締役。台湾系移民三世として幼少期より多様性に触れる。異文化理解、社会学、マイノリティ研究のため渡米。LGBTQ 当事者など多様な人達と 6 年間過ごし、米国ルイジアナ州や東南アジアでの現地調査を実施。米国オクラホマ州立大学で非常勤講師として多国籍の学部留学生向け講義を担当。帰国後 MBA 取得。ダイバーシティ & インクルージョンに関する企業研修、ファシリテーション、国際会議司会、講演等を実施。元外務省総合外交政策局女性参画推進室調査員。
山本和智（作曲家・プロデューサー）
独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範にわたり、2006 年モリナーリ国際作曲賞第 1 位(カナダ)、2007 年 AIC / Mostly Modern 国際作曲コンクール第 1 位(アイルランド)、2009 年度武満徹作曲賞第 2 位、2010 年第 5 回 JFC 作曲賞、2011 年 TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL- SOUND, ART & PERFORMANCE vol.7 奨励賞受賞など。2020 年にはサントリーサマーフェスティバルにてオーケストラ作品の新作を初演。2009 年より『特殊音樂祭』をプロデュースする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51350	A	競争法入門	白石 忠志	法学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

一つの専門分野を探究した経験があると、次に別の専門分野に取り組む際の方法や理解枠組みが自分の中で進化します。
このゼミは、競争法（独禁法の国際的通称）を素材とし、2 単位のゼミで可能な範囲で一つの専門分野を深く経験してみることを目標とします。競争法や他の法分野の事前知識は不要です。
最初の 5 回程度は、日本語資料で基礎を理解したうえで、英語の入門書を抜粋して読みます。その後の 6 回程度は、競争法に関するいくつかの最近の話題について理解し考察します。英語資料も日本語資料もあり得ます。
参加者は、毎回、割当て部分について説明し、他の参加者の説明に対しても能動的に会話に参加することが期待されます。それぞれの参加者は、1 月上旬頃を締切として、ゼミで扱った任意のテーマに関する 2800 字程度の論文または 5 分程度の動画を作成して提出します。
参加を希望する学生はなるべく受け入れ、対面でもオンラインでも参加できる形態とします。感染状況によっては、全面オンラインとなるかもしれません。
10 月 8 日（金）の第 1 回に、全面オンラインでガイダンスを行います。この日に必ず参加してください。第 1 回の日までの最新情報は、ITC-LMS のこの授業の「オンライン授業情報」に書きます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51316	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	坂田 一郎 芳川 恒志	公共政策大学院	金 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現在、新型コロナ感染症は依然医療のみならず私たちの生活や働き方、産業や経済など多方面に大きな影響を与えています。ひるがえって、この感染症が猛威を振るう前には、私たちは、比較的には「豊かで安心できる」社会に生きていると思ってたのではないでしょうか。しかしながら、日本における超少子高齢化、生産年齢人口の減少や財政赤字、グローバルにはエネルギーや温暖化をめぐる問題、米中の対立の先鋭化、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような環境下、これまで享受してきた「豊かさ」や「安心」は、もはや自明なものではありません。他方で、AI、バイオテクノロジー、新素材、量子コンピュータなどの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。
本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、①激動する国際社会の動向、②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など、新型コロナ感染症が政策の様々な分野に及ぼす影響のみならず私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。
本講義を通じ、以下の３点を身につけていただくことができると考えています。
１）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿
２）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること
３）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割
文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60214	A 2	エネルギー基礎論	堤 敦司	教養教育高度化機構	金 4 金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

化石エネルギーの大量消費により地球温暖化が進行しており、CO2 排出量を削減し地球温暖化を防止することは最重要課題となっており、CO2 排出量を 1/10 まで低減する必要があると言われている。これには従来の温暖化対策では不十分で、エネルギー消費量そのものを 1/10 にすることが必要と考えられる。
エネルギーは熱力学第一法則で保存されていることはよく理解されている。すなわち、エネルギーは「消費」できないもの、使っても使っても決して減らないもののはずである。しかし、実際は、人類は膨大な化石エネルギーを「消費」しており、地球環境問題などを引き起こしている。この矛盾は、どう理解すれば良いのか？この講義では、まずこの疑問に答えるべく、エクセルギー、アネルギー、エクセルギー破壊、エクセルギー再生、といったエネルギー科学技術の最新の基本理論を学び、現代のエネルギー生産・利用における科学技術を体系的に学習し、その問題点を明らかにしていく。そして、エネルギー消費量を 1/10 にする技術体系の可能性について考察し、持続可能な社会を構築する具体的なエネルギー技術戦略について議論する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51286	A	未来の学びを考える	中澤 明子	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

小学校から大学まで、教育・学習を取り巻く状況は日々変化しています。2000 年以降、大学では「アクティブラーニング」や「国際化」などの取り組みが多く行われるようになりました。また初等中等教育（小学・中学・高等学校）でも、「アクティブラーニング」や「GIGA スクール構想」などの取り組みが行われています。それでは、未来の学びはどうなるのでしょうか。
本授業の目的は、教育・学習について過去や現在の状況を理解した上で、未来の学びがどうなるかを自分なりに考えることです。また、その過程において、自分たちの教育・学習経験をふり返り、理論や概念と紐づけて位置づけます。それらを踏まえて、最終的には個人あるいはグループで考えた「未来の学び」を発表・共有します。
・授業の目標
授業を通じて、次のことを達成します。
1. 教育・学習に関する理論や定義について説明できる
2. 過去や現在の教育・学習に関するトピックや事例を列挙できる
3. 自分の教育・学習経験を、理論や事例と関連づけて示せる
4. 教育・学習の理論や事例を踏まえ、自分なりの未来（10 年後を想定）の学びのあり方を示せる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51294	A	教養学部生のための キャリア教室	高橋 史子	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、高度情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。 ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などから多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、ゲストへ質問する時間や、受講生同士で議論する時間、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、積極的に参加することが期待されます。 すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけど実際どうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。 過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/）で確認することができます。 授業関連図書：標葉靖子、岡本佳子、中村優希編『東大キャリア教室で 1 年生に伝えている大切なこと：変化を生きる１３の流儀』東京大学出版会, 2019 年					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51312	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	菅谷 佑樹	医学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	主に駒場の 2 年生を対象とし（1 年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。今年度は Zoom による開講を予定している。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51381	A	新モビリティから考えるスマートシティ ～技術・政策・ビジネスの実践へ向けて～	大口 敬 森川 想	工学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	近年、世界中で様々な新しい技術の導入により都市やそこでの暮らしを「スマートシティ」にしていく流れが見られる。本ゼミナールは「モビリティ」の視点から、スマートシティを工学、政策・制度・法律、ビジネス、社会など多角的な視点から理解し、問題意識を深める。 新しいモビリティとはただソフトウェアや新しい車両の技術を導入することではなく、サプライチェーン及び生活基盤の前提を変えることである。物の動きや人の活動を支えること、そしてその前後の過程まで見直すことが、モビリティを考える上でも重要である。つまり、いわゆる車両の技術や移動の効率化を中心とする「交通分野」に限らず、「人」や「物」への課題意識や複雑な社会システム全体に対する総合知が必要となる。 本ゼミナールを通じて、この新しい領域によって広がる世の中の可能性や得られる新しい世界観を参加者で共有し、多角的な視点から「モビリティ」そして「スマートシティ」について考え方と理解を深めたい。 具体的には、実務でモビリティ等スマートシティ関連事業に取り組む民間企業の担当者や学問を通じて取り組む専門家を招待して話題提供頂くとともに、参加者同士でディスカッションやグループワークを行う。なお、希望者に向けた現場の視察や長期休み中のインターンシップ等も検討する予定である。 ---------- ※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて 行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ----------					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り、人権を学び考える－	笠置 裕亮	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

当ゼミは、１９９２年度以来川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て、当ゼミの出身者笠置裕亮弁護士が担当する。中川素充弁護士（当ゼミＯＢ）も協力する。
人権問題を考えるにあたって大切なのは、社会の実態をよく知ることである。A セメスターのテーマとしては、メディア、司法、国際、戦争などを予定している。
文１は勿論、文２・文３・理１・理２・理３の学生も歓迎する。
このゼミでは、授業時間帯以外にフィールドワークを実施している。事件現場、ＮＧＯ、法律事務所、官公庁、企業、労働組合、裁判所、少年院、刑務所、テレビ局、新聞社、病院などに出向き、様々な当事者、専門家、弁護士、医師、公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。
これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降、土日祝日に実施）は、今学期を通じて１５回以上実施予定だが、いずれかを選択して、計２回以上参加すること。 今学期は，新型コロナウイルス感染症対策のため，オンラインを活用したフィールドワークも実施する。
金曜５限の授業では、１０月～１１月は講義形式を中心にし、１２月～１月はテーマ班ごとに、授業やフィールドワークで学んだことをまとめて、書面または口頭で学生発表する。
※ガイダンスは１０月８日５限（第一回授業時）にオンラインにておこなう。 Zoom への入室方法は、下記 URL をクリックすること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51460	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之 高橋 英海	地域文化研究専攻	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の目的】
この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。
【到達目標】
目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。
目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。
目標③ 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。
目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。
目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。
目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51292	A	ピアチューター・トレーニング ー学びを支援するしくみとやり方ー	椿本 弥生	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

この授業は、オンラインで行います。オンデマンド形式（約 12 週間のうちの都合がよい時間帯に個別学習）とリアルタイム形式（1 月 22(土)※予定／1 日間）の、ブレンド型集中講義です。
この講義のガイダンスは、10 月 5 日（火）2 限に Zoom で実施します。Zoom URL は「オンライン授業内容」に掲載しています。
■概要
2020 年の S セメスターから、東京大学でもオンライン授業が始まりました。オンライン環境下で、TA（ティーチング・アシスタント）の重要性や、教員・学生からの需要は、対面授業のとき以上に高まっています。TA が受講生の学習を支援することは、高等教育の質を保証し高めるためにとても重要です。学生が学生を教えることには、教える側にも教わる側にもさまざまな学習効果があることが多くの研究で指摘されています。授業で TA として活躍したり、TA に助けられたりした経験から、効果を実感したことがある人も多いことでしょう。
しかしながら、せっかく TA になってもうまく活躍する方法がわからなかったり、授業でどのように TA を活用すればよいかわからなかったりする人もまた多いのではないでしょうか。
この授業は、２つのパートに分かれています。最初の「ナレッジセッション」では、学習者を効果的に支援するための理論や具体的な方法を学びます。次の「スキルセッション」では、ナレッジセッションで学んだことを、実際の教室やオンライン環境で具体的に活用する方法を学びます。
２つのパートを学習することで、うまく教えるだけではなく、うまく教わることもできるようになることでしょう。
教えるための知識と技術や学びの支援に興味がある人の参加をお待ちしています。
■授業の目的
学習支援に関する重要な理論や教育実践方法を、受講生同士で学び合いながら獲得します。これをとおして、学習支援の知識とスキルを高めつづける態度を育成することを目指します。
■到達目標
上記の目的を達成するために、以下の目標を設定します。
・学習支援者に求められる行動を 5 つ以上説明できる
・学習支援に必要な理論や教育実践方法を知ることができる
・事例に理論を応用し、効果的な学習支援の方法を考えることができる
・グループワークに積極的に参加し、仲間の意見を聴き思考を深める重要性や効果を知ることができる
・よりよい学習支援を行うために学び続けることができる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51299	A	生活史聞き書き実習	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
・講義題目：生活史聞き書き実習
・授業の目標、概要
生活史の聞き書きとは 1 人の人間の生い立ちや経験について語ってもらい、その内容を丁寧に聞き取り、書き留めることである。生活史はライフストーリー、ライフヒストリー、オーラルヒストリーなどとも呼ばれる。とりわけ社会的マイノリティを対象とするとき、生活史調査はその効力を発揮する。それはマイノリティに関するデータや声は文献資料や公的な調査の中にはほとんど現れず、現れたとしても文献作成者や公的機関の価値観が過重に投影されていることが多いからである。それに対して生活史調査は当事者に直接語ってもらうことにより、マイノリティの小さな声、個人の主体性を孕んだ声を汲み取ることができる。
当然、記録されない小さな声、個人の主体性に満ちた声はマイノリティの声だけではない。実際、私たちの周囲で日々生活を送る、ごく普通の人たちのほとんどの声は、記録されることがない。しかし、ごく普通の人びとの声の中には多くの経験が織り込まれており、私たちにとって多くの学びを可能とする。
この授業では、私たちの周りの普通の人びとの声──生活史に耳を傾けることで、他者に対する関心及び想像力を培い、理解を深めること、そして他者の経験を通して彼・彼女ら・私たちの生きる世界を考えることを目的とする。
授業の進め方については、前半は生活史調査に基づいた文献や担当教員の作品を読みながら、生活史の聞き取り方法や聞き取りの内容を作品化する方法を解説する。後半では、前半の座学で修得した方法をもとに、実際に生活史の聞き書きを実践してもらう。なお実践部分についてはコロナウイルスの感染情況に鑑み、履修者と相談しながら、具体的な方法や課題内容を指定する。
講義日程及び詳細についてはガイダンス時に説明する。
＊開講場所：オンライン講義
＊ガイダンス（オンライン）
日時：2021 年 10 月 8 日（金）17：05～17：35

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51302	A	ブランドデザインスタジオ 24「『リスク』からブランドを創る」	真船 文隆 宮澤 正憲 山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて
『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/
●今期のテーマについて
社会学者ウルリッヒ・ベックは、「人々の生活に豊かさをもたらす産業技術の発展と同時に、様々なリスクが生み出される社会」を、“リスク社会”と呼び、私たちが生きる現代社会の特徴として論じています。
新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの従来の生活様式がいかに“リスク”をはらんだものであるかをまざまざと感じる出来事になりました。たとえば毎年発生している水害、たとえば東京オリンピックの準備や運営をめぐって生じた様々な問題、たとえば突発的に個人に降りかかる煽り運転や隣人と騒音トラブル、…。私たちはさまざまな“リスク”がそこここに存在する、先の見えない不確実な世界を生きているように感じます。
今回のブランドデザインスタジオは、探求を行うとさまざまな発見がありそうな「リスク」という概念をテーマとして取り上げ、「リスク」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。 参加いただく皆さんには、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据え、多様なリサーチや議論を通じて、「リスク」を多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、未来に向けて生活者が抱える課題や期待する価値を深掘りし、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「リスク」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなど、アイデアは自由に発想してください。チームで協力し、「リスク」とは何なのか、「リスク」と付き合いながら私たちはどのように生活や人生をつくっていくのか、「リスク」を考え対処し行動していくことにどんな可能性があるのかを探求してください。そして、それを起点にしてどのような新しいブランドが創りうるのかを世に問うていただきたいと思います。
本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51314	A	ミュオグラフィと諸科学の連携による海域・地下・宇宙におけるテーマ開拓 Looking for new research subjects in the field of marine, underground and planetary sciences in collaboration with muography	田中 宏幸	国際ミュオグラフィ連携研究機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		火山、ピラミッド、原発などの透視に成果を上げてきた巨大物体の透視技術「ミュオグラフィ」はこれまで陸域それも地表の観測に限られてきた。本全学自由研究ゼミナールでは、海洋、資源、宇宙惑星理工学分野における専門家が地下、海域、宇宙において既存の観測技術における課題を洗い出す。そしてミュオグラフィを今後どのような価値ある形で海域、地下、宇宙の透視へとつなげていけるのかについて以下の３つの観点から集中的に議論する。（１）海洋センシングの分野においては、近年，衛星測位工学を空間中から海底に拡張する技術（GNSS-A），光ファイバで海中・海底情報を収集する技術（海底観測網や DAS）の発達により，高度な海洋・海底情報を収集することができるようになった．しかし，現状の観測技術は時空間的な観測範囲の制約が未だ大きい．より時空間的に連続な海洋情報を取得する方法は 21 世紀の海洋観測工学が推し進めなければならない技術課題である．こういった背景を踏まえ，ミュオグラフィによる海洋観測の新展開の可能性について議論する．（２）石油天然ガス資源の探査ターゲットは、大深度化・複雑化・小規模化へ年々移行しており、技術革新がますます必要な状況である。ミュオグラフィと既存手法である弾性波探査を組み合わせることにより拓かれるパラダイムを紹介するとともに東京湾下に存在する天然ガス探査の可能性及び温暖化ガスのリスク評価について議論する。（３）二酸化炭素地中貯留（CCS）は、地球温暖化緩和策として期待されている技術の 1 つであるが、安全で確実な二酸化炭素の隔離のためには地中の二酸化炭素の挙動を管理・制御する必要があり、そのためにはモデリングとモニタリングの双方が連携して地中で起こっていることを推定する必要がある。既存の様々な技術の概略を紹介するとともに、それに加えてミュオグラフィを活用することで、どのような展開が期待されるか考える。（４）医療分野ではレントゲン写真や MRI 映像等の医療画像の機械学習による自動診断技術の開発が進んでいる。本講義では医療画像の機械学習の最先端を紹介するとともに、ミュオグラフィ画像の機械学習による火山診断技術についても考察する。（５）惑星探査については宇宙ミュージアム TeNQ 無料見学会として将来の惑星探査への応用を考える 。更に、大規模ミュオグラフィ画像データの共有や機会学習、上記の諸科学とミュオグラフィとの連携によって得られる横断的知見を研究者同士や研究者と社会との間で最大限に理活用していくために必要な技術的課題についても議論を深める。そのために、これまで東京大学の諸分野と社会との接続に大きな役割を果たして来た総合研究博物館のデジタルアーカイブ技術とミュオグラフィとの連携を実現するための（６）大規模ストレージ開発の歴史と技術について解説する。ストレージの基礎的な仕組みから始まり、RAID(Redundant Arrays of Inexpensive Disks)という技術。google や facebook など、EXA バイト級のビックデータを管理する最近のトレンド、イレージャーコーディングの技術を紹介する。また、今では、インターネットは生活に浸透しているが、そもそも、インターネットはどの様にして動いているのか。リライアブル通信技術、輻輳制御といった基礎技術の紹介と、IoT などの最近のネットワーク技術のトレンドを紹介する。 Muography, the novel imaging technique to visualize gigantic objects such as volcanoes, pyramids, and nuclear reactors, has been restricted to its performance on the ground. In this seminar, the experts in the fields of marine, natural resource and planetary scientists will clarify the restrictions in the current observation techniques, and will extensively discuss the following topics to address how muography can be applied to benefit their fields. (1) In the field of ocean sensing technologies, it is now possible to collect marine and ocean floor information with GNSS-A and DAS. However, the spatiotemporal windows of these techniques are still limited. (2) The target of the oil and natural gas resources are deepened, more complicated, and down-sized, and more technological developments are required. （３）Controlling and safe operation of carbon capture and storage (CCS）could be an essential technique for realizing the carbon neutral society. In this lecture, the current CCS techniques will be introduced and muographic applications to CCS will be discussed. (4) In the field of medical science, the techniques of machine learning of medical images have been highly developed. In this lecture, the recent trend of medical machine learning will be introduced and its possible application to muographic diagnosis of active volcanoes will be discussed. (3) Planetary sciences. Furthermore, in order to realize sharing and machine learning large-sized muographic data, and to utilize the muographic results between researchers and/or researchers and society in the valuable way, (4) large-sized storage and networking technologies will be discussed.					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51317	A	駒場すずかんゼミナール 『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

爛熟期を迎えた19世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。

「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記の Facebook ページにて確認してほしい。

2021 年度 S セメスターでは《オクシモロン》と《雫》というテーマを始点として、いのちの境界がその張りつめた極限において凝集し対立的な二項を超えて現出する必然的な一点に向き合うことを通じて、個々のゼミ生が各々の問題意識に引きつけながらより遠くより広い、新たなる地平への跳躍を試みた。

今年度 A セメスターのテーマは《モンタージュ》と《白》である。「異質な時間を持つショット同士の邂逅、衝突により新たな流れとリズムを生み出し、それらを絶え間なく変容させる技法」と「あらゆる可能性を受け入れる自由の素地でありながら他の一切を拒むという必然的な矛盾を抱えた、すべての始原でありかつ光の凝集としての終点」という二つは、異質なもの同士の衝突と断絶の連鎖、その内にある自由の相剋と空疎が明るみとなる現代において格好の切り口となろう。そのために動員する知は分野を問わない。

本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。

※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19〜21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。

※過去の選考課題、その他の詳細は Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51318	A	海のアジア：東南アジアと付き合う	山口 健介 木村 伸吾	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミの大きな目標は、下に示す3点です。これらの目標を達成するために、「海のアジア」の歴史に注目します。なぜ「海」か。それはこの地域のあり方を定めてきたのが、「海」に他ならないからです。こうした見方を深めてきた「海域アジア」論に学問的知見を求めます。

（1）東南アジア地域の政治、経済、歴史を概観すること、

（2）踏まえて、近年の中国の海洋進出について理解を深めること、

（3）そのうえで、東南アジア地域との付き合い方を考えること。

他方で、各回をリードするのは、経済産業省や海上保安庁の実務者です。地域についても理論についても、特に前提知識は問わず、ともに学んでいければと思います。特に年末に予定している海上保安大学校（呉市）でのエクスカーションは、貴重な機会になるかもしれません。受講生には積極的な授業参加を通じて、自分なりに学びを深めてもらいたいと思います。

評価は、出席点と最終報告（グループ）で行い、希望者にはレポート提出を認めます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51321	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する	大杉 美穂	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。
研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。
統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。
生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。
担当教員と研究テーマ：
大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学
道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどのように関わるか

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51322	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute,
UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。
過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
道上 達男: 胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
小林 徹也: 生体情報処理や自己複製過程を数理とデータから考える(駒場 II キャンパス)
市橋 伯一: 培養可能な最小の生物を探してみよう
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究
杉村 薫: 多細胞パターン形成を物理と統計の眼で理解する(統計解析もしくは実験研究)
最新の情報は以下を参照。http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UBI/education.html

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51323	A	伊豆に学ぶプラス 「感じる・考える・行動する」サイクルの発動 南伊豆で SDG s を考える	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この自由研究ゼミは一部分を対面で実施します。
この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。
この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の事前講義と事後講義を企画することである。その背景に、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。
本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51324	A	獣害問題とは何の問題か（自由自主の企画系伊豆に学ぶ）	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

獣害問題に詳しい人向けのゼミではありません。獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまうという、普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミです。
ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を学園祭に作ることを一つの具体的な目標とします。
本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
しかし、新型コロナ禍にあって、従前のスタイルで学園祭にて演示することができなくなりました。２０２１年Ａセメスタも「新型コロナ時代版」として、獣害問題と向き合う機会を提供します。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」という話を耳にすることがあります。オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？問題はそれほど単純ではないと思われます。オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないと考えるのは合理的ではありません。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させているというとても重要な気付きを得られたと思います。ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないかも知れません。
答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。
新型コロナ禍により宿泊を伴う実習がままならない状況にあります。
本ゼミでは日帰りで、南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けてみます。せっかくなので手作りイノシシソーセージを試食していただきましょう。従来は、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」によってゆっくりと向き合う時間を取ってきました。本ゼミではその一部分だけ掻い摘んで体験してもらいます。
さて、前述した様に、このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
A セメスタ開始後すぐに駒場祭（１１／２１－２３）があります。駒場祭ではゼミの先人が用意してくれ企画に乗っていただきます。君たちの本番は次の五月祭です。
2022 年の五月祭企画を好きなように創作していきましょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51325	A	チョコレートはお好き？ 外来種は？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

・チョコレートは好きだけど外来種は嫌いだと思った方は、ある意味で矛盾を抱えていることを意識してください。
・・本自由研究ゼミは、従前のゼミと異なる「新型コロナ時代版」にリニューアルしてお届けします。
【注意】この自由研究ゼミは一部分を対面で実施します。
【注意】対面講義当日までの２週間に体調不良があった場合には参加できません。日程調整が可能である場合に限り、後日の追加実施を検討しますが、救済措置を確約するものではないことをご承知おきください。
【注意】新型コロナウイルスの感染状況次第では不開講となる可能性があります。合わせてご承知おきください。
【注目ください！】チョコレート作りから学ぶべきことがあると言っても、ぼんやりとチョコレートを作ってみたところで何も学んだことにならないのかもしれません。おそらく、大学生として何を学ぶことができるのかとゼミを通して探ってゆく姿勢が必要です。ただチョコレート作り体験をしてそれで終わりというつもりの方には、このゼミは不向きでしょう。
【本ゼミの背景】
南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てており、その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 2015 年のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。その製造には伊豆に学ぶ熱帯植物編の受講生から有志５名が関わりました。
その取り組みの中で考えたことは、「日本初」とかに関係なく、チョコレート作りのプロセスに参加すること自体に学びを見出すことができるということでした。
これまで、本自由研究ゼミは「伊豆に学ぶ」を下敷きとして、ゼミで考えたことや気付いたことなどを、言語化して他者（例えば伊豆に学ぶ未履修の東大生）に伝えることを軸と活動してきました。
２０２１年７月７日に石川県加賀市で国産カカオ生産に取り組む共同研究に取り組むことを発表しました。共同研究契約は加賀市・東京大学・(株)DK-Power・(株)フェリシモの４者で結びました。加賀市において、バイオマス発電の排熱と温泉の廃熱を生かしてカカオ生産に取り組むというものです。
【目標】
今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、以前のようなスタイルでの体験ゼミの実施できず、体験ゼミの学びの実現は困難さを増している。
そこで本自由研究ゼミでは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」のチョコレート作りアクティビティを教材としてどのように活用することができるかに焦点を当てて受講生の皆さんと議論を重ねたいと考えています。
本ゼミの目指す目標として、いくつかの項目を挙げておきます。
前提として、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」をオンラインと自宅で実施する体験を組み合わせて実施するとした場合の、体験型教材のアレンジを本自由研究ゼミで行うものとします。
①オンライン型の体験ゼミ教材として、自宅で実施できるようにビーントゥーバーチョコレート作りのアクティビティをアレンジする。
②チョコレート作り体験から何かを引っ張り出してみる。
③引っ張り出したことを何とか言語にして、第三者に伝える体裁を整える
④②の成果を、学園祭企画として発表し、伊豆ゼミ OB/OG を招き討論会を催す。
⑤②③の成果を元に、冬学期に開講予定の体験ゼミ「伊豆に学ぶ 熱帯植物編」（ただしアレンジを変更する可能性もある）に参加し、自主研修（討論）をリードする。
受講後に達することを期待する変容をいくつか列挙してみましょう。
⑥自主・自律に動けるようになること。
⑦様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。
⑧議論することの楽しさを知ること。
⑨学ぶということの本質を見据えて、ゼミ生とともに学ぶ楽しさを知ること。
※受講者数：上限を１２人とする。
※開講場所：弥生キャンパス（土曜日か日曜日）と駒場キャンパス（１０／１９（火)、１１／９（火)、１２／７（火)、１／１１（火）２限）
※弥生キャンパスでの講義：発酵の仕込みとビーントゥーバーチョコレート作り体験を行う。密にならないように、複数回に分けて実施する。
※オンライン講義：各自パワポを用いてオンラインでプレゼンを行う。学びのポイントについて討論・考察する。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・ガイダンス用の ZoomURL はメールでお知らせします。
・履修登録後、講義用の ZoomURL を ITC-LMS でお知らせします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51360	A	Web サービス・ アプリデザイン概論	川原 圭博	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現代の人々にとって、Web サービスやスマホアプリを使用しない日はないと言っても決して過言ではないでしょう。これらのシステムは世界中の情報を集約し、整理し、そしてアクセスするための社会基盤とも言えます。本講義では、Web サービスやスマホアプリの仕組み、開発方法、そして UI/UX デザインについて概観します。
本講義では、実践を重視します。東京大学内部でも utas や itc-lms をはじめとした、たくさんのシステムが利用され、そうした情報がデータの形で管理されています。データ活用とデジタル技術によって生活をより良い方向に変える「DX」の重要性が叫ばれる昨今、各種システムを有機的に連携してその情報を利用できれば、さらに豊かなキャンパスライフを実現できるでしょう。
本講義では、東京大学の誰もが正しい情報にアクセスでき、自在に活用できるキャンパスを実現するアプリや Web サービスを開発することを目的とし、Web サービスやアプリ開発に必要な知識を学び、作ることができるような機会を提供します。

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51362	A	化学システム工学の研究を 体験しよう！	杉山 弘和	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要

「環境・エネルギー・医療」を柱とする化学システム工学。本郷キャンパスの研究室に実際に入って、研究体験します。触媒化学とエネルギーの研究室（高鍋研）、環境浄化作用を持つ多孔性材料の研究室（大久保研・脇原研）、そして医薬品の製造プロセス設計の研究室（杉山研）が参加します。化学を基盤に、様々な知識をネットワーク状に組み合わせて、社会の実課題を解決し、あるべき姿を示す化学システム工学の真髄に触れます。

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51363	A	生体を化学システムとして 捉えてみよう！	太田 誠一	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学システム工学科の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間）。研究を体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 10 月 4 日(月)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51365	A	化学・生命系 3 学科「有機化学実験の立案・実施・解釈を体験しよう」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科
授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ※このゼミは 10 月 4 日(月)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 6 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51366	A	化学・生命系 3 学科「mRNA ワクチンの仕組みを学ぶ：RNA を細胞に入れて観察しよう」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科
授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ※このゼミは 10 月 4 日(月)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 6 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51367	A	化学・生命系 3 学科 「分子を作ってその構造を調べよう」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 10 月 4 日(月)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 6 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51375	A	ロボティック医療システム	原田 香奈子	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールでは，当研究室で開発されている世界最先端の手術ロボットや理化学実験用ロボットシステム，VR 手術シミュレータ等を実際に操作する．また，ものづくり技術・知識，コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識，医学的知識を駆使して実現する手術支援システムはどのようにして構築されるのか，また，医工連携はどのように行われているか，その入門を学ぶ．
※受講人数：10 名に制限する．対面で受講可能な学生に履修者を限定する．

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51378	A	製品を分解してわかる 環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。
※このゼミは 10 月 4 日(月)6 限（18：45～）に行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60221	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	高橋 伸一郎	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	【注意】この授業は、COVID-19 禍により、対面実習が難しい場合には、開講できな可能性があることを注意してください。 私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。 ※このゼミは 9 月 24 日（木曜日）17:00～、ガイダンスでの説明を予定しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	実践的サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	サイバーセキュリティの基礎を実践的に学ぶ。私たちの社会活動はコンピュータ・ネットワークが形成するサイバー空間に大きく依存している。そのため、サイバー攻撃が社会活動に与える影響は甚大であり、サイバー攻撃に対処する技術、すなわちサイバーセキュリティの確保は重要である。本ゼミでは、まずサイバー空間の要素であるコンピュータシステム、ネットワークの構成について、セキュリティの観点から講義及び演習を通じて学ぶ。その後、サービスの運用を妨害する攻撃やシステムの脆弱性を悪用するサイバー攻撃の事例と共にサイバー空間に対する脅威やリスクを学び、サイバー攻撃に対する防御方法や、被害を低減するレジリエンス技術についても演習を通じて学ぶ。 本ゼミは、情報セキュリティ教育研究センター(https;//si.u-tokyo.ac.jp)の教育活動として実施するものであり、演習では情報基盤センターのコンピュータとネットワーク環境も利用する。また、サイバーセキュリティの実務を行う企業の専門家として Z ホールディングス株式会社からゲストスピーカーをお招きし、現実のサイバー攻撃とその対処事例についても学ぶ予定である。						

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51327	A 1	人の手で造り管理する森林 －武蔵野編	安村 直樹	農学部	火 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森と言われれば何が思い浮かぶだろうか。茫漠と良いイメージが浮かぶ一方で、どこか生活からは遠い存在かもしれない。しかし、日本は国土面積の約 7 割を森林が占めており、かつそのうちの多くは人の手が入った森である。そして、森林は木材生産、環境保全、防災など様々な機能をもち、それらは人間の生活を支えてきた。また、環境条件だけでなく、人の関わりの程度により様々なタイプの森が形成されており、そこから生み出された文化が社会を豊かにしてきたように、森は我々の生活と地続きなものである。これらの森は、放置しておけばよいのではなく適正な管理、すなわちあるべき森の形を設定し、そのために手を加える必要がある。加えて、森林の持つ多面的機能と整理されるように、1 つの森林が複数の機能を持つという森林の持つ特徴も忘れてはならない。
本講義では、森林の持つ多面的機能のうち、保健・レクリエーション機能、文化機能に重きを置きながら、人の手で造られた様々なタイプの森林や管理方法を学び、管理作業を身をもって体験し，今後の望ましい森林造成や管理のあり方について考える導きとする。本年度は，森と人との関係性、特に東京という場所の地域特性に着目し、都内の神社や庭園、東京大学の演習林等を訪れ，森の造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51319	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る＆動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。
この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得・体験することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。
なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。
5 回目以降の授業は対面で実施予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51355	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51371	A	ロボット競技を体験しよう B	國吉 康夫 新山 龍馬	工学部	水 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
2020 年度の講義はオンライン実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51372	A	ロボット競技を体験しよう D	國吉 康夫 新山 龍馬	工学部	水 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
2020 年度の講義はオンライン実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51309	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。
初回のガイダンスのみをオンラインで行い、履修希望者から未経験者優先で 25 名選抜する。その後は対面のみで行う。科目の性質上ハイブリッド授業は不可能であるので、対面に参加できるもののみを履修の対象とする。詳細については、このシラバスの記載内容も含めてやむを得ず予定を変更する場合もあり、変更の内容は ITC-LMS の該当コース内に記載する。ガイダンスに出席する前にその記載内容をよく確認し、さらに履修許可を得た場合は毎週 ITC-LMS を確認すること。
第 1 回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第 1 回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。
※受講人数：オンライン開講の場合、20 名程度に制限する。 (最大 40 名)
※ガイダンス：初回授業日に行う。
4 名の担当教員のうち，代表教員は金子

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51308	A	自由に読み、書き、表現する 5 ―コラムランド 2021A―	椿本 弥生 齋藤 晴雄	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

■概要
文章を読んだり書いたりするのは好きですか？
自分の専門分野以外の文章も、もっと読んだり書いたりしたい。自分が書いたものを誰かに読んでもらいたい。誰かが書いたものを読んでみたい。でも、なかなかそんな機会がない…。このゼミは、その機会を提供します。
このゼミは、全員参加型のゼミです。みなさんは、毎週変わるお題に対して各自が自由に発想をひろげ、作品（コラム）としてまとめて投稿してください。授業では、作者名をふせた状態でグループで議論しながらコラムの読みを深め、「作者に突撃してみたいコラム」や「他のグループにもオススメしたいコラム」を決定します。突撃対象のコラムについては、突撃時に作者が誰かわかります（突撃で質問を受けたくない場合は、謎の作者のままでも OK です。授業後に匿名で「問わず語り」ができる場所も用意しています)。
ゼミのタイトルは「コラム」ですが、ここで対象とする文章は何でもありです。詩、俳句、短歌、散文、論説、解説など、自由にチャレンジして書いてください。
毎週書くコラムの分量は、A4 用紙 1 枚以内厳守。余白の幅やフォントの種類などは指定しません。用紙いっぱいに書く必要もありません（いっぱいに書けばよいものができるわけではないですよね)。お題について、豊かに発想を膨らませて、じっくり推敲して執筆してください。
グループでの話し合いやコラムの読解では、一般的に文章評価の研究で重視される「文章の内容・構成・表現」という基本的観点を中心に置きつつ、それ以外の観点もさまざまに議論し注目してください。
楽しんで文章を書く。誰かが書いたものを興味深く読む。多様な視点をもって、他者も自分も尊重しながら積極的にディスカッションに参加する。これらが好きな人をお待ちしています。得意か不得意かは問いません。
このゼミが、みなさんの自己表現の練習の舞台になったり、文章を通じて誰かと繋がる場になったりすることを期待しています。
なお担当教員は、文章評価を自身の専門のひとつとしています。
■目的・目標
上記の概要をふまえて、本授業の目的と目標を以下のように設定します。
＜目的＞
自分と周りの書き手のコラムがよりよいものになるように、建設的な批判的思考・態度をもってコラムの読解・執筆・議論を行うことができる
＜目標＞
・内容、構成、表現のいずれにも気を配って執筆できる
・自分以外の作者のコラムや、読み・書き・議論の一般的な関連文献を積極的に読む
・班のメンバーの意見を尊重しながら積極的に議論できる
・コラムの自由な感想を「作者へのお手紙」に書ける

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51310	A	実験を通して学ぶ科学の考え方	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の学生は A セメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？
この授業では、いくつかの基礎物理学実験のテーマを改めて取り上げ、とのような観点で実験を進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて検討します。そして、同じ実験機器を独自の実験目的で利用し、基礎実験がどのように研究活動に応用されていくのかを、体験してもらいたいと思っています。
オンライン化も見据え、どのような機材を使えば自宅でも実験ができるか、試行錯誤しながら新たな実験課題を作っていくことも考えています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51345	A	電磁気学で使う数学	WILLOX RALPH 清野 和彦	数学	金 2	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。
なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員に依ります。その点も心に留めておいて下さい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51307	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。
第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（ITC-LMS で提出）をふまえ受講者「24 名」を決定する。
※受講可能人数は 24 名（密を避けるため例年より少ない）
※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る
※ガイダンスはオンラインで、セレクション後の講義は対面で行う。オンラインでの参加はできない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51326	A	森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹	農学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本講義は森のエネルギーを体感すること、森林管理の観点からその流通・利用（森からエネルギーを取り出して家庭等で使うまで）における問題点について学ぶことの二点を目的とする。

わが国の森には莫大な利用可能エネルギーが眠っている。しかもそのエネルギーは森林の成長に伴って毎年増え続けている。我々は森のエネルギーを薪（まき）や炭、ペレットの形で取り出して採暖や炊事などに利用することができる。

木材の用途は大きく分けて住宅用材などの用材と炭や薪などの燃材に二分できる。一般に先進国では木材消費量に占める燃材の割合は低いが、わが国の燃材割合はここ数年急速に上昇し、欧米先進国の水準（10～16%）と同程度となっている。ただし、わが国の燃材利用は発電用途が中心で欧米先進国とは内容が異なる。森林資源の豊富なわが国には身の回りにおける燃材、すなわち森のエネルギー利用の増大する余地がある。

森のエネルギー利用の増大によって、現在手入れが不足しているとされる里山や人工林の回復も期待される。現時点での、富士および千葉地域での森のエネルギー利用がどのように森林管理に関わっているのか、自身の目で確認してもらいたい。

講義の目的を達するため本講義では伐倒および薪割り、薪や炭を用いた調理・ストーブ・暖炉・風呂を体験する。普段の電気や石油・ガスそしてエアコンを用いた食事・ストーブ・空調・風呂との違いを、五感を働かせて体感する。自らの体を動かして何かを体感したい学生の参加を歓迎する。体験に際して、薪割りの運動量や調理の薪炭消費量、風呂釜燃焼効率などの定量的なデータを出来る限り取得する。これらに加え実際に森のエネルギーを日常的に利用する世帯への聞き取り調査などを通じて、森林管理の観点から森のエネルギーの流通・利用における問題点について学び、考察する。

講義はオンライン講義3回と日帰り現地講義2回（対面での実施）からなる。講義の定員は作業の安全上ならびに感染防止対策のため20名とする。オンライン講義は20名が一度に受講する。日帰り現地講義は10名ずつグループAとBに分け、それぞれ別日程で行う（現地講義を11月に実施できなかった場合に備え1月を予備日とする）。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51329	A 1	森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司	農学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「木材資源を得る場所」、「レクリエーションの場所」、「癒しの場所」等々森林には人それぞれの活用の仕方があり、また楽しみ方がある。人々が森林に求める情報もさまざまであり、森林を対象とした情報発信には個々の情報の特性に合った多様な方法が求められるが、特に地図情報にさまざまな属性を盛り込んだフィールドマップは森林の魅力を伝えるための有効なツールである。本ゼミナールでは、「森の魅力を伝える地図づくり」をテーマに、ＧＰＳ受信機とデジタルカメラを使って森林の魅力を視覚的に伝えるオリジナルの地図づくりに挑戦する。

本ゼミナールの直接の目標はオリジナル地図の作成であるが、地図づくりを通じて森林の持つさまざまな「魅力」に意識を向け、五感を使って森林を観察する機会を得ることが本質的な目的である。自らの感性を高め、五官を通してさまざまな森の情報を獲得することで見逃してきた多くの「魅力」の存在を実感して欲しい。

※COVID-19対策として履修者数の上限を10名とする。履修希望者が多数の場合は選抜を行う。選抜方法については第1回講義を兼ねたガイダンスで説明する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51342	A	じっくり学ぶ数学 II	WILLOX RALPH 牛腸 徹	数学	金 5	2	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。

一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。

※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている2年生の参加も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51306	A	身近な環境化学実習－身近な水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊 堀 まゆみ 中村 優希	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、といった水に関する様々な疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していくことが本実習の目標である。

本実習では、身近な水、例えばキャンパスや自宅の水道水や市販のペットボトルウォーターについて、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に体験し、試料を構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察する。また、実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、履修者同士でピアレビューを行うことで、得られた結果や考察に対する理解を深めていく。

本実習の履修には、専門知識や事前学習を必要としない。化学分析を体験し、実験計画を自由に考えながら実験を遂行し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しているため、文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎する。

授業の詳細については、ガイダンス時に説明する。

【ガイダンス】

2021年10月8日（金）12:20からZoomで実施

【授業実施日】

以下の日程で、4限に行う。

11月：19日(金)、26日(金)、30日(火)

12月：10日(金)、17日(金)、24日(金)

2月：7日～10日13時～15時、14日(月)午後

開講日時は履修者が決定したのちに、都合を確認し最終決定する。

【問い合わせ先】

practical-a@adves.c.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51311	A	遺伝子工学を通して生命科学の楽しさを学ぶ	齋藤 晴雄 田上 遼	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

遺伝子工学を通して生命科学の楽しさを学ぶことを目標とします。この授業では、遺伝子工学の技術を用いて、遺伝子を組み換えることにより、大腸菌の中でタンパク質を発現させ、そのタンパク質の挙動を調べることになります。生物の中で行われている、遺伝子からmRNAを介してタンパク質が作られている過程（分子生物学のセントラルドグマ）を実際に見ることで、生命の素晴らしさを体験し、生命科学研究の楽しさを体験してください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51328	A 1	危険生物の知識（秋編）	石橋 整司	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。

※受講可能人数：最大10名まで。希望者多数の場合は選抜を行う。

※ガイダンス：10/5（火）2限に第1回講義を兼ねてオンラインで行う。

※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林、田無演習林、富士癒しの森研究所

※2回の事前講義と千葉演習林、田無演習林、富士癒しの森研究所における3回の現地講義、1回の事後講義を行う。

※講義の開始から現地講義まであまり時間がないため、履修希望者は10月5日の第1回講義日の24時までに指定の方法で履修の希望の旨を提出すること。詳細はITC-LMSに記載するのでその指示に従うこと。指定の時間までに所定の方法で履修の希望の提出がない場合は、いかなる理由があっても履修者の選抜対象にならないので注意するように。なお、選抜結果については10月6日中にメールで連絡をするので履修が認められた学生は10月8日の講義に参加すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51330	A 1	体験して考える森林ガイドボランティアの現在と未来－秋編－	石橋 整司 竹本 周平	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

●授業の目標

東京大学大学院農学生命科学研究科の附属施設である田無演習林においては、地域貢献の一環として、身近な樹木に親しみその特徴を知る「子ども樹木博士養成講座」（以下、「樹木博士」と略す）を春と秋の年 2 回実施しています。このような森林ガイドイベントはあちこちで催されており、その実施には多くの場合ボランティアが重要な役割を果たしています。しかし、現状としてイベント主催者側とボランティア側の希望がマッチングされる機会は十分でなく、前者には人手不足、後者には出番の不足の問題があるように見受けられます。本講義では、「樹木博士」に参加し実際に森林ガイドを担当することをつうじて、森林ガイドイベントの運営側やボランティア側の立場について考えを深め、最終的にはボランティアがいっそう活躍する未来についての具体的な議論につなげます。本講義で得られる体験や視座は、みなさんの今後のボランティア体験をより深いものにするだけでなく、将来みなさんがボランティア組織の運営側に立った際にも大いに活きてくるでしょう。

●授業の概要

講義は駒場キャンパスでの座学と西東京市の田無演習林（一部は駒場）での実地実習で構成されています。座学では、総論として森林インストラクター制度の概要と森林ガイドボランティアの現状、具体論として「樹木博士」などイベント等の運営事例について、とくにボランティアの関わり方に重点をおいて学びます。実地実習では、「樹木博士」での森林ガイドボランティアの実践に備えるため、教員が実際のイベントを模してみなさんを指導します。基本的な樹木識別法だけでなく、樹木の特徴をわかりやすく伝えるためのポイントや、イベント参加者の自然体験をより深めることに役立つ「気づき」の「わかちあい」を促す方法、またイベント実施時の安全衛生リスク管理などを身につけて頂きます。また、上記のボランティア体験と学びを相対化することを目的として、森林あるいは科学館でガイド等のボランティア活動をしている一般市民、またはそうしたボランティア組織の管理者を対象に聞き取りをおこなう予定です。総まとめとして、田無演習林を具体例として、ボランティアがよりいっそう活躍できるための課題とその解決策について議論します。

●「樹木博士」の概要とボランティアに求める役割

田無演習林での「樹木博士」は、子供を対象とした 10〜30 種類の樹木についての体験学習イベントです。ここ最近は、地域の小学生を中心に例年 30 人前後の参加があります。難易度別にいくつかのグループに分かれた参加者は、午前中にガイドの解説を聴きながら見学路を一周りして樹木の特徴と名前を学習し、午後には学習した樹木の枝を見て名前を当てるテストに取り組みます。テストの後、自然に親しむネイチャーゲームなどのアクティビティを楽しみます。学生のみなさんには、ボランティアとして森林ガイド（樹木解説の講師役）および、アクティビティ実施のリーダーを務めていただきます。テストの正答率にこだわる必要はありませんが、参加者が森林や樹木に興味をもち、それを持続させられるような働きかけをしてください。また、参加者が楽しく安全に過ごせるよう努めることも大切な役割のひとつです。実践に先立って座学や実習をつうじてじっくりとみなさんを指導しますので、現時点で知識や経験がなくても大丈夫です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51331	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系や人と森林の関わりについて見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、かつて薪炭林だった二次林や生産林としての人工林など過去から現在までの森林利用、そして山林に関わる産業として木材加工やキノコ生産についても学びます。最終的には、手つかずの老齢林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。

※対面での現地講義に参加可能な学生のみに履修を制限します。
※受講人数を 7 名以下に制限します。
※受講希望者は 10 月 7 日（木）のガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・坂上大翼

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51332	A	森に学ぶ SDG s と林業を意識する低山歩きA	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

SDG s １７の目標の１３番目に「気候変動に具体的な対策を」が掲げられています。この度、あえてSDG s とこのゼミを関連付けてみたのは、皆さんにＳＤＧｓは特別な難しい目標ではなく、かなり身近な自分たちの生活に直結する目標であることを意識する必要を感じたからに他なりません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません。歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか。

このゼミは東京近郊の身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

もともと、夏学期には富良野の大自然の中にお連れして、北海道演習林で林業と向き合うゼミと、冬学期に舞台を東京近郊の低山に移して提供して来たプログラムです。

しかし、新型コロナウイルスの影響により宿泊を伴う実習を実施できないため北海道にお連れすることが事実上できません。富良野にお連れする代わりに、夏学期にも東京近郊の低山にお連れすることにした次第です。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。

無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

新型コロナウイルスが収まりましたら、2022年度には姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も是非どうぞ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51333	A	伊豆に学ぶ_熱帯植物編１　カカオノキの下で東大生がチョコレートを作る意味を考えてみよう	鴨田 重裕 井上 広喜	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

見え易い目標（表向きの目標？）として、カカオノキの下でチョコレートを作ります。おいしかったというだけでは大学生のゼミにはなりません。これに合意いただけることが、まず最低限必要です。チョコ作りだけではなく竹炭焼きにも挑戦してみます。自分で焼いた竹炭をを燃料として調理に用います。それらのアクティビティの中に、少し見えにくい目標（真の学び）がいくつゼミ中に潜んでいるものと思って本ゼミに臨んでいただきたい。意識を高めてゼミに臨めば、それだけ収穫も大きくなるはずです。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は７割近くが森林に覆われています。７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

現在、カカオの主要産地はガーナやコートジボワールですが、カカオ生産のために熱帯雨林が減少しているといった話をご存じでしょうか。私たちがチョコレートを食べることと、世界的な気象変動がつながっている可能性があります。このゼミでは、普段意識することが難しいことを、意識してみます。

意識すると、視野が広がり、思考が深まることを体験することになりましょう。

それこそが、伊豆に学ぶゼミが提供しようとしている「学び」に他なりません。

その他にも、学生同士が刺激しあうことの、重要性・素晴らしさにも気づいていただけましたら、たいへんうれしいところです。このゼミは、単に体験を提供するではなく、体験を通して、学びの本質を追求していく、そのようなゼミになるはずです。どうぞお楽しみに。

【注目ポイント】

本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも（にこそ）知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。

大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（２年生でも間に合いますが、）１年時の受講をお奨めします。

※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組めば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。

コロナ渦中にあって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021年度Aセメスタも宿泊を伴う講義を実施できません。

そこで、「伊豆に学ぶ_熱帯植物編」では４泊５日の本ゼミのエッセンスを抽出して２回の伊豆日帰りゼミと１回の東京ゼミに再構成してお届けすることにしました。日帰りですので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。（伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。）

以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。

「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味だ。それを伊豆に来て実際に確認して欲しい。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51334	A	伊豆に学ぶ_熱帯植物編２　カカオノキの下で東大生がチョコレートを作る意味を考えてみよう	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

見え易い目標（表向きの目標？）として、カカオノキの下でチョコレートを作ります。おいしかったというだけでは大学生のゼミにはなりません。これに合意いただけることが、まず最低限必要です。チョコ作りだけではなく竹炭焼きにも挑戦してみます。自分で焼いた竹炭をを燃料として調理に用います。それらのアクティビティの中に、少し見えにくい目標（真の学び）がいくつゼミ中に潜んでいるものと思って本ゼミに臨んでいただきたい。意識を高めてゼミに臨めば、それだけ収穫も大きくなるはずです。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は７割近くが森林に覆われています。７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

現在、カカオの主要産地はガーナやコートジボワールですが、カカオ生産のために熱帯雨林が減少しているといった話をご存じでしょうか。私たちがチョコレートを食べることと、世界的な気象変動がつながっている可能性があります。このゼミでは、普段意識することが難しいことを、意識してみます。

意識すると、視野が広がり、思考が深まることを体験することになりましょう。

それこそが、伊豆に学ぶゼミが提供しようとしている「学び」に他なりません。

その他にも、学生同士が刺激しあうことの、重要性・素晴らしさにも気づいていただけましたら、たいへんうれしいところです。このゼミは、単に体験を提供するではなく、体験を通して、学びの本質を追求していく、そのようなゼミになるはずです。どうぞお楽しみに。

【注目ポイント】

本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも（にこそ）知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。

大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（２年生でも間に合いますが、）１年時の受講をお奨めします。

※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組めば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。

コロナ渦中にあって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021年度Aセメスタも宿泊を伴う講義を実施できません。

そこで、「伊豆に学ぶ_熱帯植物編」では４泊５日の本ゼミのエッセンスを抽出して２回の伊豆日帰りゼミと１回の東京ゼミに再構成してお届けすることにしました。日帰りですので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。（伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。）

以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。

「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味だ。それを伊豆に来て実際に確認して欲しい。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51340	A	映像デザイン実習	松本 文夫	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

映像制作の実習を通して「世界を表現する」体験をすることがこの授業の目標である。20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに結びつく。すなわち、映像は記録と保存だけでなく、創出と再生を担うメディアである。映像によって記憶を蓄積し、物語を構築し、時空を横断し、新しい世界の姿を示すことができるだろう。この授業を通して、映像による表現の可能性を実験的に追求してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。
10月4日(月)の5時限にZOOMで授業ガイダンスを実施する。(ZOOMのURLはITC-LMSで告知する)
履修希望者は10月6日(水)までにITC-LMSに小課題を提出すること。
履修希望者が予定人数(20名)を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。
授業ガイダンスおよび小課題については、ITC-LMSで別途告知する。
・開講区分：A
・単位数：2
・対象学年：1年(文科/理科)、2年(文科/理科)
・履修人数：20名に制限する
・開講期間：2021年10月18日(月)、11月8日(月)、11月29日(月)、12月13日(月)、12月27日(月)
・開講場所：ZOOM(オンライン授業)

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51357	A	鉱物資源はどこでできるのか？ －フィールド調査と鉱物採集の旅－	加藤 泰浩	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

私達の文明の発展は，様々な鉱物資源によって支えられています．また，ある種の鉱物は宝石と呼ばれ，その美しさで私達の心を満たしてくれます．このような「鉱物資源」は，どこで，そしてどのようにして出来るのでしょうか？東京周辺でも，1970年代までは様々な鉱山が稼行し，鉱物資源が採掘されていました．また実は，美しい鉱物が採れる場所というのも，東京近郊に多数存在しています．そこでこの授業では，東京周辺で日帰りの野外巡検を行い，こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます．そして，それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに，私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします．

※このゼミは10月4日（月）6限（18：45～）Zoomにて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51361	A	応用化学の最先端研究を 体験してみよう	鈴木 康介	工学部	集中	2	1年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本授業では工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深めることを目的とする。

※このゼミは10月4日（月）6限（18：45～）Zoomにて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51368	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，学んでみませんか？
・ナノスケールのとても小さな世界で起こる出来事をどうやって知ることができるのでしょう？
・ナノスケールの材料を操作して組み立てるにはどうすればいいのでしょう？
まさに今，最先端の微細加工や分子レベルでの物質の操作を用いながら，バイオテクノロジーが目覚ましく発展しています。それだけでありません。巨大な構造物の強度を高めたいとき，物質が放つ光を制御して利用したいとき，その決め手となっているのは，ナノテクノロジーなのです。
本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する２つの最先端技術に関するテーマを体験し，そのエッセンスを学びます。
※このゼミは10月4日(月)6限（18：45～）にオンライン（Zoom）にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51373	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトB	草加 浩平	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。
車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。
※この講義は10月4日(月)6限 (18：45～) にZOOMにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51374	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトD	草加 浩平	工学部	集中	2	2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。
車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。
※この講義は10月4日(月)6限 (18：45～) にZOOMにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51377	A 1	知能化自動車開発入門	伊藤 太久磨	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

目標
知能化自動車開発のために必要となるソフトウェアの基礎を学び，マルチコンポーネントシステムに関する理解を深め，実践的な開発に向けた技能を培う．
概要
ロボット開発用のミドルウェアである ROS を利用し，卓上サイズの小型モデルカーの制御を学び，知能化自動車開発の基礎を学ぶ．

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51379	A	全国高校生社会イノベーション選手権 II	小松崎 俊作	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは，新しい価値を生み出すイノベーションしかありません．世界の人々が賞賛する，日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか．そのためにはイノベーションを産み出すことのできる人材を育てることが重要です．
中等教育においても，創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ，イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています．そこで私たち（工学部社会基盤学科）は，イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく，2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました．（2020 年 8 月の第 3 回大会には全国から 92 チームのエントリーがあり，市川高校（千葉県）が優勝，愛光高校（愛媛県）・栄光学園高校（神奈川県）が準優勝となりました．）
この全学体験ゼミナールは，駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき，イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと，自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています．
※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は，東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です．
イノチャンの詳細，ならびに最新情報は，
http://innochan.x0.com/ からご確認ください．

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51385	A	目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	山口 英斉	原子核科学研究センター	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
サブ゛アトミック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法で゛あり、検出器はサブ゛アトミックな世界を研究する上で゛の目や耳ともいうへ゛きもので゛ある。 授業で゛は、目に見えないサブ゛アトミック粒子測定の基本原理を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。
（1）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。（2）実際に、幾つかの検出器を構築する。
（3）構築した検出器を用いてサブ゛アトミック粒子を測定する。（4）測定結果を評価考察する。
※実習指導の都合から、履修人数は 10 名以下が望ましい。
※期間中は和光市理化学研究所近隣の宿に宿泊することを前提とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51387	A	Understanding Computer-Assisted Language Learning Through International Collaboration	秋山 友香	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

Computer-Assisted Language Learning (CALL,
コンピューター支援言語学習)とはテクノロジーを用いた外国語学習の効率化を追求する研究分野です。この授業では「第二言語習得理論(Second Language Acquisition Theories)」の基礎的知識を身につけ、Duolingo、Google 翻訳、Virtual Reality (VR)、DMM 英会話などの外国語学習方法・ツールを CALL の視点から分析します。また、ニーズ分析を行い、消費者のニーズを明らかにして、製品の開発に役立てるトレーニングをします。最終的にはニーズ分析の結果と第二言語習得理論に基づいて外国語学習アプリのコンテンツ、または外国語学習ツールのプロトタイプを作成します。
これらの活動は、国際的なグループプロジェクトとして、海外の大学生や東大の留学生と共に進めます。講義は基本的に英語で行いますが、グループワークは英語や日本語で行うことがあります（チームメンバーの学習言語による）。互いの言語的資源・文化資源を駆使して成果物を作り上げることで、国際的思考、批判的思考、チームワークを身につけることを目標とします。
授業は基本的にオンラインで実施します。授業の URL は ITC-LMS により通知されます。

※このゼミは 10 月 4 日（月）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

****

Computer-Assisted Language Learning (CALL) is a research domain that pursuits the efficacy of technology-mediated foreign language learning to answer the question: “How can I best integrate the right technology into my specific foreign language teaching and learning context?” In this course, entitled “Computer-Assisted Language Learning: Theories and Content Development,” we will learn theories of second language acquisition (SLA) and analyze existing foreign language learning tools and methods (e.g., Duolingo, Google Translate, Virtual Reality, Italki) from the CALL perspective. We will also conduct a needs analysis to reveal the needs of consumers and use the data for the development of a new language learning product. For the final project, students will draw on insights from the needs analysis and SLA theories to create a sample lesson or a prototype for a foreign language learning tool.
You will complete these tasks in collaboration with your international partner(s), who may be Japanese students at UTokyo, international students at UTokyo, or students in overseas universities. Lectures will be delivered in English, but you may engage in group work in Japanese (depending on your group members’ language background). Students are expected to acquire a global mindset, critical thinking, and teamwork skills by collaboratively producing the products using each other’s linguistic and cultural resources.
The classes will be held online. For the Zoom URLs, please check the ITC-LMS.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60215	A 2	「それ何マグロ？」 身近な生命科学実習 －マグロ属魚類の魚種類判別－	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験（生命科学
分子生物学）
＊少人数制
----------=

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を学習することを目的とする。
【授業の開講形式】
実験パート：対面のみ
発表パート：ハイブリッド（対面+オンライン）
【実習の内容】
1 本実習内容の説明
2 マグロから DNA 抽出
3 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅
4 アガロース電気泳動による PCR 産物の確認
5 サンガー法による PCR 産物の塩基配列解読
6 blast search を活用した配列解析
7 結果に関する発表および、ディスカッション
上記に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索や過去のプリント集を閲覧しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの“考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。
【ガイダンス】
下記日程の昼休みに行う。
2021 年 10 月 1 日（金）
2021 年 10 月 6 日（水）
2021 年 10 月 8 日（金）
2021 年 10 月 14 日（木）
2021 年 10 月 18 日（月）
Zoom URL：https://zoom.us/j/91540932350?pwd=Sy9JU2IvUmxLa1FYQ3FMcjFYanY0QT09
＊基本的に Zoom で行う、事前に対面ガイダンスに参加登録した学生は教室でガイダンスを受けることができる。
＊希望があればガイダンスは、随時開催する。
【実習実施日】
集中講義として、下記の日時に行う。
＊実験の進行状況により下記の時刻に終了できない場合がある。
＊補講日、予備日はガイダンス時に連絡する。
2022 年 2 月 3 日（木）13:00～18:00
2022 年 2 月 4 日（金）13:00～18:00
2022 年 2 月 9 日（水）13:00～18:00
2022 年 2 月 10 日（木）13:00～18:00
2022 年 2 月 14 日（水）13:00～17:00
2022 年 2 月 15 日（木）13:00～17:00
【問い合わせ先】
e-mail：practical2021bio@adves.c.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60216	A 2	雪の森林に学ぶ～北海道演習林	尾張 敏章	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林を、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60217	A 2	伊豆に学ぶ_竹林管理・炭焼き編 1	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

見え易い目標（表向きの目標？）として、竹林管理として竹の間伐を行い、竹炭を自分で焼き、それを燃料として調理に用いることが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標（真の学び）がいくつゼミ中に潜んでいるものと思って本ゼミに臨んでいただきたい。意識を高めてゼミに臨めば、それだけ収穫も大きくなるはずです。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

現在、竹林の多くは管理の行き届かない山林の象徴のような存在です。

【注目ポイント】

本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも（にこそ）知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。

大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（2 年生でも間に合いますが、）1 年時の受講をお奨めします。

※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組めば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。

コロナ渦中にあって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 A セメスタも宿泊を伴う講義を実施できません。

そこで、「伊豆に学ぶ 竹林管理・炭焼き編」では 4 泊 5 日の本ゼミのエッセンスを抽出して 2 回の伊豆日帰りゼミと 1 回の東京ゼミに再構成してお届けすることにしました。日帰りですので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。(伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。)

以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。

伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。

「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60218	A 2	伊豆に学ぶ_竹林管理・炭焼き編２	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

見え易い目標（表向きの目標？）として、竹林管理として竹の間伐を行い、竹炭を自分で焼き、それを燃料として調理に用いることが上げられる。表向きはそれで構わないが、少し見えにくい目標（真の学び）がいくつゼミ中に潜んでいるものと思って本ゼミに臨んでいただきたい。意識を高めてゼミに臨めば、それだけ収穫も大きくなるはずです。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は７割近くが森林に覆われています。７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

現在、竹林の多くは管理の行き届かない山林の象徴のような存在です。

【注目ポイント】

本体験ゼミは、人の営みと自然との関係について、体験を通して学びます。農学部が主宰するゼミですが、農学部以外の学部に進学する学生にも（にこそ）知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげます。理系的な知識の有無を前提としないので、文系学生にとっても意義深いゼミになるはずです。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。

大学で学び始める学生に受講いただくことを強く意識している講義です。（２年生でも間に合いますが、）１年時の受講をお奨めします。

※コロナ禍のなかった世界では、本ゼミは東大生を伊豆にお連れして、楽しい体験の中に大切な学びがあることを見出してもらっておりました。皆がそれぞれの価値観・意見を持ち寄りつつ、しっかりと取り組めば深遠な学びに到達することができた幸せな時代だったのかも知れません。

コロナ渦中にあって、本ゼミは従前のスタイルから一歩踏み出そうとしています。2021 年度 A セメスタも宿泊を伴う講義を実施できません。

そこで、「伊豆に学ぶ_竹林管理・炭焼き編」では４泊５日の本ゼミのエッセンスを抽出して２回の伊豆日帰りゼミと１回の東京ゼミに再構成してお届けすることにしました。日帰りですので、限られた時間しかありませんが、その時間を贅沢に使います。(伊豆の滞在時間を稼ぐために、東京駅始発の新幹線こだま号をご利用ください。)

以下は、従前の伊豆ゼミのシラバスです。ゼミの世界観は従前の通りにしたい思いがあるので、雰囲気をお伝えするためにもあえてそのまま残しておきます。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。

伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。

「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60219	A 2	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	鎌田 直人	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。

たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わりの希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。

本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや林業、工芸、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。

将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。

※最大履修受入人数 12 名

【履修希望者への注意事項】

履修希望者は、第 1 回講義終了後から 10 月 5 日（火）17：00 までに下記サイトにアクセスし，所定のフォームで①氏名，②メールアドレス，③希望動機（100 字程度）を入力してください。10 月 5 日の 17 時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、この履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。

参加希望申込サイト： https://ws.formzu.net/fgen/S26786589/

参加の可否は 10 月 11 日（月）までにメールで連絡しますが，連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせて下さい。また履修希望申込をしたあとでキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。

連絡先：當山啓介（千葉演習林 助教） toyama@uf.a.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60222	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプI 物性コース（物性研究所） 環境コース（新領域創成科学研究科・環境学研究系）	橋本 顕一郎	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

また、本授業は、本学の新型コロナウィルス感染拡大防止のための活動制限指針に従い、オンラインを適切に活用しつつ対面実習が可能な場合には感染対策を徹底した上で対面授業を実施します。詳細な情報はホームページ(https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)で随時アップデートされますので、ご参照ください。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 4 日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I～IIIまであり、最大２つまで履修可能です。各回で２～３コース、各コース内に２～５テーマあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ

https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp

にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 ２０２１年１０月７日（木）１７時

※１０月５日(火) ６限(１８：４５～)に KSC2022 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。

【物性コース（５テーマ)】

スピントロニクスデバイスを作ろう（文系可） 三輪 真嗣 准教授・坂本 祥哉 助教

シミュレーションによって未来の物質をデザインする 尾崎 泰助 教授

核磁気共鳴実験で探る物質の磁性（文系可） 山下 穣 准教授・武田 晃 助教

光ではたらくタンパク質を調べよう（文系可） 井上 圭一 准教授

未開の電磁波「テラヘルツ波」で物を観察してみよう（文系可） 松永 隆祐 准教授・神田 夏輝 助教

【環境コース（４テーマ)】

地下水資源の未来を考える（文系可） 徳永 朋祥 教授

見えない水を可視化する：水の思考にもとづく社会設計に向けて（文系可） 福永 真弓 准教授・坂本 麻衣子 准教授

音から捉える柏キャンパスの自然環境（文系可） 中村 和彦 講師

コンピュータクラウド上でのハイパフォーマンス CAE 奥田 洋司 教授

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60223	Ａ２	柏キャンパス サイエンスキャンプII 宇宙コース（宇宙線研究所） 生研コース（生産技術研究所） 大気と海洋コース（大気海洋研究所）	橋本 顕一郎	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
また、本授業は、本学の新型コロナウィルス感染拡大防止のための活動制限指針に従い、オンラインを適切に活用しつつ対面実習が可能な場合には感染対策を徹底した上で対面授業を実施します。詳細な情報はホームページ(https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)で随時アップデートされますので、ご参照ください。
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして4日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
KSCでは、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
KSCは開催期間別にI〜IIIまであり、最大２つまで履修可能です。各回で２〜３コース、各コース内に２〜５テーマあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者はKSCのホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。
エントリー期限 ２０２１年１０月７日（木）１７時
※１０月５日(火) ６限(１８：４５〜)にKSC2022のガイダンス(Zoomオンライン)を開催します。
【宇宙コース（２テーマ)】
素粒子論的宇宙論の最前線 川崎 雅裕 教授
最高エネルギー宇宙線の起源を探る 垣 隆志 准教授
【生研コース（５テーマ)】
エッグレスキュー 〜生卵を自由落下衝撃から守る機体設計〜 臼杵 年 教授
物性理論物理のフロンティア 羽田野 直道 教授
全球陸域水循環シミュレータで世界中の洪水を予測してみよう（文系可） 芳村 圭 教授
シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう 北澤 大輔 教授
身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう（文系可） 井上 純哉 准教授
【大気と海洋コース（５テーマ)】
柏で大航海：世界の海底地形を眺める（文系可） 沖野 郷子 教授
数値天気予報：台風シミュレーションの実践 佐藤 正樹 教授
DNAから探るサンゴ礁生態系の謎（文系可） 新里 宙也 准教授
変わりゆく海洋環境—化学の視点から（文系可） 白井 厚太朗 准教授
気候シミュレーションの世界を覗いてみよう 吉森 正和 准教授

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプIII エネルギーとマテリアスコース （新領域創成科学研究科・基盤科学研究系） 生命コース（新領域創成科学研究科・生命科学研究系）	橋本 顕一郎	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
また、本授業は、本学の新型コロナウィルス感染拡大防止のための活動制限指針に従い、オンラインを適切に活用しつつ対面実習が可能な場合には感染対策を徹底した上で対面授業を実施します。詳細な情報はホームページ(https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)で随時アップデートされますので、ご参照ください。
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして4日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC)」のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
KSCでは、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
KSCは開催期間別にI～IIIまであり、最大２つまで履修可能です。各回で２～３コース、各コース内に２～５テーマあります（下記参照)。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者はKSCのホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。
エントリー期限 ２０２１年１０月７日（木） １７時
※１０月５日(火) ６限(１８：４５～)にKSC2022のガイダンス(Zoomオンライン)を開催します。
【エネルギーとマテリアルコース（５テーマ)】
形状記憶合金の不思議（文系可） 御手 洗容子 教授・松永 哲也 講師
有機半導体デバイスの作製と評価（文系可） 竹谷 純一 教授・佐々木 真理 助教
実践で学ぶ電気自動車 藤本 博志 教授・藤田 稔之 特任講師
核融合プラズマを電磁波で測ろう（文系可） 辻井 直人 講師
惑星大気・プラズマ環境の量子力学的観測法入門~分原子の量子状態を変える装置を作ってみる~ 吉川 一朗 教授
【生命コース（４テーマ)】
遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくろう 伊藤 耕一 教授・遠藤 慧 助教
植物ウイルスの増える過程を調べる 鈴木 匡 准教授
スパコンで生命データを解析しよう（文系可） 木立 尚孝 准教授
超音波で野菜がおいしくなるのはなぜ？（文系可） 尾田 正二 准教授

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※ 新型コロナウィルス COVID-19 感染拡大の影響により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に異なる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
51443	A	グローバル化のなかの 日本と韓国朝鮮	三ツ井 崇	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 韓国朝鮮語 TLP 生および韓国朝鮮語の中級以上の受講経験を持つ学生と、教養学部に在籍する留学生を主たる対象とし、韓国朝鮮の言語、文化、歴史、社会、政治などさまざまな領域について学術的観点から俯瞰するとともに、文化体験や学生のグループワークを通して、グローバルな視点から日本と韓国朝鮮について考える。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
51448	A	日本の伝統文化とその変容・発展を英語で学ぶ体験型学習 Experiential learning of Japanese traditional and modern culture and its historical development through cross-cultural exchange and communication.	佐藤 みどり	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 日本の文化は、古来より中国やインド、そして西洋文明の発展に影響を受けながら、独自の対応力・適応力をもって、その伝統的な文化を失わずに復興・保護・継承しつつも、新たな文化を吸収しながら変容し発展してきた。新型コロナ感染症の拡大により、グローバル化による国境を越えた人・物・情報の移動が制限される中、デジタル革命の加速により物理的な移動を伴わない、人・文化・情報の交流の新しいあり方が模索されている。このような状況において、日本文化の歴史的価値を正しく理解し、それを高め、多種多様な文化との比較を行うことを通じて、国内外に向けてしっかりと日本文化に関する自分の考え方を語ることができる人材の育成や、官民一体での新たな戦略が必要とされている。このコースは英語で行われ、日本研究、日本文化、人類学、歴史学の予備知識がない学生を対象とし、異文化交流・多文化共生経験の比較的少ない学生が、外国人留学生や PEAK 生を含む、日本文化に関心のある学生等と共に、日本文化（先住民族文化を含めて）の伝統・変容・発展について学び、感じ、体験し、また考察したことを英語で語りあう経験を通じ異文化交流を深め、正しい情報を発信する能力を高めることができるようになることを目的として実施する。 主な訪問先/Field visit sites： 埼玉：さいたま市大宮盆栽美術館 URL：https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/facilities/ 京都：工藝の森。堤淺吉漆店・一般社団法人パースペクティブ https://www.urushinoippo.com/ 北海道：国立アイヌ民族博物館（北海道ウポポイ民族共生象徴空間）URL：https://nam.go.jp/about/ 東京：東京国立近代美術館 URL：https://www.momat.go.jp/english/am/learn/lets-talk-art/ 東京：森美術館 URL：https://www.mori.art.museum/jp/learning/4423/ Japanese culture has been influenced by the development of China, India, and Western civilization since ancient times, and while having its own responsiveness and adaptability, it has been reconstructed, conserved, and inherited without losing its traditional culture. It has transformed and developed while absorbing various cultures. While the spread of the Covid-19 pandemic continues to restrict the movement of people, goods, and information across national borders, the acceleration of the digital revolution led to the new ways of exchanging culture and information without physical movement. Under the new circumstances, an innovative strategy is required in developing resources (materials and people) that can facilitate understanding of Japanese culture and promoting its historical value while constantly comparing it with a wide variety of other cultures and enhancing its conservation and reconstruction. This course has no prerequisites; the course will be held in English and is designed for students without prior knowledge of Japanese studies, anthropology, and/or social and history studies (although naturally those with prior knowledge are welcome)! We expect different groups of students, who are interested in learning Japanese culture in English, will learn together. They include the group with some basic understanding of Japanese culture, yet having relatively little experience of cross-cultural exchange and multicultural coexistence learning, and others with global/international learning experiences but previously had very few exposure to Japanese language and culture, such as foreign students and PEAK students. In this training, students who have relatively fewer cross-cultural exchange and multi-cultural learning experience will learn together with PEAK and exchange students, who are interested in Japanese culture and indigenous culture of Ainu people. The purpose is to deepen their understanding, promote cross-cultural exchange and enhance their ability to share their thoughts and ideas based on correct understanding of the historical facts and analytical and deeper thoughts brought through mutual and active experiential learning process.					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
51450	A	「深思北京」2021	伊藤 徳也	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

この国際研修は、2014 年度から毎年継続されてきた「深思北京」の 2021 年度特別バージョンです。
今年度は北京へ学生を派遣したいと考えてきました。しかし、新型コロナ禍が続くため、たいへん残念ですが、中国へ渡航することは断念いたします。
そこで、オンラインでどこまで中国の学生との交流の実をあげられるか、チャレンジしてみたいと思います。
8 月に実施された南京サマースクールで中国語のスキルをあげた人、第 3 学期に上級あるいは中級中国語の授業を履修して習熟度をあげた人は、是非この授業で現在の自分の中国語力をぶつけてみて欲しいと思います。
片言の中国語だけではたどり着けない深みまで降り立って、生まれ育った環境が大きく異る中国の学生との間に――相手の大学は北京にキャンパスがある中国人民大学です――他のものでは代替できないような固有の絆を結ぶというのが目標です。
さて、どうやったらオンラインでもそんな絆が結べるでしょうか？
現時点で想定しているのは、長い時間をかけて詳細な自己紹介を互いに交換するという方法です。本来、「私」自分自身のことは、5 分や 10 分で語り終えられるようなものではないはずです。異国の同世代の学生の一人ひとりもそれは同じでしょう。また、詳細な自己紹介を考えることは、自分自身を改めて認識することにつながるでしょう。
深い自己認識は、他者との交流・絆をさらに深いものにするのではないでしょうか。
それらを中国語を使ってやってみませんか？
応募希望者は、UTAS の履修登録とは別に、今後公開される「募集要項」に従って、申込みをして下さい。「募集要項」は「関連ホームページ」及び UTAS に掲載します。
応募希望者とは事前に面談したいと思います。面談の日時、そして説明会（ガイダンス）の日時についても、UTAS 及び「関連ホームページ」で逐次チェックをお願いします。
以下で、ガイダンスは「特に行わない」となっていますが、必ず行います。現時点で日時が指定できないだけです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60231	A 2	多文化共生社会の課題を英語で学ぶ：オーストラリア研修 Learning current social issues in Australia: Intensive issue-based learning program	佐藤 みどり	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

目標：英語の集中授業、経験豊富な講師陣による講義やワークショップ・ディスカッションのほか、現地の学生との異文化交流などを通じて，オーストラリアの現代多文化共生社会における、地球的・社会的課題を理解し、またそれらに関する実地調査を行い、日本との比較考察を含む分析を通じて、現代オーストラリアの直面する課題を新たな視野や多角的な視点から英語で考え、発信する力を身につけた学生を育成することを目的とする。

This course involves intensive English lessons, lectures, workshop/discussions, cultural exchange, as well as field surveys on social issues in Australia's current multicultural society. The overall aim of the course is to foster students who will have acquired the ability to think analytically and deeply about contemporary Australian social issues from a new and multiple perspectives through comparative and policy analysis of social issues in Australia.

概要：

本研修は以下の充実した内容が盛り込まれており、将来大学院での該当分野（社会開発、高齢化問題、移民の権利保護、環境・水問題など）のいずれかの分野における研究を考えている、または長期留学を検討している学生にふさわしい研修である。

1) 体系的な渡航前集中英語研修 （オプショナル）
2) 渡航前の実地調査・社会政策分析手法講義、事前資料読み込み、調査票準備
3) 渡航中の実践的な英語研修
4) 渡航中の講義、ワークショップ、シドニー大学学生交流活動
5) 現地調査を含むフィールドワーク
6) 最終プロジェクト発表準備・発表（最終日）

Format of the course: This training includes the following substantial contents and is suitable for students who are considering long-term study abroad in the future and/or pursuing advanced graduate level courses in the topic areas covered during this course.

1) Systematic pre-travel intensive English training (Optional)
2) Lecture on field survey method, intro to social policy analysis, survey protocol development, literature review, and preparations for survey tools
3) Practical English training during visit to Australia
4) Lectures, workshops, University of Sydney student exchange activities (afternoon)
5) Fieldwork including field survey research (afternoon)
6) Final project presentation preparation / presentation (final day)

対象履修生：

応募時の英語運用力は問わないが、海外経験の少ない、または全くない初級・中級レベルの学生で学習意欲の高い学生を優先する。応募者選抜は、応募書類のレビュー及び選抜インタビューにより執り行う。応募学生の基本的な該当分野における知識、及び基本的な英語理解能力があれば、オーストラリアの社会課題に関する英語論文・文献や説明を理解することが可能となり、この研修をより充実したものにすることが可能となる。応募者間の英語能力レベルに大幅な違いがないよう、事前集中英語研修を（オプショナル）提供する予定である。

Target students: This course has no prerequisites in terms of English proficiency levels. If there are too many applicants, we will review application documents and may conduct interviews. Priority will be given to students with little or no overseas experience at the beginner or intermediate level as long as they show commitment and are highly motivated to study. Obviously, if students already have sufficient English skills and have basic understanding of the social issues covered, their understanding and skills will further improve during the course work. In order to reduce the gap between students in terms of their English level, we offer pre-travel intensive English bootcamp.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60232	A 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】この授業は、開講日程がまだ流動的なので、留意してください。

ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・ 考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60233	A 2	ケルン大学 TLP ドイツ語 春季研修	川喜田 敦子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】

・新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、不開講、あるいはオンラインでの代替研修となる可能性が十分にあります。

・この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

・「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。

ケルン大学で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60234	A 2	Practical Introduction to International Humanitarian Law / 実践的国際人道法入門	キハラハント 愛	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

The aim of this Global Praxis class is to facilitate students who are interested in international law and/or international relations to interact and discuss with students at the Geneva Institute and staff at the International Committee of the Red Cross. Through interaction, students deepen their understanding of International Humanitarian Law as a tool to protect people in the area of armed conflict and build international network with like-minded people.

この国際研修の目的は、国際法や国際関係への関心のある本学の学生が、同じような関心のあるジュネーブ高等・開発大学院の学生との交流や赤十字国際委員会への訪問を通じて、紛争下の市民を守るツールとしての国際人道法への興味関心を高めるとともに、国際的なネットワークを構築することにある。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60235	A 2	TLP フランス語春季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】2022 年２月～３月に２週間程度、パリ市（フランス）、リヨン市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でオンライン交流あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとし、最終決定は遅くとも１１月下旬を予定する。なお、2 年生はアンジェ市（フランス）での語学研修になる可能性もある。選抜試験を１１月下旬～１２月上旬に実施予定。A2 タームの履修確認訂正期間までに選抜が終わらないため、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。したがって履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないように注意すること。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。

【授業の目標、概要】予定ではパリ市（フランス）、リヨン市（フランス）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。2 年生は例年夏季に実施しているアンジェ市の西カトリック大学でのフランス語学研修になる可能性もある。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60236	A 2	国際研修（台湾）TLP 生のみ	阿古 智子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 台湾にてフィールドワークを中心とする研修を行う（3 月 2-3 週目の 7 泊 8 日になる予定）。ただ、新型コロナの感染状況によって渡航が難しい場合は、オンラインでの活動になる。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60237	A 2	平和のために東大生ができること：中央アジア研修	岡田 晃枝	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 --=注意--= ◆本国際研修は 2022 年 2 月後半にオンラインでの実施を予定しているが、A1 ターム中に大きく状況が変化して安全な渡航が可能となった場合は、2022 年 3 月にトルクメニスタンのアシガバード市またはカザフスタン共和国アルマティ市（より安全性の高い方を選択）で研修を実施する可能性がある。 ◆渡航を伴う場合も、国内でオンラインでの実施となる場合も、いずれも A セメスターに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」の履修と、同授業での単位取得を、本国際研修の履修要件とする。本国際研修への履修を検討している学生は、上記全学自由研究ゼミナールの初回ガイダンスに必ず参加すること。 ◆成績報告については授業日程終了後、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。進学・卒業の認定に間に合わない可能性があるので注意すること。 ------= 旧ソ連中央アジア 5 か国のうち、国連総会で承認された唯一の永世中立国トルクメニスタンと、ソ連時代にソ連最大の核実験場を擁していたカザフスタンを取り上げ、現地とオンラインでつないで授業を行う。中央アジアの政治、経済、文化等に関する基礎的な知識は、A セメスターに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」で身に着けてもらう。国際研修の授業ではそれを使って専門家や現地学生に向けてプレゼンテーションをしたり、彼らと議論をすることが主体となる。					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50647	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Earth System Governance Science is becoming of increasing interest to policy makers and legal practitioners as global challenges demand scientific knowledge and scientists themselves have been drawn into many multilateral negotiations and new forms of litigation. Indeed, science-policy and science-law interfaces have become a crucial component of contemporary decision-making processes within the United Nations system as well as at the regional level. Drawing on complementary fields of inquiry (Governance studies, Science and Technology studies, Critical Environmental Law), this course examines the emergence of innovative governance frameworks for dealing with global 'environmental' challenges. Through short interactive lectures, case studies, and role-play simulations, students explore a variety of regulatory frameworks, decision-making processes, institutional arrangements, and mechanisms, at the interface of science, policy and law. In so doing, they engage in a critical examination of the relevance and legitimacy of these emerging forms of governance in an era of human-caused planetary transformation and disruption.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50245	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、ウッドワード・ジョナサン・ロジャー、甘蔗 寂樹	PEAK 前期	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Applications of Mathematics in the Sciences This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs.The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following:Part I (chemical and environmental engineering). Process modeling and control: Mathematical modelling and control systems related to industrial and environmental processes.Part II (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin.Part III (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50546	A	哲学・倫理(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Intellectuals and Critique Since the siècle des Lumières, (Western) philosophy has devoted itself to the production of knowledge which, amongst other things, establishes facts, anchors values, mediates justice and promises critique. This in turn has encouraged philosophers to side with society and speak the truth to power, especially in those moments when it tends to domination. Perhaps the most famous figure to deploy philosophy in this fashion has been the intellectual, yet in recent years the latter seems to have become a rare species, if not one that is near extinction. With the decline of the role of the intellectual the concomitant task of philosophy as the watchdog of power is brought into question, too. In this light, the course examines the role of the modern philosopher from the late 18th century up until the present. It surveys some paradigmatic cases, from the role of the legislator (Kant), clerc (Benda), freischwebende Intelligenz (Mannheim), organic intellectual (Gramsci), mandarin (Heidegger), critical theorist (Habermas) and engaged scholar (Chomsky), to the témoin engagé (Sartre), bi-dimensional critic (Bourdieu), interpreter (Walzer), specific intellectual (Foucault) or feminist activist (Haraway). In studying these roles, we inquire into what role the academic might assume and the accompanying form of criticism that philosophy could be assigned today.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	思想・芸術I(PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Philosophical Issues in Education					
授業の目標概要	COURSE OBJECTIVESThe aim of this course is to deepen students' understandings on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education.Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51028	A	思想・芸術III(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Animals in modern and contemporary Japanese literature					
授業の目標概要	This course introduces recent critical approaches to analysing the relationship between human and non-human beings, as well as theoretical reflections on how animals and nature are represented in art. It then explores the various ways animals are described in modern and contemporary Japanese literature, from the real cattle slaughtered in Tōson's "The Broken Commandment," to the fantastic talking bear in Kawakami's "God Bless You." At the end of the course, students will be able to reflect on the role of animal representations in literature, engaging with the concepts of otherness, humanity, and death from a new perspective.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50131	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to International Relations					
授業の目標概要	This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50886	A	国際・地域I(PEAK)	バクスター，ジョシュア	PEAK 前期	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to East Asia					
授業の目標概要	This course is designed to investigate the geographical area known as East Asia from roughly 1600 to the 1950s. It will focus on how we think about the past through looking at key problems that are shared by China, Japan, and Korea. Each week themes such as modernization, gender, eurocentrism, the nation, and colonialism, will be used to examine specific historical moments. How historical knowledge changes over time, bottom-up approaches to history, social constructions such as gender, and new forms of power, are a few of the problems that will be addressed through the course themes. The aim is that students will learn to read, think, and write with a critical and analytical self-awareness about history.					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	国際・地域III(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Japan in Asia, through literature This class looks at various ways in which Japanese writers described their experience in Asian countries and/ or engaged with the discourse about Japan's role and position on the continent and in the world, from the turn of the 20th century to the early 1940s. It also includes texts by colonial subjects, shedding light on their complex experience of Japan and its empire.By reading the proposed literary texts in conjunction with critical works on wider/ more theoretical topics, students will become aware of the way national literature expands its subject matter and style(s) to reflect changing geographical and political landscapes, while familiarising themselves with literary concepts such as travel writing, modernism, shi-shosetsu, etc. They will be able to use the theoretical and practical knowledge acquired in this class to analyse a wide array of texts, literary and otherwise.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50424	A	法・政治(PEAK)	杉之原 真子、Daniel Foote	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Law and Political Science The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Microeconomics This is an introductory course in microeconomics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is "good" in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists' way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51088	A	社会・社会思想(PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50817	A	社会・制度I(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Global governance in International Society The concept of global governance has increasingly been important for last decades. We have observed emergence of an international society where states, international organizations and non-state actors attempted to address global problems and issues. This course provides an overview of concepts, processes and outcomes of global governance. The course is divided into three parts. The first introduces the current global governance structure, core concepts and theoretical perspectives on global governance. The second part focuses on actors in global governance: international and regional organizations and non-state actors, and examines how they play roles for global governance. The third part deals with issues in global governance ranging from security, economic to social aspects. The course addresses diverse empirical cases, and analyzes how and why processes differ across different issue areas. As a wrap-up session, we will discuss effectiveness of global governance incorporating concepts such as power, authority and legitimacy.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50858	A	スポーツ・身体運動実習 II(PEAK)	竹下 大介、結城 笙子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50133	A	科学技術基礎論 (PEAK)	橋本 毅彦	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		History of Technology The course will provide an overview of the history of technology from the medieval times to the present, and see the technical contents of the technology in history and the relationship between technology and society. It particularly aims at offering the views of historical scholars on technology and its evolution in history.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50710	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Global environmental problems and sustainable development** Please check the ITC-LMS course website for access information on Zoom classes **					
授業の目標概要	This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions:- People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for?- How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by?Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues.From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50654	A 1	電磁気学の基礎 (PEAK)	堀田 知佐	PEAK 前期	水 4, 水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Electromagnetism (PEAK)					
授業の目標概要	The main topic of this course is the derivation of time independent Maxwell's equations from the empirical rules that we could recognize within our circumstances. These equations are a set of first-order partial differential equations which constitute a complete description of electric and magnetic phenomena. The concept of classical "electric and magnetic fields" are introduced, which are indispensable in order to fully describe electric and magnetic forces and corresponding phenomena we observe in the real world.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50549	A	分析化学(PEAK)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー、 AKINDELE Tito	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Analytical Chemistry					
授業の目標概要	To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science.					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50768	A	情報科学(PEAK)	Schuster Alfons Josef	PEAK 前期	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Understanding Information and Information Environments Information science is an interdisciplinary science with a wide range of interests and goals. A major element in the field is concerned with fundamental information processes such as the acquisition and collection of information, the classification and storage of information, the manipulation and retrieval of information, as well as the analysis, dissemination, usage, and maintenance of information. Another focus in the course relates to the concept of information itself. Although the importance of information has been recognized in many fields, as a concept, information is difficult to define. The course, therefore, not only tries to familiarize students with the history and evolution of the field of information science, the course also investigates the fundamental question: What is information? Students completing the course will recognize the aims and goals of fundamental information processes. They will learn to analyze, evaluate, and appreciate the value that information science provides. In addition, students may develop an understanding of information on a deeper (philosophical) level. This understanding may help them to understand today's information society and modern technology from a more comprehensive information perspective.By the end of the semester, students should:(i) be familiar with the history and evolution of the field of information science,(ii) understand fundamental information processes,(iii) have acquired an understanding about the notion of information from various points of view, and(iv) be able to reason about modern society and modern technology from an information perspective.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Decision Analysis Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses.In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50173	A	コンピューティングの基礎(PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to computing In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A	学術フロンティア講義(PEAK)(Introduction to Japan in East Asia)	前島 志保、野澤 俊太郎	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Japan in East Asia This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program.The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture.教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行う、レクチャー・シリーズです。教養学部英語コース(Programs in English at Komaba/PEAK)の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50620	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introductory course in linear algebra)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introductory course in linear algebra Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications.Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics.Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50208	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Comparative History of Japanese Publishing)	前島 志保	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Comparative History of Japanese Publishing Focusing on the development of periodicals, this course offers an overview of a history of publishing and reading culture in modern Japan up until the mid-20th century from a comparative historical perspective. A particular emphasis will be put on the transformations of forms of expressions of printed media in relation to other media, both verbal and visual, which in turn changed the relationship between representations of articles, readers, editors, and professional writers. Students are expected to learn to view the newspaper and the magazine as cultural products rather than as mere “sources” of information to be used for various studies. Lectures are given mostly in Japanese, though you may ask and answer questions, submit comment sheets and papers in English.近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50621	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Japanese Linguistics)	BORDILOVSKAYA Anna	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	An Introduction to Japanese Linguistics					
授業の目標概要	This course will introduce students to a variety of basic linguistic phenomena and terminology widely used in studying and teaching Japanese linguistics. The goal of the course is to develop students' awareness of fundamental linguistic issues through the comparison of various aspects of the Japanese language with students' first languages to enhance their language learning experience.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50361	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Earth Science)	東塚 知己、後藤 和久、角野 浩史、市原 美恵、鈴木 健太郎	PEAK 前期	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to earth science					
授業の目標概要	This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, atmospheric science, solid earth science, and life in the past.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50550	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Biology)	リチャード シェファーソン、小見 美央	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to Biology					
授業の目標概要	This course is designed to provide students with the essentials of biology. Biology = Science of Life. What are we? What is Life? What do living things have in common? What makes us, us?					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50821	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Single-variable calculus)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Single-variable calculus					
授業の目標概要	In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential is the slope of the tangent line of a function at a given point, and integral is the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. Power series will also be introduced. In the end, we study how to solve some simple differential equations.					